

第5次常総市地域福祉活動計画 策定に関わるアンケート調査

集計結果報告書 (詳細版)

令和6年8月

社会福祉法人常総市社会福祉協議会

目 次

I	調査の目的と概要	2～4
1	調査の目的	
2	調査の内容と回収状況	
3	報告書を見る際の注意事項	
II	個人用アンケート調査結果	5～52
1	調査結果の概要	
2	調査結果の詳細	
III	団体用アンケート調査結果	53～54
1	調査結果	
IV	資料	55～88
1	問 36、問 37 の回答	
2	個人用アンケート調査票	
3	団体用アンケート調査票	

I 調査の目的と概要

1 調査の目的

常総市社会福祉協議会では、第5次常総市地域福祉活動計画を策定するにあたり、地域福祉活動に関わる市民の方や地域で活動する各種団体・事業所などの皆様を対象に、地域での福祉活動に関する問題・課題の把握や、社会福祉協議会の活動に対する意見などを伺うことで、計画策定の基礎資料を得るために本アンケート調査を実施しました。

2 調査の内容と回収状況

〈調査の方法と期間〉

調査対象	常総市で地域福祉活動に関わりを持つ個人及び団体（令和6年4月1日現在） 個人 883名 自治区長、民生委員・児童委員、介護予防推進員、 単位子ども会長、ボランティア活動者など 団体 203団体 市内福祉事業所、社協法人特別会員、ボランティア団体、 市内保育施設・幼稚園、市内学校（小・中・高）
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和6年5月～7月

〈調査項目〉

1 個人アンケート

項目	設問
1回答者について	問1 年齢、問2 性別、問3 世帯構成、問4 世帯構成内訳 問5 居住地区、問6 地区での役割、問7 困りごと・不安なこと 問8 困りごとや不安の相談先
2近所付き合いや 居住地のことについて	問9 近所付き合いの程度 問10 近所付き合いがあまりない理由 問11 人との付き合いや関わりの必要性 問12 地域との関わりの必要性を感じる時 問13 お住いの地区の要支援者の有無 問14 お住いの地区で気になることや困りごと 問15 困っている世帯へ行っていること 問16 お住いの地域で必要とされていること 問17 地域住民同士が支え合うことの必要性

3居住地での活動について	問18 地区の活動や行事への参加状況 問19 参加している活動や行事 問20 地区の活動や行事に参加しない理由 問21 地区の集いの場の状況 問22 希望する集いの場 問23 安心して暮らせるまちを作っていくために地区で必要な取り組み
4ボランティア活動について	問24 活動への参加状況、問25 参加したことのある活動 問26 参加したい活動 問27 活動に参加しようとする際、重視すること 問28 活動へ参加しやすい条件
5福祉サービスや 社会福祉協議会について	問29 福祉サービスへの関心度 問30 福祉サービスに関する情報の入手先 問31 福祉サービスに関する情報の取得状況 問32 社会福祉協議会など地域福祉の推進に関する認知度 問33 社会福祉協議会の活動の認知度 問34 社会福祉協議会で充実してほしい活動 問35 地域福祉の活動を推進にするにあたり期待する団体・個人 問36 地区の困りごとや課題の解決の方法やアイディア 問37 地域福祉を進める取り組みについて、ご意見・ご提案

2 団体アンケート調査

項目	設問
1地域福祉活動について	問1・2 地域福祉に関する取り組みの有無と内容 問3・4 今後、取り組みたい地域福祉活動の有無と内容 問5・6 地域団体等との交流や連携の状況と内容 問7・8 地域の中で気になることや困っていることと解決策 問9 社会福祉協議会と連携・協力できたらよいこと 問10 地域福祉や社会福祉協議会へのご意見・ご提案

〈回収状況〉

個人アンケート	配布数（調査対象者）	883件
	回収数（有効回答数）	530件
	回収率（有効回答率）	60.0%
団体アンケート	配布数（調査対象者）	203件
	回収数（有効回答数）	86件
	回収率（有効回答率）	42.3%

3 報告書を見る際の注意事項

1 個人アンケート調査結果について

- (1) 調査結果の詳細で掲載している各問の 部分については、「その他」「無回答」を除いた上での 1 位についてコメントしたものです。
- (2) 調査結果の「構成比」は、択一回答形式の設問について、その設問の回答者総数（合計）を基数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出し、小数点第 1 位までを表示したものです。したがって、構成比の合計が 100%にならない場合があります。
- (3) 調査結果の「比率」は、複数回答形式の設問について、その設問の回答者数（回答者母数）を基数として、数点以下第 2 位を四捨五入して算出し、小数点第 1 位までを表示したものです。したがって、すべての回答比率の合計が 100%となるものではありません。
- (4) クロス集計では、1 位を白文字、2 位を太文字で表現しています。1 位が複数ある場合には、2 位の表記はしていません。
- (5) 回答者数の少ない属性についてのコメントや回答者が特定されそうな回答は掲載を控えている場合があります。

2 団体アンケート調査結果について

- (1) 回答団体が特定される内容が多く含まれるため、回答を抜粋して掲載しています。

Ⅱ 個人用アンケート調査結果

1 調査結果の概要

【回答者やその家族について】

- 1 回答者の年齢は、「70～74 歳」の割合が最も多く 27.0%を占めています。また、「65 歳以上」をすべて合わせた割合は 66.0%となり、回答者の約 3 分の 2 が高齢者となっています。
- 2 世帯構成で最も多いのは「親と子の世帯（二世帯）」の 39.1%となっています。「親と子と孫の世帯（三世帯）」の 22.5%と合わせると 61.6%となり、回答者の約 6 割が多世代で生活している状況となっています。また、世帯の構成員は「65 歳以上の方」がいる世帯が 67.2%、「高校生以下の子ども」がいる世帯が 50.3%となっています。
- 3 回答者のお住いの地区は、「旧水海道市地区」の割合が 61.6%、「旧石下町地区」の割合が 37.4%となっています。
- 4 回答者が地域で担っている役割（役職）は「自治区（町内会）役員」の割合が 29.1%、「介護予防推進員」の割合が 25.1%と多くなっています。また、回答者数 530 名に対して、役割（役職）への回答（複数選択）の合計が 756 件あったことから、回答者の多くは複数の地域での役割（役職）を担っていることがうかがえます。
- 5 回答者が普段の暮らしの中で、困ったり不安に感じていることは「自分や家族の健康に関すること」の割合が最も多く 42.1%を占めています。「地域の治安・防犯」と「災害時の避難のこと」の割合を合わせると 43.0%となり、防災や防犯に対する心配が多くあることがうかがえます。また、年代別に見ると、49 歳以下では「育児・子育てに関すること」と「生活費など経済的なこと」の割合が高くなっており、子育てや経済的なことに関する不安が高くなっていることがうかがえます。

【近所付き合いやお住いの地区のことについて】

- 1 回答者やその家族の近所付き合いの程度は「世間話や情報交換などの立ち話をする程度」の割合が 55.8%を占め、ほとんどの年代で最も多くなっています。次に続くのが、30 歳～64 歳では「あいさつをする程度であり近所付き合いはない」、65 歳～89 歳では「普段からお茶のみや手助けなど頻繁に行き来している」となっており、年代が高いほど近所付き合いが行われていることがうかがえます。
- 2 地域での人との付き合いや関わりは「必要だと思う」と「まあまあ必要だと思う」の割合を合わせると 94.9%となっています。また、地域住民同士の支えあいの必要性は「必要なことだと思う」と「どちらかといえば必要なことだと思う」の割合を合わせると 92.7%となっており、地域での人との付き合いや関わり及び地域住民同士の支えあいは、年代を問わずほとんどの方が

必要であると思っていることがうかがえます。

- 3 回答者がお住いの地区で気になっていることや困っていることは「若者が減少している」の割合が最も多く 50.9%を占め、次いで「高齢世帯が多い」の割合が 50.6%となっており、半数の方が少子高齢化に伴う地域の変化を不安に感じていることがうかがえます。また、50 歳以下の子育て世代では「子どもが遊べる場所がない」が多くの割合を占めており、子どもの安全な居場所の確保について不安に感じていることがうかがえます。
- 4 回答者のお住いの地域で必要とされているお手伝いは「安否確認の声かけ、見守り」の割合が最も多く 50.9%を占め、次いで「話し相手」の割合が 33.2%となっています。この 2 つは全地区で割合が多くなっており、市内全域で要支援者への声かけや見守りが必要とされていることがうかがえます。

【お住いの地区の活動について】

- 1 回答者の地区の活動や行事への参加は「参加している」の割合が 91.9%を占め、ほとんどの方が地区の活動や行事に参加していることがうかがえます。活動や行事に参加していない方の理由は「仕事や家事で忙しい」の割合が最も多く 46.7%を占め、次いで「知り合いが少ない」の割合が 23.3%となっています。
- 2 お住いの地区にあったら良いと思う集いの場は「気軽におしゃべりが楽しめる場」の割合が 38.5%で最も高く、次いで「簡単な体操やレクリエーションなど健康づくりの場」の割合が 37.4%、「趣味や教養を学ぶ場」が 31.1%となっています。また、年代別に見ると 60 歳以下では「子育て中の親同士が集まる場」や「子どもや若者など多世代と交流できる場」の割合が高くなっており、子育てをテーマとした集いが求められていることがうかがえます。
- 3 今後、安心して暮らせるまちを作っていくために、回答者の地区で必要な取り組みは「高齢者などに対する地域での声かけ、見守り活動」の割合が最も多く 50.4%を占め、次いで「災害時に助け合うための協力関係づくり」の割合が 45.1%となっています。この 2 つは全地区で割合が多くなっておりこれらの取り組みの推進・支援が求められていることがうかがえます。また、年齢別にみると 49 歳以下では「子どもたちの登下校の見守り活動」と「子どもたちの居場所づくり」の割合が高くなっており、子どもたちに対する取り組みの推進・支援が求められていることがうかがえます。

【ボランティア活動について】

- 1 回答者のボランティア活動への参加は「現在、活動に参加している」の割合が最も多く 45.3%を占めています。年代別に見ると 64 歳以下では「活動に関心はあるが、参加したことはない」が最も高く、65 歳以上では「現在、活動に参加している」が最も高くなっており、年代によってボランティア活動への参加状況が大きく異なることがうかがえます。

- 2 回答者が今後、ボランティア活動をしてみたい分野は「自分の地区を良くする活動」の割合が最も多く 44.0%を占めています。次いで「高齢者との交流ができる活動」の割合が 24.9%、「保健・健康づくりに関する活動」の割合が 18.1%となっています。年代別に見ると 49 歳以下では「子どもとの交流ができる活動」の割合が高くなっており、子どもと関わることができる活動に関心があることがうかがえます。
- 3 ボランティア活動への参加で重視することは「気軽にできること（時間が短いなど）」の割合が最も多く 66.6%を占め、次いで「誰にでもできること」の割合が 44.0%となっており、時間や条件にあまりしばられないことを重視する傾向にあることがうかがえます。

【福祉サービスや社会福祉協議会について】

- 1 「福祉サービス」に関する情報の入手先は「市広報紙」の割合が最も多く 60.8%を占めており、次いで「社会福祉協議会広報紙」の割合が 35.5%となっています。年代別にみると全年代で「市広報紙」の割合が高くなっている一方、50 歳以下については「インターネット・SNS」の割合が高くなっており、今後、SNS の有効活用を検討していく必要があることがうかがえます。
- 2 社会福祉協議会の認知度は「①知っている」の割合が 65.7%、「②名前は聞いたことがある」の割合が 22.6%となっており、①と②を合わせると 88.3%の方が社会福祉協議会を知っていると回答しています。
- 3 社会福祉協議会に充実してほしい活動は「地域住民による支えあい活動の促進・支援」と「わかりやすい福祉情報の提供」の割合が 42.5%で最も多く、次いで「福祉活動を行う人材の発掘・育成」の割合が 32.8%となっています。今後、地域の福祉を支えていくためにより重要と思う団体は「社会福祉協議会」の割合が最も多く 54.7%を占めており、これらのことから地域住民が地域の支えあい活動を進めるにあたり、社会福祉協議会の支援が必要とされていることがうかがえます。また、年代別に見ると 49 歳以下では「子育てに関する支援、集いの場」と「児童・生徒などへの福祉教育の推進」の割合が高くなっており、子育てに関わる支援が求められていることがうかがえます。

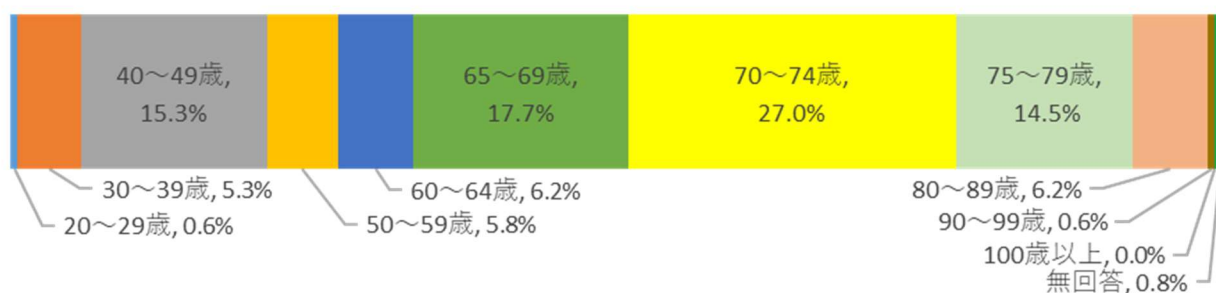
2 調査結果の詳細

あなた自身や家族のことについておたずねします。

問1 あなたの年齢を教えてください。（令和6年4月1日現在）【1つだけ○】

年齢は「70～74歳」が27.0%

年齢は「70～74歳」が27.0%で最も高く、次いで「65～69歳」が17.7%、「40～49歳」が15.3%となっています。



項目	回答数	構成比
～19歳	0	0.0%
20～29歳	3	0.6%
30～39歳	28	5.3%
40～49歳	81	15.3%
50～59歳	31	5.8%
60～64歳	33	6.2%
65～69歳	94	17.7%
70～74歳	143	27.0%
75～79歳	77	14.5%
80～89歳	33	6.2%
90～99歳	3	0.6%
100歳以上	0	0.0%
無回答	4	0.8%
回答者数	530	100.0%

問2 あなたの性別を教えてください。【1つだけ○】

性別は「女」が58.3%

性別は、「女」が58.3%、「男」が40.4%、「回答したくない」が1.3%となっています。



項目	回答数	構成比
男	214	40.4%
女	309	58.3%
その他	0	0.0%
回答したくない	7	1.3%
回答者数	530	100.0%

問3 あなたの世帯構成を教えてください。【1つだけ○】

世帯構成は「親と子の世帯（二世帯）」が39.1%

世帯構成は「親と子の世帯（二世帯）」が39.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が27.7%、「親と子と孫の世帯（三世帯）」が22.5%となっています。



項目	回答数	構成比
ひとり暮らし	43	8.1%
夫婦のみ世帯	147	27.7%
親と子の世帯（二世帯）	207	39.1%
親と子と孫の世帯（三世帯）	119	22.5%
その他	8	1.5%
無回答	6	1.1%
回答者数	530	100.0%

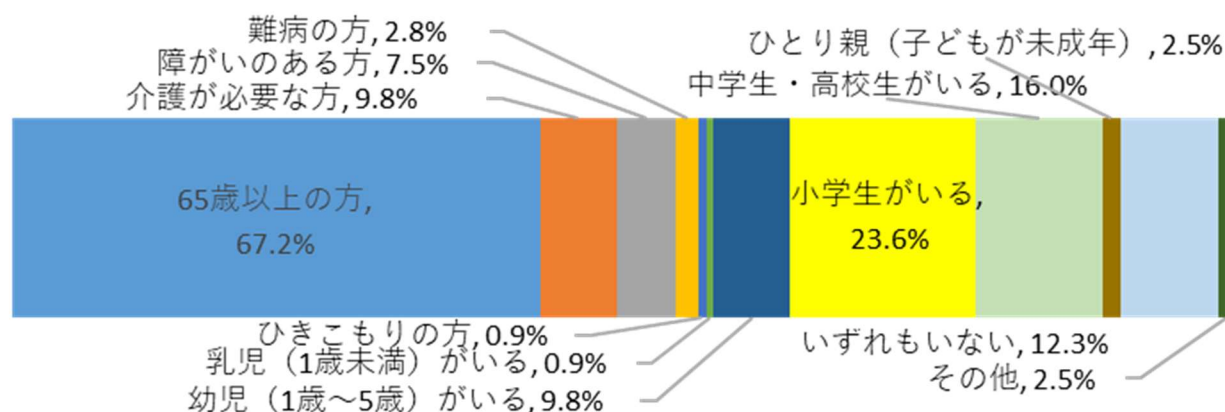
その他
 ・ 夫婦と孫
 ・ 四世代 など

問4 あなたのご家族で以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。

【該当するものすべてに○】

世帯構成の内訳は「65歳以上の方」が67.2%

世帯構成の内訳は「65歳以上の方」が67.2%と最も高く、次いで「小学生がいる」が23.6%、「中学生・高校生がいる」が16.0%となっています。



項目	回答数	比率	項目	回答数	比率
65歳以上の方	356	67.2%	小学生がいる	125	23.6%
介護が必要な方	52	9.8%	中学生・高校生がいる	85	16.0%
障がいのある方	40	7.5%	ひとり親(子どもが未成年)	13	2.5%
難病の方	15	2.8%	いずれもいない	65	12.3%
ひきこもりの方	5	0.9%	その他	13	2.5%
乳児(1歳未満)がいる	5	0.9%			
幼児(1歳～5歳)がいる	52	9.8%			
			回答者数	530	

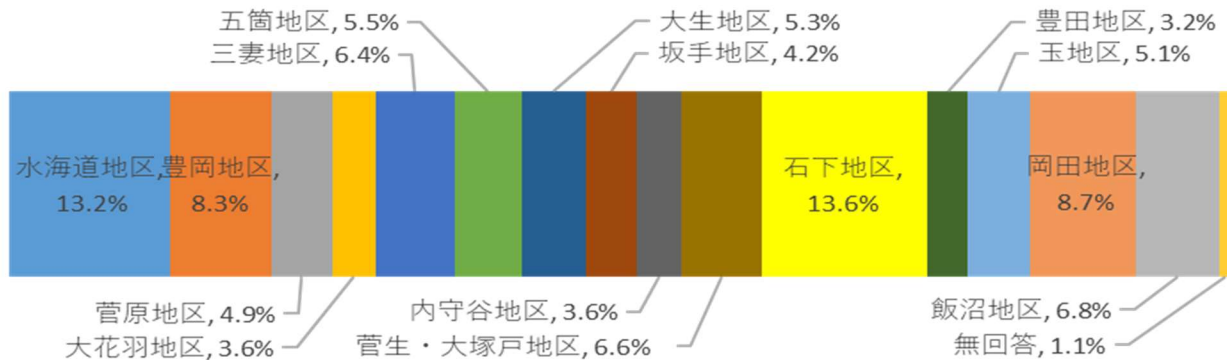
その他

- ・大学生
- ・成人の子
- ・子ども夫婦（敷地内別居）
- ・軽度認知症
- ・病気により半日しか働けない など

問5 あなたがお住まいの地区を教えてください。【1つだけ○】

居住地は「石下地区」が13.6%

お住いの地区は「石下地区」が13.6%と最も高く、次いで「水海道地区」が13.2%、「岡田地区」が8.7%となっています。



項目	回答数	構成比	項目	回答数	構成比
水海道地区	70	13.2%	内守谷地区	19	3.6%
豊岡地区	44	8.3%	菅生・大塚戸地区	35	6.6%
菅原地区	26	4.9%	石下地区	72	13.6%
大花羽地区	19	3.6%	豊田地区	17	3.2%
三妻地区	34	6.4%	玉地区	27	5.1%
五箇地区	29	5.5%	岡田地区	46	8.7%
大生地区	28	5.3%	飯沼地区	36	6.8%
坂手地区	22	4.2%	無回答	6	1.1%
回答者数	530	100.0%			

〈地区・年齢別クロス集計〉1位：白文字 2位：太文字

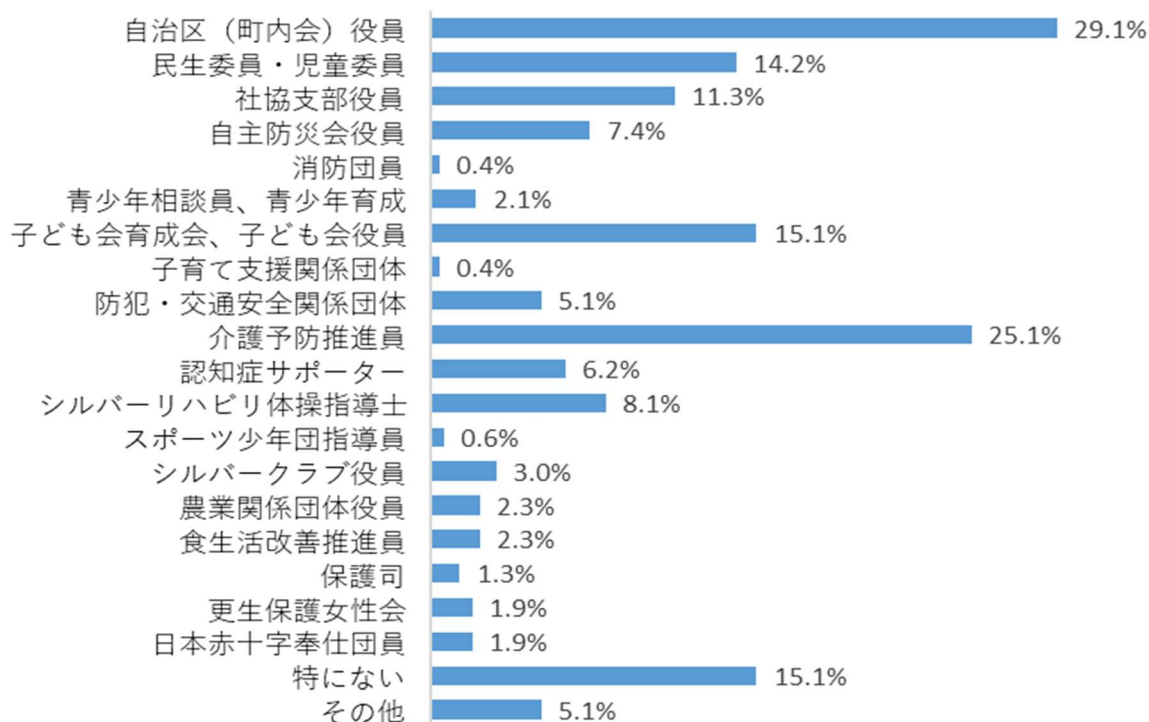
項目	回答者数	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	不明
全体	530	0	3	28	81	31	33	94	143	77	33	3	0	4
水海道	70	0	0	2	6	5	5	17	15	9	9	2	0	0
豊岡	44	0	0	3	4	3	2	4	14	10	4	0	0	0
菅原	26	0	0	2	3	1	4	9	6	1	0	0	0	0
大花羽	19	0	0	0	1	0	1	4	7	4	2	0	0	0
三妻	34	0	0	4	7	0	2	4	12	4	1	0	0	0
五箇	29	0	0	1	7	1	1	5	11	1	2	0	0	0
大生	28	0	0	1	9	0	1	5	10	1	1	0	0	0
坂手	22	0	0	1	1	0	1	5	5	7	2	0	0	0
内守谷	19	0	1	0	5	1	2	1	7	2	0	0	0	0
菅生・大塚戸	35	0	1	4	6	1	1	7	7	6	2	0	0	0
石下	72	0	1	3	15	6	2	15	20	6	4	0	0	0
豊田	17	0	0	1	3	1	5	2	2	2	1	0	0	0
玉	27	0	0	0	2	4	0	5	9	6	1	0	0	0
岡田	46	0	0	1	4	4	6	4	8	16	3	0	0	0
飯沼	36	0	0	4	7	4	0	7	10	2	1	1	0	0
無回答	6	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4

問6 あなたご自身は地区で何らかの役割（役職）を務めていますか。

【該当するものすべてに○】

地区の役割（役職）は「自治区長（町内会）役員」が29.1%

回答者が地区で担っている役割（役職）は「自治区（町内会）役員」が29.1%で最も高く、次いで「介護予防推進員」が25.1%、「子ども会育成会、子ども会役員」が15.1%、「民生委員・児童委員」が14.2%となっています。



項目	回答数	比率	項目	回答数	比率
自治区(町内会)役員	154	29.1%	シルバーリハビリ体操指導士	43	8.1%
民生委員・児童委員	75	14.2%	スポーツ少年団指導員	3	0.6%
社協支部役員	60	11.3%	シルバークラブ役員	16	3.0%
自主防災会役員	39	7.4%	農業関係団体役員	12	2.3%
消防団員	2	0.4%	食生活改善推進員	12	2.3%
青少年相談員、青少年育成	11	2.1%	保護司	7	1.3%
子ども会育成会、子ども会役員	80	15.1%	更生保護女性会	10	1.9%
子育て支援関係団体	2	0.4%	日本赤十字奉仕団員	10	1.9%
防犯・交通安全関係団体	27	5.1%	特にない	80	15.1%
介護予防推進員	133	25.1%	その他	27	5.1%
認知症サポーター	33	6.2%	回答者数	530	

その他

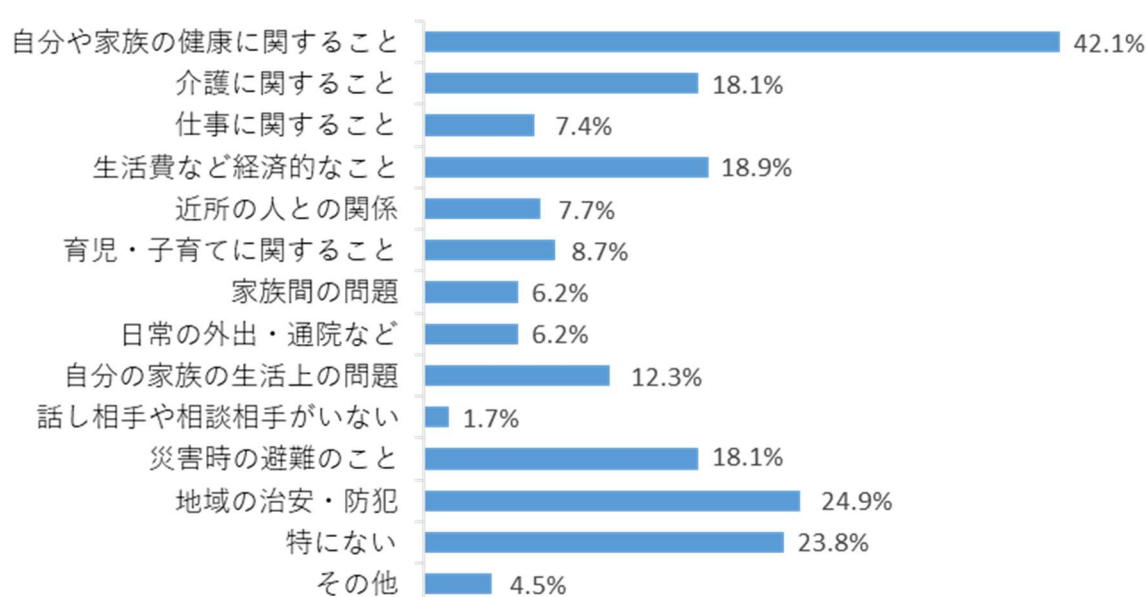
- ・消防団後援会、ボランティア、公民館等役員、学校評議員、寺の世話人、各種組合役員、女性団体 など

**問7 あなたは普段の暮らしの中で、困ったり不安に感じたりしていることはありますか。
【該当するものすべてに○】**

困ったり不安に感じていることは「自分や家族の健康に関すること」が42.1%

回答者が普段の暮らしの中で、困ったり不安に感じたりしていることは「自分や家族の健康に関すること」が42.1%と最も高く、次いで「地域の治安・防犯」が24.9%、「特にない」が23.8%となっています。

年代別に見ると、49歳以下では「育児・子育てに関すること」と「生活費など経済的なこと」の割合が高くなっており、子育てや経済的なことに関する不安が高くなっていることがうかがえます。



項目	回答数	比率	項目	回答数	比率
自分や家族の健康に関すること	223	42.1%	自分の家族の生活上の問題	65	12.3%
介護に関すること	96	18.1%	話し相手や相談相手がいない	9	1.7%
仕事に関すること	39	7.4%	災害時の避難のこと	96	18.1%
生活費など経済的なこと	100	18.9%	地域の治安・防犯	132	24.9%
近所の人との関係	41	7.7%	特にない	126	23.8%
育児・子育てに関すること	46	8.7%	その他	24	4.5%
家族間の問題	33	6.2%			
日常の外出・通院など	33	6.2%	回答者数	530	

その他

有害獣の出没、ゴミ問題、急な子どもの発熱に対応できる病院がない、交通の便の悪さ、世代間の交流の少なさ、児童の登下校、水害の不安、免許返納後の移動手段、相続問題、空き家対策、自治会の運営、近くに買い物できる場所不足、人間関係、将来のこと、障がい児の親なき後の生活 など

〈年齢別クロス集計〉1位：白文字 2位：太文字

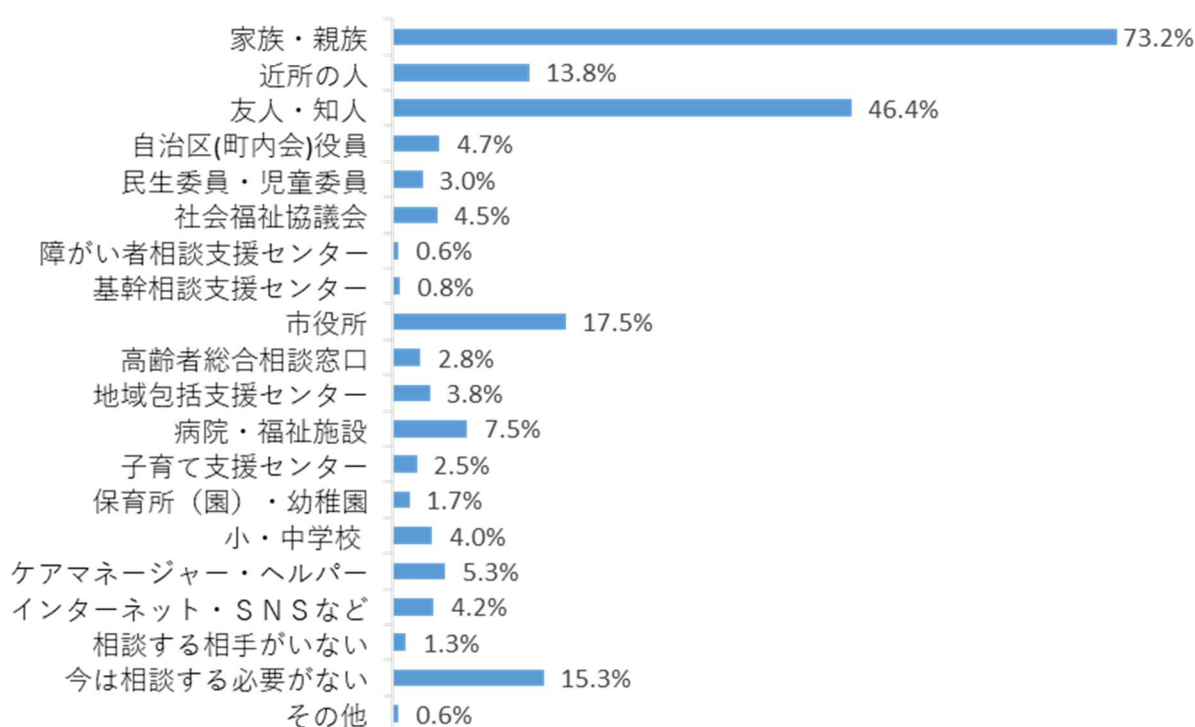
年齢	回答母数	項目	自分や家族の健康に関すること	介護に関すること	仕事に関すること	生活費など経済的なこと	近所の人との関係	育児・子育てに関すること	家族間の問題	日常の外出・通院など	自分の家族の生活上の問題	話し相手や相談相手がいない	災害時の避難のこと	地域の治安・防犯	特にない	その他
全体	530	回答数	223	96	39	100	41	46	33	33	65	9	96	132	126	24
		比率	42.1%	18.1%	7.4%	18.9%	7.7%	8.7%	6.2%	6.2%	12.3%	1.7%	18.1%	24.9%	23.8%	4.5%
～19歳	0	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		比率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	3	回答数	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1
		比率	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%
30～39歳	28	回答数	6	1	8	11	3	10	5	3	6	0	3	7	6	0
		比率	21.4%	3.6%	28.6%	39.3%	10.7%	35.7%	17.9%	10.7%	21.4%	0.0%	10.7%	25.0%	21.4%	0.0%
40～49歳	81	回答数	22	17	14	29	12	29	7	5	21	2	13	14	18	1
		比率	27.2%	21.0%	17.3%	35.8%	14.8%	35.8%	8.6%	6.2%	25.9%	2.5%	16.0%	17.3%	22.2%	1.2%
50～59歳	31	回答数	13	6	5	6	2	2	2	0	7	1	3	8	8	2
		比率	41.9%	19.4%	16.1%	19.4%	6.5%	6.5%	6.5%	0.0%	22.6%	3.2%	9.7%	25.8%	25.8%	6.5%
60～64歳	33	回答数	14	9	1	8	1	0	1	1	3	0	6	9	6	1
		比率	42.4%	27.3%	3.0%	24.2%	3.0%	0.0%	3.0%	3.0%	9.1%	0.0%	18.2%	27.3%	18.2%	3.0%
65～69歳	94	回答数	51	26	5	19	5	1	2	5	5	1	23	32	20	2
		比率	54.3%	27.7%	5.3%	20.2%	5.3%	1.1%	2.1%	5.3%	5.3%	1.1%	24.5%	34.0%	21.3%	2.1%
70～74歳	143	回答数	70	19	3	18	11	3	12	8	18	1	24	26	37	7
		比率	49.0%	13.3%	2.1%	12.6%	7.7%	2.1%	8.4%	5.6%	12.6%	0.7%	16.8%	18.2%	25.9%	4.9%
75～79歳	77	回答数	34	15	2	6	6	0	3	3	3	4	18	30	19	7
		比率	44.2%	19.5%	2.6%	7.8%	7.8%	0.0%	3.9%	3.9%	3.9%	5.2%	23.4%	39.0%	24.7%	9.1%
80～89歳	33	回答数	12	3	0	2	1	0	1	6	2	0	6	6	9	3
		比率	36.4%	9.1%	0.0%	6.1%	3.0%	0.0%	3.0%	18.2%	6.1%	0.0%	18.2%	18.2%	27.3%	9.1%
90～99歳	3	回答数	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0
		比率	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
100歳以上	0	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		比率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	4	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問8 あなたは、生活上の困りごとや不安を解決したい時、どこに相談しますか。
【該当するものすべてに○】

困りごとや不安なことの相談先は「家族・親族」が73.2%

回答者の生活上の困りごとや不安を解消したい時の相談先は「家族・親族」が73.2%と最も高く、次いで「友人・知人」が46.4%、「市役所」が17.5%となっています。

「家族・親族」と「友人・知人」は全年代で高くなっており、最初の相談先は身近な人にしていることがうかがえます。



項目	回答数	比率	項目	回答数	比率
家族・親族	388	73.2%	病院・福祉施設	40	7.5%
近所の人	73	13.8%	子育て支援センター	13	2.5%
友人・知人	246	46.4%	保育所(園)・幼稚園	9	1.7%
自治区(町内会)役員	25	4.7%	小・中学校	21	4.0%
民生委員・児童委員	16	3.0%	ケアマネジャー・ヘルパー	28	5.3%
社会福祉協議会	24	4.5%	インターネット・SNSなど	22	4.2%
障がい者相談支援センター	3	0.6%	相談する相手がいらない	7	1.3%
基幹相談支援センター	4	0.8%	今は相談する必要がない	81	15.3%
市役所	93	17.5%	その他	3	0.6%
高齢者総合相談窓口	15	2.8%			
地域包括支援センター	20	3.8%			
			回答者数	530	

その他

・生活支援コーディネーター、警察署、弁護士、看護師 など

ご近所付き合いやお住いの地区のことについておたずねします。

問9 あなたご自身やご家族は、どのようなご近所付き合いをしていますか。【1つだけ○】

近所付き合いは「世間話や情報交換などの立ち話をする程度」が55.8%

回答者やその家族の近所付き合いの程度は「世間話や情報交換などの立ち話をする程度」が55.8%と最も高く、次いで「普段からお茶のみや手助けなど頻繁に行き来している」が23.8%、「挨拶する程度であり近所付き合いがない」が17.2%となっています。

年代別に見るとほとんどの年代で「世間話や情報交換などの立ち話をする程度」が最も高いが、次に続くのが、30歳～64歳では「あいさつをする程度であり近所付き合いはない」、65歳～89歳では「普段からお茶のみや手助けなど頻繁に行き来している」がとなっており、年代が高いほど近所付き合いが行われていることがうかがえます。



〈年代別クロス集計〉1位：白文字 2位：太文字

年齢	回答母数	項目	普段からお茶のみや手助けなど頻繁に行き来している	世間話や情報交換などの立ち話をする程度	あいさつする程度であり近所付き合いはない	近所の人とは全く付き合いがない	その他	無回答
全体	530	回答数	126	296	91	0	3	14
		比率	23.8%	55.8%	17.2%	0.0%	0.6%	2.6%
20～29歳	3	回答数	1	0	2	0	0	0
		比率	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	28	回答数	3	18	7	0	0	0
		比率	10.7%	64.3%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40～49歳	81	回答数	5	48	27	0	0	1
		比率	6.2%	59.3%	33.3%	0.0%	0.0%	1.2%
50～59歳	31	回答数	4	18	9	0	0	0
		比率	12.9%	58.1%	29.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～64歳	33	回答数	4	19	9	0	0	1
		比率	12.1%	57.6%	27.3%	0.0%	0.0%	3.0%
65～69歳	94	回答数	19	62	12	0	1	0
		比率	20.2%	66.0%	12.8%	0.0%	1.1%	0.0%
70～74歳	143	回答数	44	76	17	0	0	6
		比率	30.8%	53.1%	11.9%	0.0%	0.0%	4.2%
75～79歳	77	回答数	31	37	5	0	2	2
		比率	40.3%	48.1%	6.5%	0.0%	2.6%	2.6%
80～89歳	33	回答数	13	17	1	0	0	2
		比率	39.4%	51.5%	3.0%	0.0%	0.0%	6.1%
90～99歳	3	回答数	1	0	2	0	0	0
		比率	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	4	回答数	1	1	0	0	0	2
		比率	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

項目	回答数	構成比
普段からお茶のみや手助けなど頻繁に行き来している	126	23.8%
世間話や情報交換などの立ち話をする程度	296	55.8%
あいさつする程度であり近所付き合いはない	91	17.2%
近所の人とは全く付き合いがない	0	0.0%
その他	3	0.6%
無回答	14	2.6%
回答者数	530	100.0%

その他

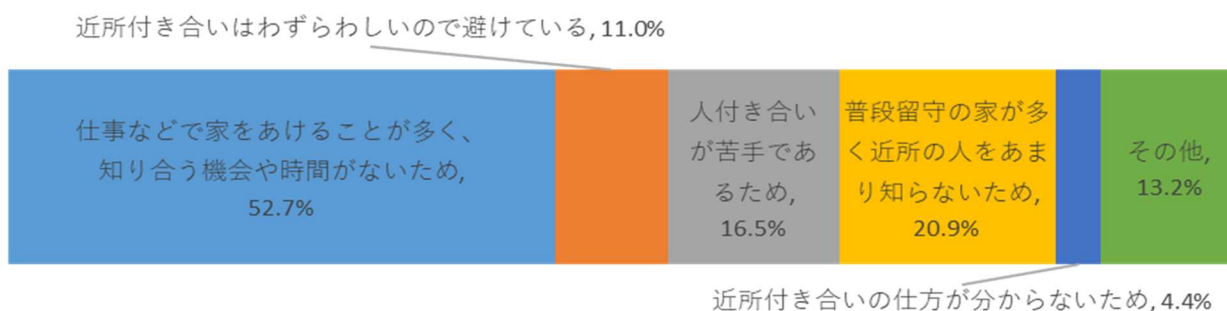
- ・ ボランティアを通じた付き合い
- ・ 認知症の人と毎日散歩
- ・ お茶は飲まないが手助けはする
- ・ コロナ前はお茶のみで近所の人に声かけてましたが、今は時々訪ねているなど

問10 問9「3.」「4.」のいずれかを選択した方に伺います。

ご近所付き合いがあまりない理由は何ですか。【該当するものすべてに○】

近所付き合いがあまりない理由は「仕事などで家を空けることが多く、知り合う機会や時間がないため」が52.7%

ご近所付き合いがあまりない理由は「仕事などで家を空けることが多く、知り合う機会や時間がないため」が52.7%と最も高く、次いで「普段留守の家が多く近所の人をあまり知らないため」が20.9%、「人づきあいが苦手であるため」が16.5%となっています。



項目	回答数	比率
仕事などで家を空けることが多く、知り合う機会や時間がないため	48	52.7%
近所付き合いはわずらわしいので避けている	10	11.0%
人付き合いが苦手であるため	15	16.5%
ふだん留守の家が多く、近所の人をあまり知らないため	19	20.9%
近所付き合いの仕方が分からないため	4	4.4%
その他	12	13.2%
回答者数	91	

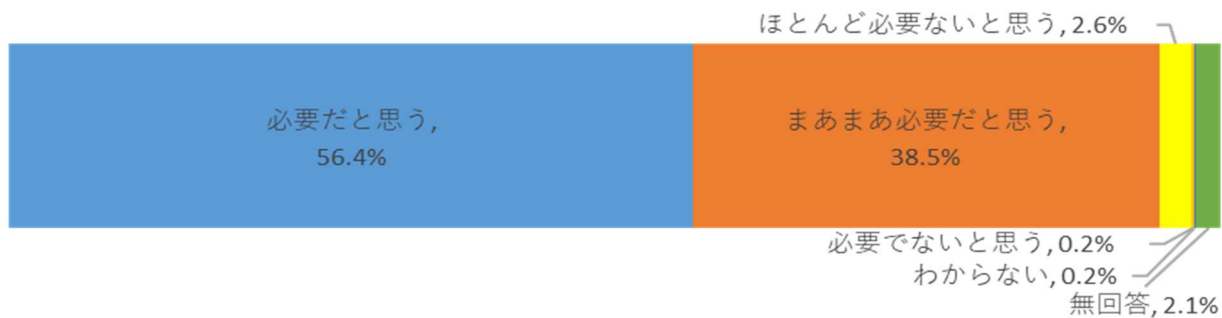
その他

- ・あいさつ程度で満足している
- ・近寄りがたい雰囲気がある
- ・引っ越ししてきてまだ日が浅いため
- ・昔からご近所との付き合いがあまりなかったから
- ・普通挨拶・お祝いごと等近隣の形式に参加はしている
- ・お隣さんは地区が違う為、あいさつぐらい。実家が近くにあるので世間話や情報交換は実家やその周辺人とよくする
- ・班・近所での活動機会の減少
- ・勤めている方が多いため
- ・付き合う必要がない
- ・近い年齢の人がいない
- ・民間の高齢者施設に入所しておりオープンに話す人がいないため
- ・意味がない
- ・どんな人かわからない など

問11 あなたは地域での人との付き合いや関わりが必要だと考えますか。【1つだけ○】

地域での人との付き合いや関わりは「必要だと思う」が56.4%

回答者が地域での人との付き合いや関わりは「必要だと思う」が56.4%と最も高く、次いでまあまあ必要だと思う」が38.5%となっています。



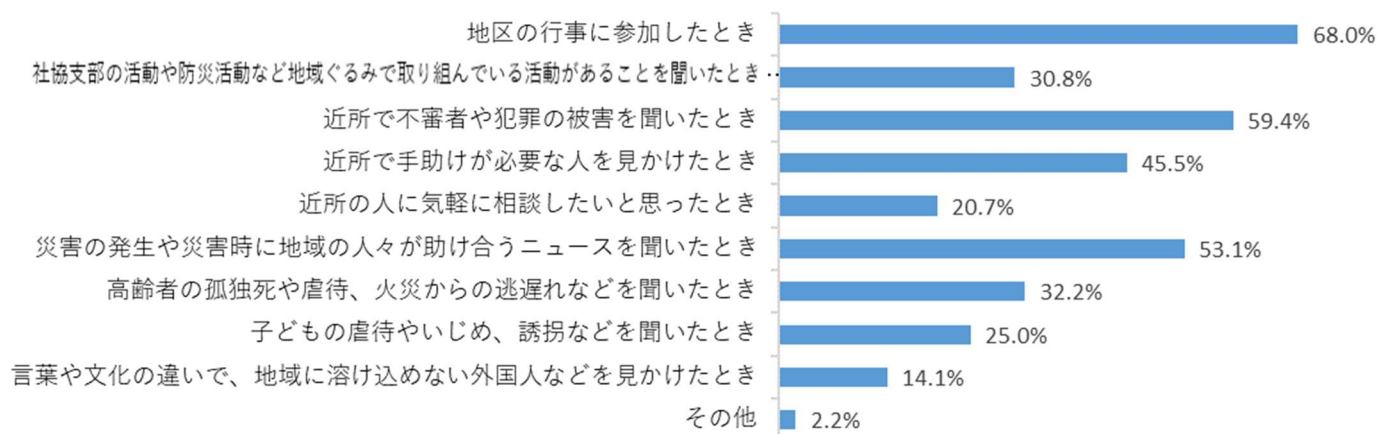
項目	回答数	構成比
必要だと思う	299	56.4%
まあまあ必要だと思う	204	38.5%
ほとんど必要ないと思う	14	2.6%
必要でないと思う	1	0.2%
わからない	1	0.2%
無回答	11	2.1%
回答者数	530	100.0%

問12 問11で「1.」「2.」とお答えした方に伺います。

どのような時に、地域との関わりの必要性を感じますか。【該当するものすべてに○】

地域との関わりの必要性を感じる時は「地区の行事に参加したとき」が 68.0%

地域との関わりの必要性を感じる時は「地区の行事に参加したとき」が 68.0%と最も高く、次いで「近所で不審者や犯罪の被害を聞いたとき」が 59.4%、「災害の発生や被災時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき」が 53.1%となっています。



項目	回答数	比率
地区の行事に参加したとき	342	68.0%
社協支部の活動や防災活動など地域ぐるみで取り組んでいる活動があることを聞いたとき	155	30.8%
近所で不審者や犯罪の被害を聞いたとき	299	59.4%
近所で手助けが必要な人を見かけたとき	229	45.5%
近所の人に気軽に相談したいと思ったとき	104	20.7%
災害の発生や災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき	267	53.1%
高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃遅れなどを聞いたとき	162	32.2%
子どもの虐待やいじめ、誘拐などを聞いたとき	126	25.0%
言葉や文化の違いで、地域に溶け込めない外国人などを見かけたとき	71	14.1%
その他	11	2.2%
回答者数	503	

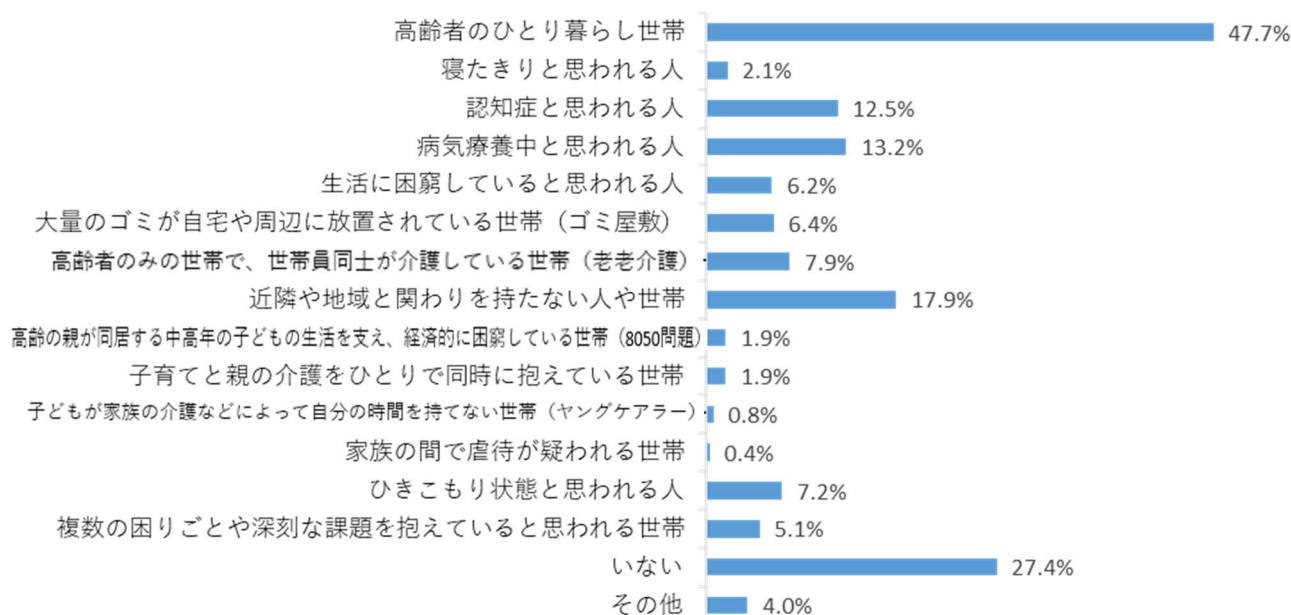
その他

- ・何事にも助けあいが必要だから
- ・冠婚葬祭、地域の祭り、清掃活動など
- ・近所の方々が健康であるか心配したとき
- ・外国人と会話ができない
- ・東京から越して農村地帯の慣習付き合いは難しいと思った。都会住民とされているので地区住民として捉えていないと感じる
- ・今は地域の住民が少なくなってきた、若者は便利な場所へと移り住んで歯止めがかからない。とても不安である など

問13 あなたがお住いの地区に、次のような見守りなど支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯はありますか。【該当するものすべてに○】

お住いの地区で問題を抱えていると思われる人や世帯は
「高齢者のひとり暮らし世帯」が47.7%

回答者がお住いの地区で何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯は「高齢者のひとり暮らし世帯」が47.7%と最も高く、次いで「いない」が27.4%、「近隣や地域と関わりを持たない人や世帯」が17.9%となっています。



項目	回答数	比率
高齢者のひとり暮らし世帯	253	47.7%
寝たきりと思われる人	11	2.1%
認知症と思われる人	66	12.5%
病気療養中と思われる人	70	13.2%
生活に困窮していると思われる人	33	6.2%
大量のゴミが自宅や周辺に放置されている世帯（ゴミ屋敷）	34	6.4%
高齢者のみの世帯で、世帯員同士が介護している世帯（老老介護）	42	7.9%
近隣や地域と関わりを持たない人や世帯	95	17.9%
高齢の親が同居する中高年の子どもの生活を支え、経済的に困窮している世帯（8050問題）	10	1.9%
子育てと親の介護をひとりで同時に抱えている世帯	10	1.9%
子どもが家族の介護などによって自分の時間を持ってない世帯（ヤングケアラー）	4	0.8%
家族の間で虐待が疑われる世帯	2	0.4%
ひきこもり状態と思われる人	38	7.2%
複数の困りごとや深刻な課題を抱えていると思われる世帯	27	5.1%
いない	145	27.4%
その他	21	4.0%
回答者数	530	

その他

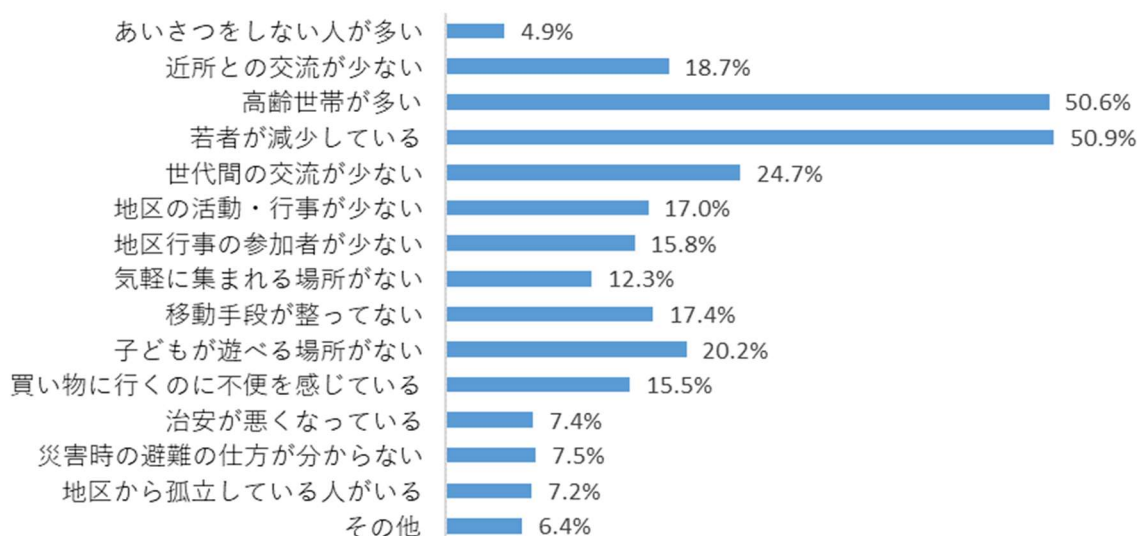
- ・外国人世帯とコミュニケーションを取りたいが日本語が通じない世帯
- ・わからない。把握していない
- ・地域での交流が少ないので世帯ごとの事情や問題点があっても把握できない
- ・庭や家屋の周囲が雑草や立木の手入れができていない世帯など

問14 あなたは、お住まいの地区で気になっていることや困っていることはありますか。
【該当するものすべてに○】

お住まいの地区で気になっていることや困っていることは
「若者が減少している」が50.9%

お住まいの地区で気になっていることや困っていることは「若者が減少している」が50.9%と最も高く、次いで「高齢世帯が多い」が50.6%、「世代間の交流が少ない」が24.7%となっています。

年代別にみると50歳以下では「子供が遊べる場所がない」が多くなっています。



項目	回答数	構成比	項目	回答数	構成比
あいさつをしない人が多い	26	4.9%	移動手段が整ってない	92	17.4%
近所との交流が少ない	99	18.7%	子どもが遊べる場所がない	107	20.2%
高齢世帯が多い	268	50.6%	買い物に行くのに不便を感じている	82	15.5%
若者が減少している	270	50.9%	治安が悪くなっている	39	7.4%
世代間の交流が少ない	131	24.7%	災害時の避難の仕方が分からない	40	7.5%
地区の活動・行事が少ない	90	17.0%	地区から孤立している人がいる	38	7.2%
地区行事の参加者が少ない	84	15.8%	その他	34	6.4%
気軽に集まれる場所がない	65	12.3%	回答者数	530	

その他

【地域のつながりのこと】

- ・自治区へ未加入世帯が多い。高齢世帯を理由に班長職を担わないと退会する世帯が増加している。
- ・自治区の役員になる人がいない。自治区から抜けていく家族が多い地区行事のこと。
- ・子どもが少ないため夏祭り等を縮小せざるを得ない。
- ・昭和生まれの人と次世代の人たちの考えの違いはだいぶあると思いますがどうつないでいくのか。
- ・仕事をしているため、まだ地区行事に参加していない。

- ・近所に独身の男性が多く、あってもあいさつしない。恐怖を感じる。
- ・近所のアパートの住人に会うことが無く不安。
- ・自治会で総会があった時には交流もあったが、現在は総会（集会含む）も無くなり地区の状況が掴めない状態になっている。自主防災組織も解散するとの事で時代に逆行？している感がある。
- ・外国人家族との交流が不安。

【ゴミや生活環境のこと】

- ・ごみのポイ捨て、犬や猫の糞尿、野良猫がとても多い（エサをあげている人がいる）。
- ・犬のフンを放置する方がいる。
- ・外国人のごみ捨て（分別）ができない。
- ・ゴミの分別や出す日を守らない人がいる。市の放送が反響して聞き取りにくい。
- ・地元の公園は整備・除草はしているが高齢になると負担が多い。
- ・横断歩道で待っていても車が止まってくれない。
- ・庭の木、枝等がのびている（道路にかかっている）が、家の人に連絡しても改善されない。
- ・耕作放棄地の増加、手入れされていない山林等自然環境の悪化。
- ・特に休日の早朝、自宅の敷地内で、ゴミを燃やしているお宅があり困っている。
- ・ゴミ収集場所に決まりを守らないゴミが月に1回くらい置かれていて困ります。
- ・歩道の除草作業が年1回のため歩きづらい。
- ・野焼きをされて家の中が臭くなることがある。
- ・大生小から354を渡り、長助公民館へ向かう通学路の冠水問題が県による工事が終了しても解決していない。
- ・外で猫を飼っていて庭に来て糞をする。1年に何回も子猫を生む。

【子育てのこと】

- ・子どもを遊ばせることができる施設が少ないと思います。
- ・小・中学生の通学路に歩道がないところが多い。
- ・子どもたちや人が集まれる場所がない。
- ・公園について都内から孫が遊びに来て公園が少なく市外まで車で行かなくてはならない。

【移動手段】

- ・車を持たない人には買い物に不便だと思います。
- ・今は運転もできるので不便はないが、その手段が無くなったときお店もない、病院は遠い。どうしたらよいのか今から心配。
- ・ジョイバスの台数、ルート変更、時間の見直しを検討してほしい。
- ・移動スーパーよりも自宅まで配送してもらえるサービスがほしい。

【防犯】

- ・最近空き家や留守時間帯に不審者の侵入があったりするので不安になります。

【その他】

- ・迷惑行為、危険行為で何度も警察が来ている。
- ・若い世代は共稼ぎで昼間は留守。年金暮らしの高齢者とは立ち話程度はする。
- ・前はこうだったと口を出してくる人がいる。
- ・294号中山の信号から中山へ向かう道路（通学路）に歩道がない。
- ・子ども会、婦人会等の役員の活動の見直しを検討してほしい。

〈年代別クロス集計〉1位：白文字 2位：太文字

年齢	回答 母数	項目	あいさつをしない 人が多い	近所との交流が少 ない	高齢世帯が多い	若者が減少してい る	世代間の交流が少 ない	地区の活動・行事 が少ない	地区行事の参加者 が少ない	気軽に集まれる場 所がない	移動手段が整って ない	子どもが遊べる場 所がない	買い物に行くのに 不便を感じている	治安が悪くなっ ている	災害時の避難の仕 方が分からない	地区から孤立し ている人がいる	その他
全体	530	回答数	26	99	268	270	131	90	84	65	92	107	82	39	40	38	34
		比率	4.9%	18.7%	50.6%	50.9%	24.7%	17.0%	15.8%	12.3%	17.4%	20.2%	15.5%	7.4%	7.5%	7.2%	6.4%
～19歳	0	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		比率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	3	回答数	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1
		比率	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%
30～39歳	28	回答数	2	1	10	16	2	3	4	6	8	21	8	2	1	1	2
		比率	7.1%	3.6%	35.7%	57.1%	7.1%	10.7%	14.3%	21.4%	28.6%	75.0%	28.6%	7.1%	3.6%	3.6%	7.1%
40～49歳	81	回答数	4	9	35	45	14	6	8	4	16	33	15	7	3	2	5
		比率	4.9%	11.1%	43.2%	55.6%	17.3%	7.4%	9.9%	4.9%	19.8%	40.7%	18.5%	8.6%	3.7%	2.5%	6.2%
50～59歳	31	回答数	2	6	13	14	7	2	7	4	6	6	1	1	2	3	6
		比率	6.5%	19.4%	41.9%	45.2%	22.6%	6.5%	22.6%	12.9%	19.4%	19.4%	3.2%	3.2%	6.5%	9.7%	19.4%
60～64歳	33	回答数	1	6	11	19	10	5	2	2	8	6	8	3	5	2	2
		比率	3.0%	18.2%	33.3%	57.6%	30.3%	15.2%	6.1%	6.1%	24.2%	18.2%	24.2%	9.1%	15.2%	6.1%	6.1%
65～69歳	94	回答数	2	17	55	48	28	16	15	7	12	12	13	6	10	9	3
		比率	2.1%	18.1%	58.5%	51.1%	29.8%	17.0%	16.0%	7.4%	12.8%	12.8%	13.8%	6.4%	10.6%	9.6%	3.2%
70～74歳	143	回答数	4	34	88	74	35	29	23	22	25	17	21	9	8	8	10
		比率	2.8%	23.8%	61.5%	51.7%	24.5%	20.3%	16.1%	15.4%	17.5%	11.9%	14.7%	6.3%	5.6%	5.6%	7.0%
75～79歳	77	回答数	7	19	37	37	23	18	17	15	11	8	7	9	8	12	4
		比率	9.1%	24.7%	48.1%	48.1%	29.9%	23.4%	22.1%	19.5%	14.3%	10.4%	9.1%	11.7%	10.4%	15.6%	5.2%
80～89歳	33	回答数	3	6	15	13	11	9	7	4	6	4	7	2	2	1	1
		比率	9.1%	18.2%	45.5%	39.4%	33.3%	27.3%	21.2%	12.1%	18.2%	12.1%	21.2%	6.1%	6.1%	3.0%	3.0%
90～99歳	3	回答数	1	0	2	2	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0
		比率	33.3%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100歳以上	0	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		比率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	4	回答数	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		比率	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

〈地区別クロス集計〉1位：白文字 2位：太文字

地区	回答 母数	項目	あいさつをしない 人が多い	近所との交流が少 ない	高齢世帯が多い	若者が減少してい る	世代間の交流が少 ない	地区の活動・行事 が少ない	地区行事の参加者 が少ない	気軽に集まれる場 所がない	移動手段が整って ない	子どもが遊べる場 所がない	買い物に行くのに 不便を感じている	治安が悪くなつて いる	災害時の避難の仕 方が分からない	地区から孤立して いる人がいる	その他
全体	530	人数	26	99	268	270	131	90	84	65	92	107	82	39	40	38	34
		比率	4.9%	18.7%	50.6%	50.9%	24.7%	17.0%	15.8%	12.3%	17.4%	20.2%	15.5%	7.4%	7.5%	7.2%	6.4%
水海道	70	人数	7	17	49	39	21	10	20	15	15	10	7	7	8	7	5
		比率	10.0%	24.3%	70.0%	55.7%	30.0%	14.3%	28.6%	21.4%	21.4%	14.3%	10.0%	10.0%	11.4%	10.0%	7.1%
豊岡	44	人数	3	7	24	20	9	7	9	5	8	10	13	2	1	5	1
		比率	6.8%	15.9%	54.5%	45.5%	20.5%	15.9%	20.5%	11.4%	18.2%	22.7%	29.5%	4.5%	2.3%	11.4%	2.3%
菅原	26	人数	0	3	13	16	7	8	1	4	9	6	6	2	6	5	2
		比率	0.0%	11.5%	50.0%	61.5%	26.9%	30.8%	3.8%	15.4%	34.6%	23.1%	23.1%	7.7%	23.1%	19.2%	7.7%
大花羽	19	人数	1	4	8	11	3	8	5	4	2	2	3	2	1	0	0
		比率	5.3%	21.1%	42.1%	57.9%	15.8%	42.1%	26.3%	21.1%	10.5%	10.5%	15.8%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%
三妻	34	人数	1	6	22	16	6	4	5	3	8	10	4	0	3	1	3
		比率	2.9%	17.6%	64.7%	47.1%	17.6%	11.8%	14.7%	8.8%	23.5%	29.4%	11.8%	0.0%	8.8%	2.9%	8.8%
五箇	29	人数	0	5	17	22	10	8	5	2	7	9	7	1	2	3	0
		比率	0.0%	17.2%	58.6%	75.9%	34.5%	27.6%	17.2%	6.9%	24.1%	31.0%	24.1%	3.4%	6.9%	10.3%	0.0%
大生	28	人数	1	3	14	11	7	4	2	1	3	8	5	1	1	1	2
		比率	3.6%	10.7%	50.0%	39.3%	25.0%	14.3%	7.1%	3.6%	10.7%	28.6%	17.9%	3.6%	3.6%	3.6%	7.1%
坂手	22	人数	2	6	12	14	6	3	4	1	4	4	9	0	0	1	0
		比率	9.1%	27.3%	54.5%	63.6%	27.3%	13.6%	18.2%	4.5%	18.2%	18.2%	40.9%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
内守谷	19	人数	1	4	4	4	7	3	4	2	3	2	3	2	4	2	3
		比率	5.3%	21.1%	21.1%	21.1%	36.8%	15.8%	21.1%	10.5%	15.8%	10.5%	15.8%	10.5%	21.1%	10.5%	15.8%
菅生・ 大塚戸	35	人数	1	3	15	12	4	3	2	6	10	12	12	0	2	1	5
		比率	2.9%	8.6%	42.9%	34.3%	11.4%	8.6%	5.7%	17.1%	28.6%	34.3%	34.3%	0.0%	5.7%	2.9%	14.3%
石下	72	人数	3	21	25	35	15	13	10	6	5	11	3	4	4	2	4
		比率	4.2%	29.2%	34.7%	48.6%	20.8%	18.1%	13.9%	8.3%	6.9%	15.3%	4.2%	5.6%	5.6%	2.8%	5.6%
豊田	17	人数	0	2	8	7	6	3	3	0	3	4	0	0	0	2	2
		比率	0.0%	11.8%	47.1%	41.2%	35.3%	17.6%	17.6%	0.0%	17.6%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	11.8%
玉	27	人数	2	3	14	13	9	1	6	3	4	3	4	3	2	1	1
		比率	7.4%	11.1%	51.9%	48.1%	33.3%	3.7%	22.2%	11.1%	14.8%	11.1%	14.8%	11.1%	7.4%	3.7%	3.7%
岡田	46	人数	2	11	28	25	15	10	5	7	6	9	3	13	5	5	4
		比率	4.3%	23.9%	60.9%	54.3%	32.6%	21.7%	10.9%	15.2%	13.0%	19.6%	6.5%	28.3%	10.9%	10.9%	8.7%
飯沼	36	人数	2	3	13	23	5	5	3	5	5	5	3	2	1	2	2
		比率	5.6%	8.3%	36.1%	63.9%	13.9%	13.9%	8.3%	13.9%	13.9%	13.9%	8.3%	5.6%	2.8%	5.6%	5.6%
無回答	6	人数	0	1	2	2	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0
		比率	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

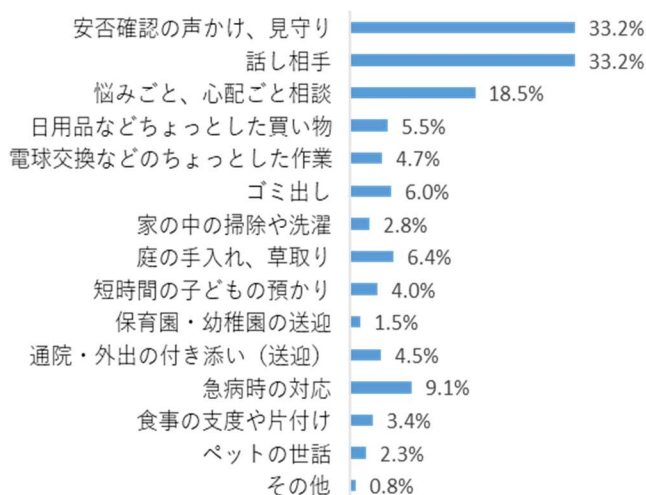
問15 あなたは、お住いの地区で困っている世帯がある場合、あなた自身が行っていることはありますか。次の選択肢の中から「①いつもしている」、「②まあしている」、「③あまりしていない」、「④まったくしていない」を選んでください。【該当するものに○】

回答者が行っている助け合い活動は「安否確認の声かけ、見守り」が41.1%

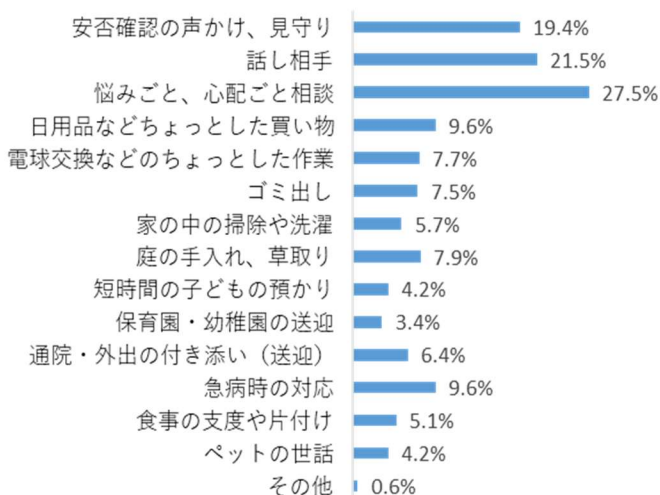
回答者がお住いの地区で困っている世帯がある場合に行っていることは「安否確認の声かけ、見守り」が41.1%※で最も高く、次いで「話し相手」が39.2%※、「悩みごと、心配ごと相談」が21.5%※となっています。

※印は選択肢「①いつもしている」と「②まあしている」の合計の数値

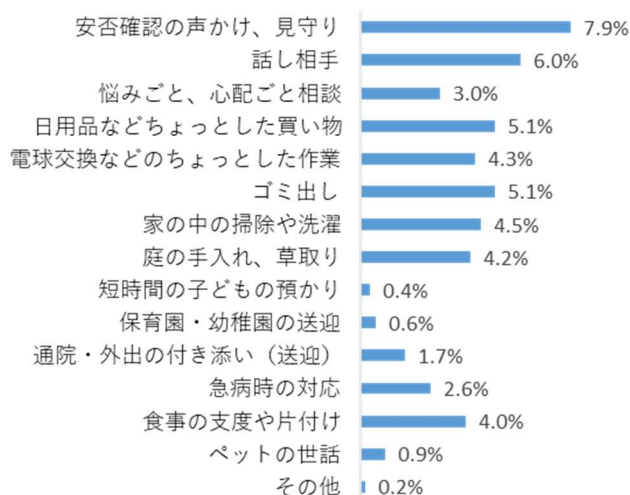
① いつもしている



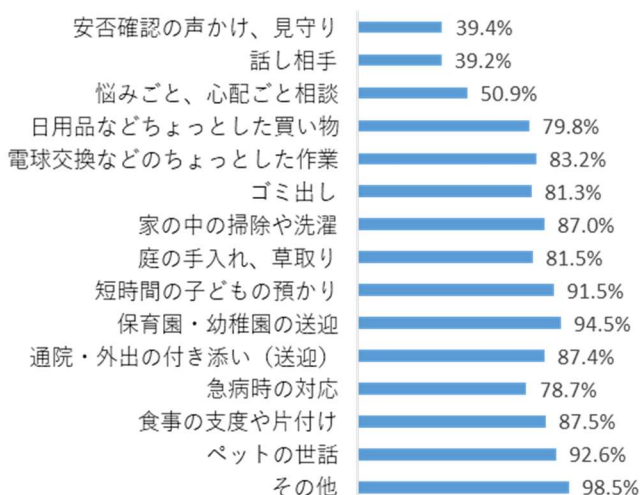
② まあしている



③ あまりしていない



④ まったくしていない



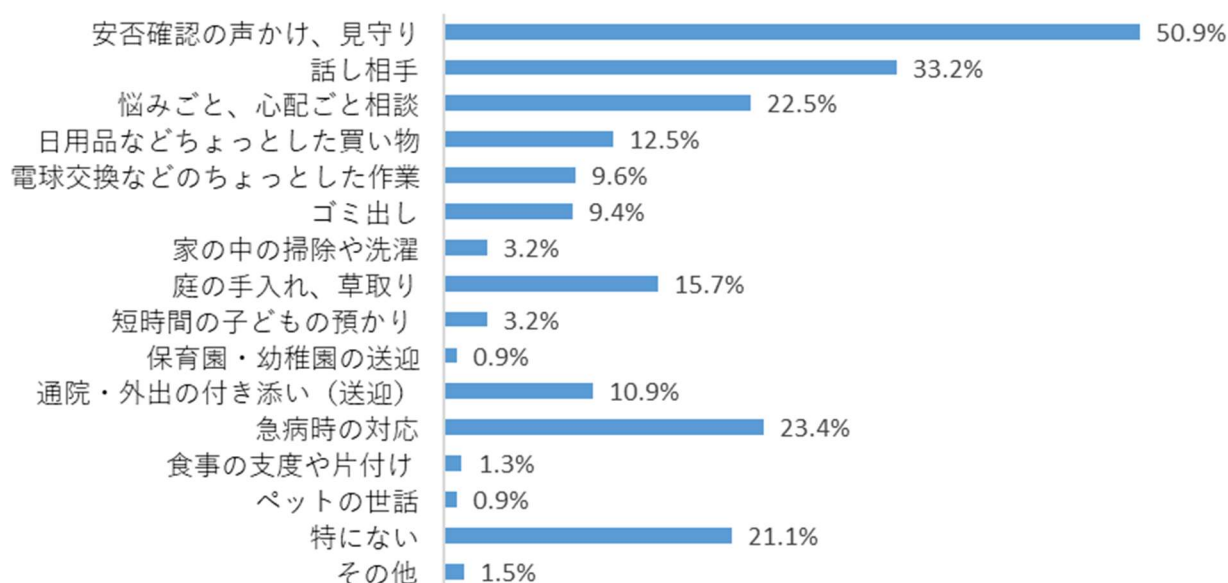
問16 現在、お住いの地域でどのようなお手伝いが必要とされていると思いますか。

【該当するものすべてに○】

お住いの地域で必要とされていることは
「安否確認の声かけ、見守り」が50.9%

回答者のお住いの地域で必要とされているお手伝いは「安否確認の声かけ、見守り」が50.9%と最も高く、次いで「話し相手」が33.2%、「急病時の対応」が23.4%となっています。

地区別でも全地区において「安否確認の声かけ、見守り」と「話し相手」が高くなっており、要支援者への声かけや見守りが必要とされていることがうかがえます。



項目	回答数	比率
安否確認の声かけ、見守り	270	50.9%
話し相手	176	33.2%
悩みごと、心配ごと相談	119	22.5%
日用品などちょっとした買い物	66	12.5%
電球交換などのちょっとした作業	51	9.6%
ゴミ出し	50	9.4%
家の中の掃除や洗濯	17	3.2%
庭の手入れ、草取り	83	15.7%
短時間の子どもの預かり	17	3.2%
保育園・幼稚園の送迎	5	0.9%
通院・外出の付き添い(送迎)	58	10.9%
急病時の対応	124	23.4%
食事の支度や片付け	7	1.3%
ペットの世話	5	0.9%
特にない	112	21.1%
その他	8	1.5%
回答者数	530	

〈地区別クロス集計〉1 位：白文字 2 位：太文字

地区	回答 母数	項目	け、安 否 確 認 声 か 見守り	話 し 相 手	と 相 談	悩 み ご と 心 配	日 用 品 な ど の	電 球 交 換 な ど	ゴ ミ 出 し	家 の 中 の 掃 除	草 取 り 手 入 れ	庭 の 手 入 れ	も の 預 か り	短 時 間 の 子 ど	園 の 送 迎	保 育 園・ 幼 稚 園	付 き 添 い 送 迎	通 院・ 外 出 の	急 病 時 の 対 応	片 付 け	食 事 の 支 度 や	ベ ッ ト の 世 話	特 に な い	そ の 他
全体	530	人数	270	176	119	66	51	50	17	83	17	5	58	124	7	5	112	8						
		比率	50.9%	33.2%	22.5%	12.5%	9.6%	9.4%	3.2%	15.7%	3.2%	0.9%	10.9%	23.4%	1.3%	0.9%	21.1%	1.5%						
水海道	70	人数	45	32	16	11	16	14	2	14	2	0	12	22	2	2	13	0						
		比率	64.3%	45.7%	22.9%	15.7%	22.9%	20.0%	2.9%	20.0%	2.9%	0.0%	17.1%	31.4%	2.9%	2.9%	18.6%	0.0%						
豊岡	44	人数	18	16	11	5	2	5	1	5	0	0	1	8	1	0	9	1						
		比率	40.9%	36.4%	25.0%	11.4%	4.5%	11.4%	2.3%	11.4%	0.0%	0.0%	2.3%	18.2%	2.3%	0.0%	20.5%	2.3%						
菅原	26	人数	11	11	3	6	1	1	1	4	0	0	3	6	1	0	5	0						
		比率	42.3%	42.3%	11.5%	23.1%	3.8%	3.8%	3.8%	15.4%	0.0%	0.0%	11.5%	23.1%	3.8%	0.0%	19.2%	0.0%						
大花羽	19	人数	10	7	8	3	2	2	1	5	0	0	2	6	0	0	2	0						
		比率	52.6%	36.8%	42.1%	15.8%	10.5%	10.5%	5.3%	26.3%	0.0%	0.0%	10.5%	31.6%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%						
三妻	34	人数	16	10	7	4	3	1	1	7	0	0	5	9	0	0	10	1						
		比率	47.1%	29.4%	20.6%	11.8%	8.8%	2.9%	2.9%	20.6%	0.0%	0.0%	14.7%	26.5%	0.0%	0.0%	29.4%	2.9%						
五箇	29	人数	18	9	7	3	2	2	1	4	1	2	5	8	0	0	6	0						
		比率	62.1%	31.0%	24.1%	10.3%	6.9%	6.9%	3.4%	13.8%	3.4%	6.9%	17.2%	27.6%	0.0%	0.0%	20.7%	0.0%						
大生	28	人数	16	9	5	2	2	3	2	4	0	0	4	7	0	0	6	0						
		比率	57.1%	32.1%	17.9%	7.1%	7.1%	10.7%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	25.0%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%						
坂手	22	人数	12	9	5	8	3	1	1	1	0	0	3	3	1	0	5	0						
		比率	54.5%	40.9%	22.7%	36.4%	13.6%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	13.6%	13.6%	4.5%	0.0%	22.7%	0.0%						
内守谷	19	人数	8	5	4	0	2	3	0	6	3	1	0	4	0	1	3	1						
		比率	42.1%	26.3%	21.1%	0.0%	10.5%	15.8%	0.0%	31.6%	15.8%	5.3%	0.0%	21.1%	0.0%	5.3%	15.8%	5.3%						
菅生・ 大塚戸	35	人数	17	8	8	7	5	4	4	7	3	2	3	8	2	1	6	1						
		比率	48.6%	22.9%	22.9%	20.0%	14.3%	11.4%	11.4%	20.0%	8.6%	5.7%	8.6%	22.9%	5.7%	2.9%	17.1%	2.9%						
石下	72	人数	34	20	17	5	1	5	1	6	1	0	4	15	0	0	20	1						
		比率	47.2%	27.8%	23.6%	6.9%	1.4%	6.9%	1.4%	8.3%	1.4%	0.0%	5.6%	20.8%	0.0%	0.0%	27.8%	1.4%						
豊田	17	人数	10	5	4	2	1	1	0	2	3	0	3	5	0	1	3	0						
		比率	58.8%	29.4%	23.5%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%	17.6%	0.0%	17.6%	29.4%	0.0%	5.9%	17.6%	0.0%						
玉	27	人数	14	8	4	2	0	1	0	1	0	0	2	5	0	0	5	0						
		比率	51.9%	29.6%	14.8%	7.4%	0.0%	3.7%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	7.4%	18.5%	0.0%	0.0%	18.5%	0.0%						
岡田	46	人数	27	14	11	4	8	4	0	8	1	0	6	10	0	0	10	3						
		比率	58.7%	30.4%	23.9%	8.7%	17.4%	8.7%	0.0%	17.4%	2.2%	0.0%	13.0%	21.7%	0.0%	0.0%	21.7%	6.5%						
飯沼	36	人数	12	11	9	4	2	3	2	9	2	0	5	7	0	0	8	0						
		比率	33.3%	30.6%	25.0%	11.1%	5.6%	8.3%	5.6%	25.0%	5.6%	0.0%	13.9%	19.4%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%						
無回答	6	人数	2	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0						
		比率	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%						

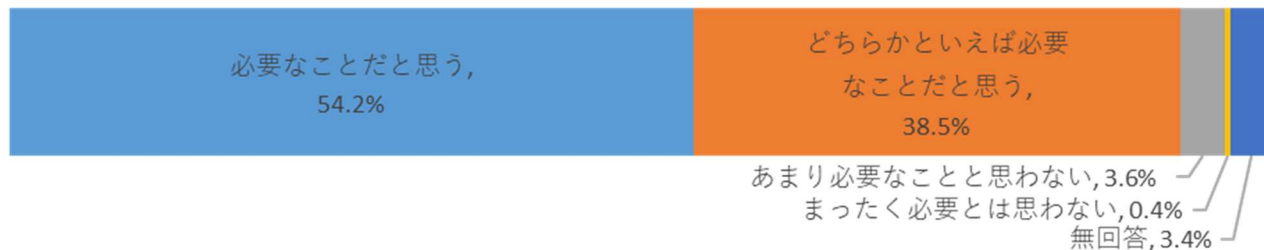
〈年代別クロス集計〉1 位：白文字 2 位：太文字

年齢	回答 母数	項目	け、 安 否 確 認 の 声 か 見 守 り	話 し 相 手	と 相 談	悩 み ご と、 心 配	日 用 品 な ど ち よ つ と し た 作 業	電 球 交 換 な ど の 作 業	ゴ ミ 出 し	濯 家 の 中 の 掃 除 や 洗	り 庭 の 手 入 れ、 草 取	預 か り 短 時 間 の 子 ど も	送 迎 保 育 園・ 幼 稚 園	通 院・ 外 出 の 付 き 添 い （ 送 迎 ）	急 病 時 の 対 応	け 食 事 の 支 度 や 片 付	ベ ッ ト の 世 話	特 に な い	そ の 他
全体	530	回答数	270	176	119	66	51	50	17	83	17	5	58	124	7	5	112	8	
		比率	50.9%	33.2%	22.5%	12.5%	9.6%	9.4%	3.2%	15.7%	3.2%	0.9%	10.9%	23.4%	1.3%	0.9%	21.1%	1.5%	
～19歳	0	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		比率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～29歳	3	回答数	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		比率	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
30～39歳	28	回答数	13	7	6	3	2	2	2	4	6	1	4	7	1	0	10	1	
		比率	46.4%	25.0%	21.4%	10.7%	7.1%	7.1%	7.1%	14.3%	21.4%	3.6%	14.3%	25.0%	3.6%	0.0%	35.7%	3.6%	
40～49歳	81	回答数	33	17	13	9	5	3	3	17	7	3	12	18	1	0	20	3	
		比率	40.7%	21.0%	16.0%	11.1%	6.2%	3.7%	3.7%	21.0%	8.6%	3.7%	14.8%	22.2%	1.2%	0.0%	24.7%	3.7%	
50～59歳	31	回答数	11	8	8	6	4	3	2	4	1	0	5	9	1	0	8	1	
		比率	35.5%	25.8%	25.8%	19.4%	12.9%	9.7%	6.5%	12.9%	3.2%	0.0%	16.1%	29.0%	3.2%	0.0%	25.8%	3.2%	
60～64歳	33	回答数	12	9	6	4	2	2	2	6	0	0	3	11	1	1	10	0	
		比率	36.4%	27.3%	18.2%	12.1%	6.1%	6.1%	6.1%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	33.3%	3.0%	3.0%	30.3%	0.0%	
65～69歳	94	回答数	53	36	21	10	10	14	4	19	1	0	8	21	2	1	17	0	
		比率	56.4%	38.3%	22.3%	10.6%	10.6%	14.9%	4.3%	20.2%	1.1%	0.0%	8.5%	22.3%	2.1%	1.1%	18.1%	0.0%	
70～74歳	143	回答数	85	51	40	14	9	11	2	17	1	0	14	34	0	0	26	2	
		比率	59.4%	35.7%	28.0%	9.8%	6.3%	7.7%	1.4%	11.9%	0.7%	0.0%	9.8%	23.8%	0.0%	0.0%	18.2%	1.4%	
75～79歳	77	回答数	43	34	19	12	14	10	1	9	1	1	9	17	1	1	12	1	
		比率	55.8%	44.2%	24.7%	15.6%	18.2%	13.0%	1.3%	11.7%	1.3%	1.3%	11.7%	22.1%	1.3%	1.3%	15.6%	1.3%	
80～89歳	33	回答数	16	11	5	6	4	5	1	7	0	0	3	6	0	1	7	0	
		比率	48.5%	33.3%	15.2%	18.2%	12.1%	15.2%	3.0%	21.2%	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	0.0%	3.0%	21.2%	0.0%	
90～99歳	3	回答数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
		比率	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	
100歳以上	0	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		比率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
不明	4	回答数	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
		比率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問17 あなたは地域の困りごとを解決するために、地域住民同士が支え合うことが必要であると思いますか。【1つだけ○】

地域住民同士の支えあいは「必要なことだと思う」が54.2%

地域住民同士の支えあいの必要性は「必要なことだと思う」が54.2%で最も高く、次いで「どちらかといえば必要なことだと思う」が38.5%となっており、あわせると92.7%の方が地域住民同士の支えあいはあった方が良く考えていることが分かります。



項目	回答数	構成比
必要なことだと思う	287	54.2%
どちらかといえば必要なことだと思う	204	38.5%
あまり必要なことと思わない	19	3.6%
まったく必要とは思わない	2	0.4%
無回答	18	3.4%
回答者数	530	100.0%

お住いの地区での活動についておたずねします。

問18 あなたは地区の活動や行事に参加していますか。【1つだけ○】

回答者の地区活動や行事への参加は「参加している」が91.9%

回答者の地区の活動や行事への参加は「参加している」が91.9%で最も高く、次いで「参加していない」が5.7%となっています。

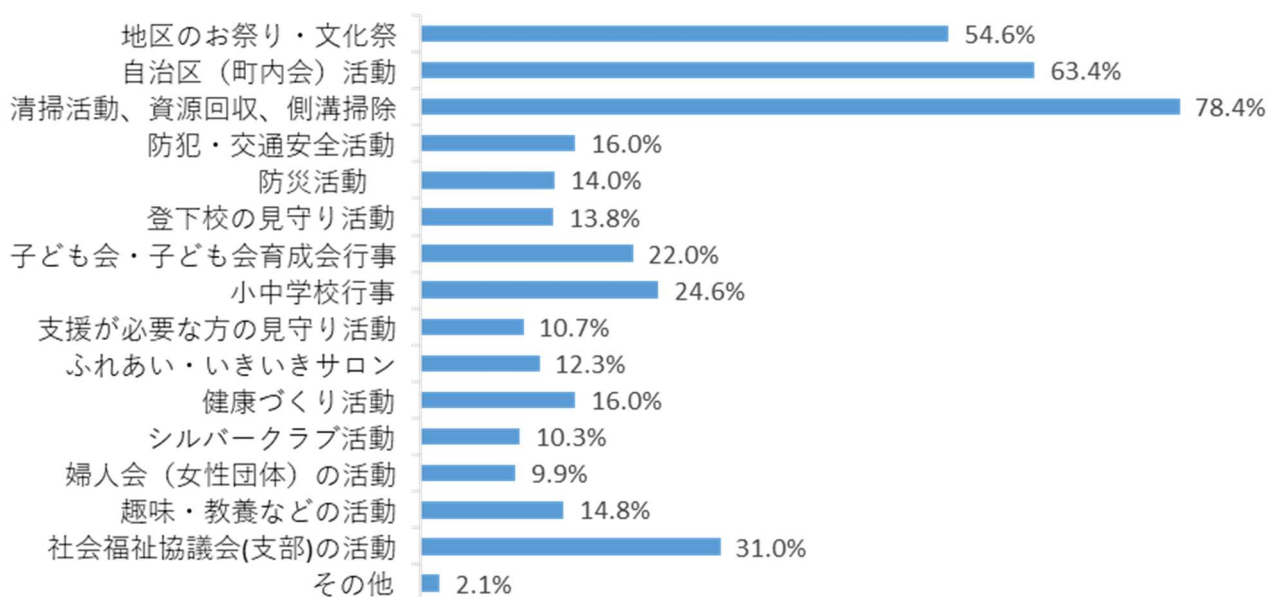


項目	回答数	構成比
参加している	487	91.9%
参加していない	30	5.7%
無回答	13	2.5%
回答者数	530	100.0%

問19 参加している活動や行事を教えてください。【該当するものすべてに○】

回答者が参加している活動や行事は「清掃活動、資源回収、側溝掃除」が 78.4%

回答者が参加している活動や行事は「清掃活動、資源回収、側溝清掃」が 78.4%で最も高く、次いで「自治区（町内会）活動」が 63.4%、「地区のお祭り・文化祭」が 54.6%になっています。



項目	回答数	比率
地区のお祭り・文化祭	266	54.6%
自治区(町内会)活動	309	63.4%
清掃活動、資源回収、側溝掃除	382	78.4%
防犯・交通安全活動	78	16.0%
防災活動	68	14.0%
登下校の見守り活動	67	13.8%
子ども会・子ども会育成会行事	107	22.0%
小中学校行事	120	24.6%
支援が必要な方を見守り活動	52	10.7%
ふれあい・いきいきサロン	60	12.3%
健康づくり活動	78	16.0%
シルバークラブ活動	50	10.3%
婦人会(女性団体)の活動	48	9.9%
趣味・教養などの活動	72	14.8%
社会福祉協議会(支部)の活動	151	31.0%
その他	10	2.1%
回答者数	487	

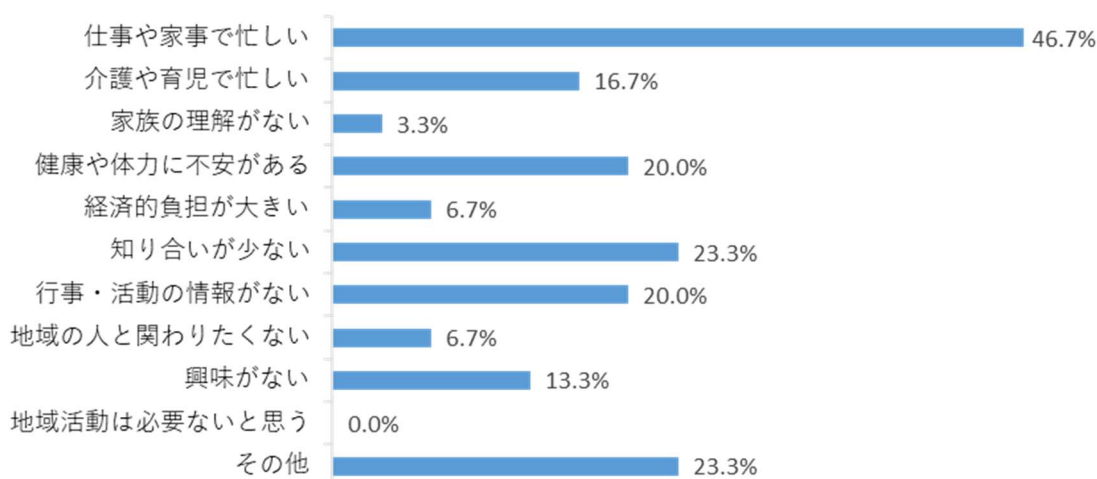
問20 問18で「2. 」と回答した方に伺います。

地区の活動や行事に参加していない主な理由を教えてください。

【該当するものすべてに○】

地区の活動や行事に参加していない理由は「仕事や家事で忙しい」が46.7%

地区の活動や行事に参加していない理由は「仕事や家事で忙しい」が46.7%で最も高く、次いで「知り合いが少ない」が23.3%、「健康や体力に不安がある」と「行事・活動の情報がない」が20.0%となっています。



項目	回答数	比率
仕事や家事で忙しい	14	46.7%
介護や育児で忙しい	5	16.7%
家族の理解がない	1	3.3%
健康や体力に不安がある	6	20.0%
経済的負担が大きい	2	6.7%
知り合いが少ない	7	23.3%
行事・活動の情報がない	6	20.0%
地域の人と関わりたくない	2	6.7%
興味がない	4	13.3%
地域活動は必要ないと思う	0	0.0%
その他	7	23.3%
回答者数	30	

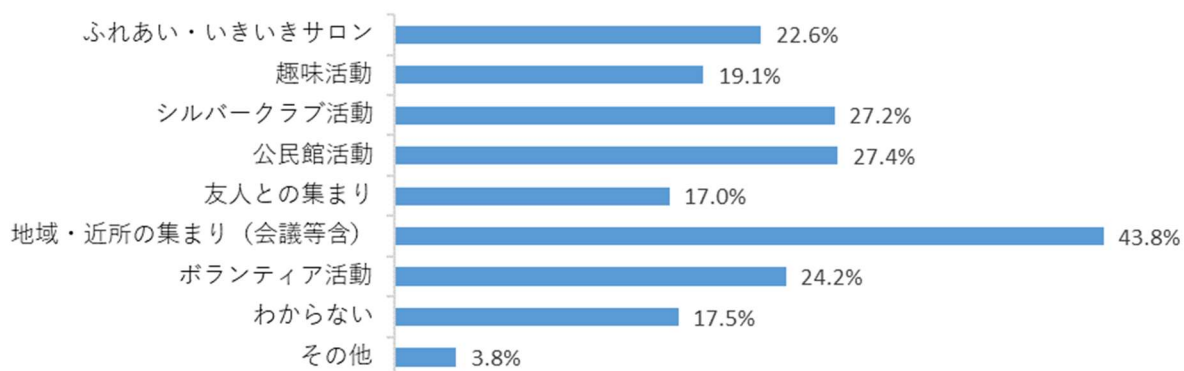
その他

- ・活動したい行事がない
- ・療養中のため
- ・家族との時間優先
- ・活動が特定の人によって決められている
- ・親が出てくれているから など

問21 あなたのお住いの地区では、どのような集いの場がありますか。
また、聞いたことがありますか。【該当するものすべてに○】

お住いの地区にある集いの場は「地域・近所の集まり」が43.8%

回答者のお住いの地区にある集いの場は「地域・近所の集まり」が43.8%で最も高く、次いで、「公民館活動」が27.4%、「シルバークラブ活動」が27.2%となっています。



項目	回答数	比率
ふれあい・いきいきサロン	120	22.6%
趣味活動	101	19.1%
シルバークラブ活動	144	27.2%
公民館活動	145	27.4%
友人との集まり	90	17.0%
地域・近所の集まり(会議等含)	232	43.8%
ボランティア活動	128	24.2%
わからない	93	17.5%
その他	20	3.8%
回答者数	530	

その他

- ・ 神社の祭り
- ・ おしゃべり会、シルバーリハビリ体操
- ・ フォークダンス、健康体操
- ・ 介護教室
- ・ カラオケ会
- ・ 高齢者の食事会 など

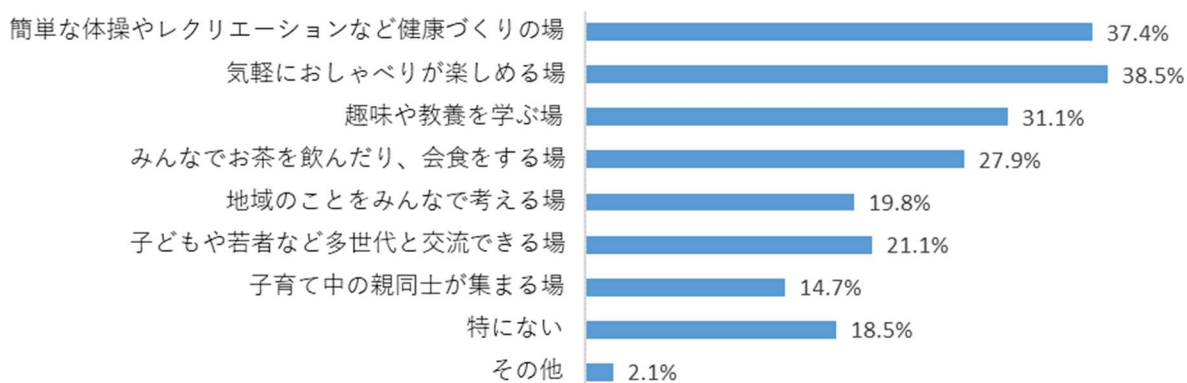
問22 あなたの地区でどのような集いの場があったら良い(参加したい)と思いますか。

【該当するものすべてに○】

お住いの地区にあったら良いと思う集いの場は
「気軽におしゃべりが楽しめる場」が38.5%

お住いの地区にあったら良いと思う集いの場は「気軽におしゃべりが楽しめる場」が38.5%で最も高く、次いで「簡単な体操やレクリエーションなど健康づくりの場」が37.4%、「趣味や教養を学ぶ場」が31.1%となっています。

年代別に見ると59歳以下では「子育て中の親同士が集まる場」や「子どもや若者など多世代と交流できる場」の割合が高くなっており、子育てをテーマとした集いが求められていることがうかがえます。



項目	回答数	比率
簡単な体操やレクリエーションなど健康づくりの場	198	37.4%
気軽におしゃべりが楽しめる場	204	38.5%
趣味や教養を学ぶ場	165	31.1%
みんなでお茶を飲んだり、会食をする場	148	27.9%
地域のことをみんなで考える場	105	19.8%
子どもや若者など多世代と交流できる場	112	21.1%
子育て中の親同士が集まる場	78	14.7%
特にない	98	18.5%
その他	11	2.1%
回答者数	530	

その他

- ・公園
- ・賞金のある卓球大会
- ・子ども食堂、超高齢者のお食事会
- ・地域独特の集まり
- ・自分の地区以外の人との集い など

〈年代別クロス集計〉1位：白文字 2位：太文字

年齢	回答 母数	項目	簡単な体操やレクリエーションなど健康づくりの場	気軽にのしゃべりが楽しめる場	趣味や教養を学ぶ場	会食をする場	みんなでのお茶を飲んだり、	地域のことをみんなで考える場	交流できる場	子どもや若者など多世代と	子育て中の親同士が集まる場	特 に ない	その他
全体	530	回答数	198	204	165	148	105	112	78	98	11		
		比率	37.4%	38.5%	31.1%	27.9%	19.8%	21.1%	14.7%	18.5%	2.1%		
～19歳	0	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		比率	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
20～29歳	3	回答数	0	1	1	1	1	2	1	1	0		
		比率	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%		
30～39歳	28	回答数	4	5	4	4	2	5	15	8	0		
		比率	14.3%	17.9%	14.3%	14.3%	7.1%	17.9%	53.6%	28.6%	0.0%		
40～49歳	81	回答数	16	16	19	7	3	20	23	29	3		
		比率	19.8%	19.8%	23.5%	8.6%	3.7%	24.7%	28.4%	35.8%	3.7%		
50～59歳	31	回答数	5	11	7	6	6	7	11	10	1		
		比率	16.1%	35.5%	22.6%	19.4%	19.4%	22.6%	35.5%	32.3%	3.2%		
60～64歳	33	回答数	9	6	10	6	5	5	4	9	1		
		比率	27.3%	18.2%	30.3%	18.2%	15.2%	15.2%	12.1%	27.3%	3.0%		
65～69歳	94	回答数	42	40	34	31	28	22	10	10	3		
		比率	44.7%	42.6%	36.2%	33.0%	29.8%	23.4%	10.6%	10.6%	3.2%		
70～74歳	143	回答数	58	64	49	47	27	26	10	23	3		
		比率	40.6%	44.8%	34.3%	32.9%	18.9%	18.2%	7.0%	16.1%	2.1%		
75～79歳	77	回答数	42	38	30	30	23	17	2	5	0		
		比率	54.5%	49.4%	39.0%	39.0%	29.9%	22.1%	2.6%	6.5%	0.0%		
80～89歳	33	回答数	21	21	10	14	10	7	2	2	0		
		比率	63.6%	63.6%	30.3%	42.4%	30.3%	21.2%	6.1%	6.1%	0.0%		
90～99歳	3	回答数	1	1	0	1	0	1	0	1	0		
		比率	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%		
100歳以上	0	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		比率	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
不明	4	回答数	0	1	1	1	0	0	0	0	0		
		比率	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

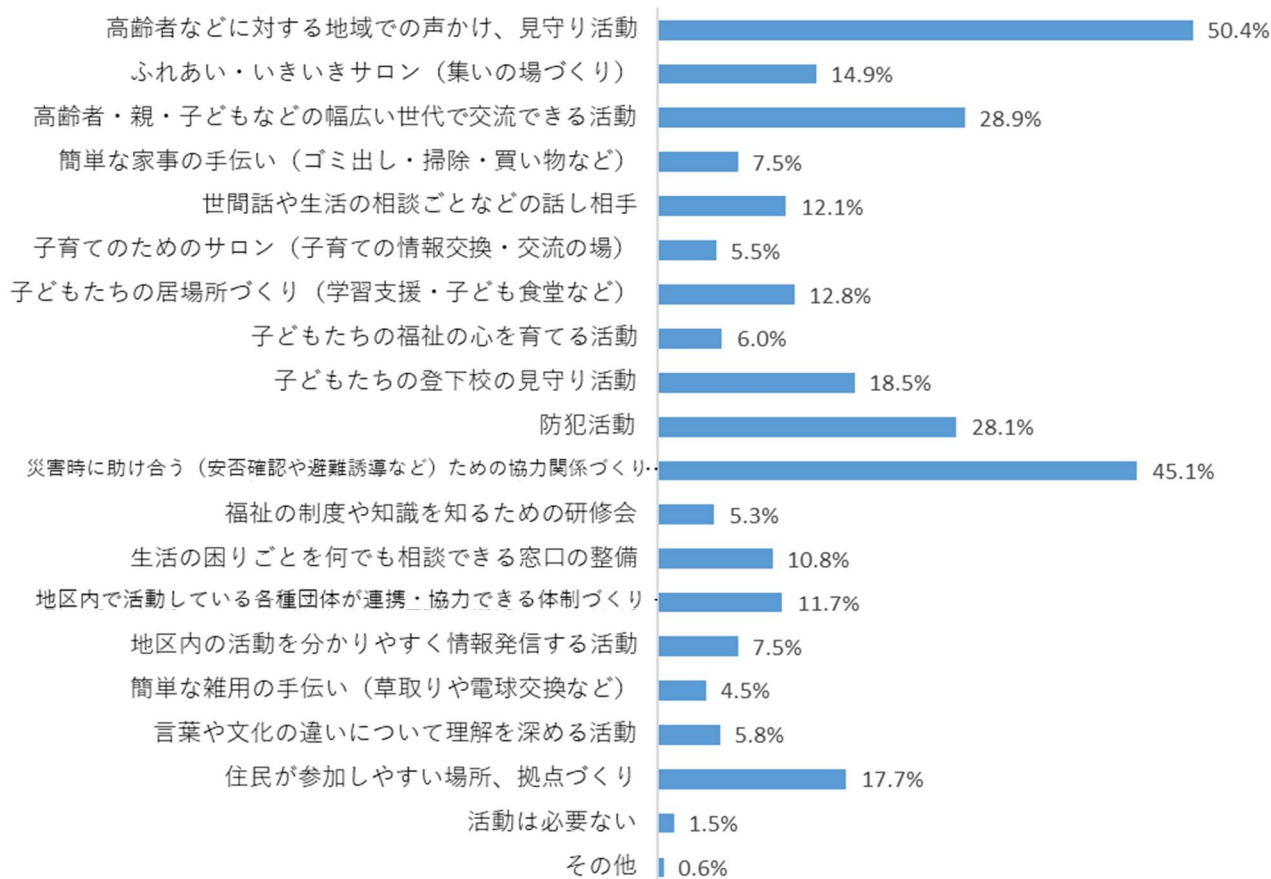
問23 今後、安心して暮らせるまちを作っていくために、あなたの地区ではどのような取り組みを行っていく必要があると思いますか。【3つまで○】

安心して暮らせるまちを作っていくために必要な取り組みは「高齢者などに対する地域での声かけ、見守り活動」が50.4%

今後、安心して暮らせるまちを作っていくために、回答者の地区で必要な取り組みは「高齢者などに対する地域での声かけ、見守り活動」が50.4%と最も高く、次いで「災害時に助け合うための協力関係づくり」が45.1%、「高齢者・親・子どもなどの幅広い世代で交流できる活動」が28.9%となっています。

地区別にみてもほぼ全地区で「高齢者などに対する地域での声かけ、見守り活動」と「災害時に助け合うための協力関係づくり」の割合が高くなっています。

年齢別にみると49歳以下では「子どもたちの登下校の見守り活動」と「子どもたちの居場所づくり」の割合が高くなっており、子どもたちに対する支援が求められていることがうかがえます。



その他

- ・子どもたちの遊ぶ場所
- ・地震、水害、防犯カメラの設置。避難場所確認、避難情報伝達
- ・外国人にお住いの地域を理解してもらう
- ・外国人との話し合いの場 など

項目	回答数	比率
高齢者などに対する地域での声かけ、見守り活動	267	50.4%
ふれあい・いきいきサロン(集いの場づくり)	79	14.9%
高齢者・親・子どもなどの幅広い世代で交流できる活動	153	28.9%
簡単な家事の手伝い(ゴミ出し・掃除・買い物など)	40	7.5%
世間話や生活の相談ごとなどの話し相手	64	12.1%
子育てのためのサロン(子育ての情報交換・交流の場)	29	5.5%
子どもたちの居場所づくり(学習支援・子ども食堂など)	68	12.8%
子どもたちの福祉の心を育てる活動	32	6.0%
子どもたちの登下校の見守り活動	98	18.5%
防犯活動	149	28.1%
災害時に助け合う(安否確認や避難誘導など)ための協力関係づくり	239	45.1%
福祉の制度や知識を知るための研修会	28	5.3%
生活の困りごとを何でも相談できる窓口の整備	57	10.8%
地区内で活動している各種団体が連携・協力できる体制づくり	62	11.7%
地区内の活動を分かりやすく情報発信する活動	40	7.5%
簡単な雑用の手伝い(草取りや電球交換など)	24	4.5%
言葉や文化の違いについて理解を深める活動	31	5.8%
住民が参加しやすい場所、拠点づくり	94	17.7%
活動は必要ない	8	1.5%
その他	3	0.6%
回答者数	530	

〈地区別クロス集計〉 1位：白文字 2位：太文字

地区	回答 母数	項目	高齢者などに対する地域での声かけ、見守り活動	ふれあい・いきいきサロン（集いの場づくり）	高齢者・親子などとの幅広い世代で交流できる活動	高齢者・親・子などとの幅広い世代で交流できる活動	簡単な家事の手伝い（ゴミ出し・掃除・買い物など）	世間話や生活の相談ことなどの話し相手	子育てのためのサロン、子育ての情報交換・交流の場	子どもたちの居場所づくり（学習支援・子ども食堂など）	子どもたちの福祉の心を育てる活動	子どもたちの登下校の見守り活動	防犯活動	避難経路などための協力関係づくり	福祉の制度や知識を知るための研修	地区内で活動している各種団体が連携・協力できる体制づくり	生活の困りごとを何でも相談できる窓口の整備	地区内の活動を分かりやすく情報発信する活動	簡単な雑用の手伝い（草取りや電球交換など）	言葉や文化の違いについて理解を深める活動	住民が参加しやすい場所・拠点づくり	活動は必要ない	その他
全体	530	回答数	267	79	153	40	64	29	68	32	98	149	239	28	57	62	40	24	31	94	8	3	
		比率	50.4%	14.9%	28.9%	7.5%	12.1%	5.5%	12.8%	6.0%	18.5%	28.1%	45.1%	5.3%	10.8%	11.7%	7.5%	4.5%	5.8%	17.7%	1.5%	0.6%	
水海道	70	回答数	36	11	22	10	7	6	13	4	7	13	41	4	5	8	7	5	11	16	0	0	
		比率	51.4%	15.7%	31.4%	14.3%	10.0%	8.6%	18.6%	5.7%	10.0%	18.6%	58.6%	5.7%	7.1%	11.4%	10.0%	7.1%	15.7%	22.9%	0.0%	0.0%	
豊岡	44	回答数	20	6	13	4	7	1	10	3	11	13	21	2	3	5	5	3	5	5	1	0	
		比率	45.5%	13.6%	29.5%	9.1%	15.9%	2.3%	22.7%	6.8%	25.0%	29.5%	47.7%	4.5%	6.8%	11.4%	11.4%	6.8%	11.4%	11.4%	2.3%	0.0%	
菅原	26	回答数	14	6	8	1	2	0	3	1	2	8	12	4	4	2	2	1	0	3	0	0	
		比率	53.8%	23.1%	30.8%	3.8%	7.7%	0.0%	11.5%	3.8%	7.7%	30.8%	46.2%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	3.8%	0.0%	11.5%	0.0%	0.0%	
大花羽	19	回答数	8	5	6	3	2	1	2	2	2	5	8	1	1	0	3	1	0	4	0	0	
		比率	42.1%	26.3%	31.6%	15.8%	10.5%	5.3%	10.5%	10.5%	0.0%	26.3%	42.1%	5.3%	5.3%	0.0%	15.8%	5.3%	0.0%	21.1%	0.0%	0.0%	
三妻	34	回答数	23	4	9	2	4	3	7	2	10	9	18	2	5	4	2	3	2	8	0	0	
		比率	67.6%	11.8%	26.5%	5.9%	11.8%	8.8%	20.6%	5.9%	29.4%	26.5%	52.9%	5.9%	14.7%	11.8%	5.9%	8.8%	5.9%	23.5%	0.0%	0.0%	
五箇	29	回答数	15	3	9	1	4	1	3	1	8	8	15	3	4	4	4	3	2	5	1	0	
		比率	51.7%	10.3%	31.0%	3.4%	13.8%	3.4%	10.3%	3.4%	27.6%	27.6%	51.7%	10.3%	13.8%	13.8%	13.8%	10.3%	6.9%	17.2%	3.4%	0.0%	
大生	28	回答数	16	3	9	2	4	1	2	2	7	8	14	2	2	3	3	2	2	3	0	0	
		比率	57.1%	10.7%	32.1%	7.1%	14.3%	3.6%	7.1%	7.1%	25.0%	28.6%	50.0%	7.1%	7.1%	10.7%	10.7%	7.1%	7.1%	10.7%	0.0%	0.0%	
坂手	22	回答数	10	4	6	2	7	1	2	1	6	6	10	2	5	3	1	0	0	6	0	0	
		比率	45.5%	18.2%	27.3%	9.1%	31.8%	4.5%	9.1%	4.5%	27.3%	27.3%	45.5%	9.1%	22.7%	13.6%	4.5%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	
内守谷	19	回答数	5	2	6	0	2	2	5	1	5	8	9	1	2	4	1	0	2	5	1	1	
		比率	26.3%	10.5%	31.6%	0.0%	10.5%	10.5%	26.3%	5.3%	26.3%	42.1%	47.4%	5.3%	10.5%	21.1%	5.3%	0.0%	10.5%	26.3%	5.3%	5.3%	
菅生・大塚戸	35	回答数	17	2	7	3	3	3	5	3	5	8	10	1	4	9	2	0	0	6	1	1	
		比率	48.6%	5.7%	20.0%	8.6%	8.6%	8.6%	14.3%	8.6%	14.3%	22.9%	28.6%	2.9%	11.4%	25.7%	5.7%	0.0%	0.0%	17.1%	2.9%	2.9%	
石下	72	回答数	36	9	17	1	7	5	5	6	12	25	27	2	10	6	3	1	1	8	3	0	
		比率	50.0%	12.5%	23.6%	1.4%	9.7%	6.9%	6.9%	8.3%	16.7%	34.7%	37.5%	2.8%	13.9%	8.3%	4.2%	1.4%	1.4%	11.1%	4.2%	0.0%	
豊田	17	回答数	8	4	8	2	1	0	2	2	2	4	8	0	0	0	1	2	1	2	0	0	
		比率	47.1%	23.5%	47.1%	11.8%	5.9%	0.0%	11.8%	11.8%	11.8%	23.5%	47.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	5.9%	11.8%	0.0%	0.0%	
玉	27	回答数	19	5	5	3	2	0	3	0	3	5	12	0	1	6	2	1	0	5	0	0	
		比率	70.4%	18.5%	18.5%	11.1%	7.4%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	18.5%	44.4%	0.0%	3.7%	22.2%	7.4%	3.7%	0.0%	18.5%	0.0%	0.0%	
岡田	46	回答数	26	9	15	5	6	0	1	2	6	17	15	3	6	5	1	1	2	11	0	0	
		比率	56.5%	19.6%	32.6%	10.9%	13.0%	0.0%	2.2%	4.3%	13.0%	37.0%	32.6%	6.5%	13.0%	10.9%	2.2%	2.2%	4.3%	23.9%	0.0%	0.0%	
飯沼	36	回答数	12	5	13	1	6	4	5	2	13	11	17	1	5	3	3	0	3	5	1	1	
		比率	33.3%	13.9%	36.1%	2.8%	16.7%	11.1%	13.9%	5.6%	36.1%	30.6%	47.2%	2.8%	13.9%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	13.9%	2.8%	2.8%	
無回答	6	回答数	2	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	
		比率	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%

〈年齢別クロス集計〉 1位：白文字 2位：太文字

年齢	回答 母数	項目	高齢者などに対する地域での声かけ見守り活動	ふれあい・いきいきサロン（集いの場づくり）	高齢者・親・子どもなどの幅広い世代で交流できる活動	簡単な家事の手伝い（ゴミ出し・掃除・買い物など）	世間話や生活の相談などの話し相手	子育てのためのサロン、子育ての情報交換・交流の場	子どもたちの居場所づくり（学習支援・子ども食堂など）	子どもたちの福祉の心を育てる活動	子どもたちの登下校の見守り活動	防犯活動	災害時などに助け合う（安否確認や避難誘導など）	福祉の制度や知識を知るための研修会	生活の困りごとを何でも相談できる窓口の整備	地区内で活動している各種団体が連携・協力できる体制づくり	地区内の活動を分かりやすく情報発信する活動	簡単な雑用の手伝い（草取りや電球交換など）	言葉や文化の違いについて理解を深める活動	住民が参加しやすい場所「拠点づくり」	活動は必要ない	その他
全体	530	回答数	267	79	153	40	64	29	68	32	98	149	239	28	57	62	40	24	31	94	8	3
		比率	50.4%	14.9%	28.9%	7.5%	12.1%	5.5%	12.8%	6.0%	18.5%	28.1%	45.1%	5.3%	10.8%	11.7%	7.5%	4.5%	5.8%	17.7%	1.5%	0.6%
～19歳	0	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		比率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	3	回答数	0	0	1	1	0	2	3	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		比率	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%	100.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	28	回答数	5	2	1	0	0	8	11	3	14	7	11	0	3	0	0	0	3	6	1	0
		比率	17.9%	7.1%	3.6%	0.0%	0.0%	28.6%	39.3%	10.7%	50.0%	25.0%	39.3%	0.0%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%	21.4%	3.6%	0.0%
40～49歳	81	回答数	24	4	19	4	6	9	28	10	36	18	19	4	9	7	1	4	7	8	3	1
		比率	29.6%	4.9%	23.5%	4.9%	7.4%	11.1%	34.6%	12.3%	44.4%	22.2%	23.5%	4.9%	11.1%	8.6%	1.2%	4.9%	8.6%	9.9%	3.7%	1.2%
50～59歳	31	回答数	12	1	8	4	3	1	6	1	4	11	12	0	5	2	3	2	1	3	0	0
		比率	38.7%	3.2%	25.8%	12.9%	9.7%	3.2%	19.4%	3.2%	12.9%	35.5%	38.7%	0.0%	16.1%	6.5%	9.7%	6.5%	3.2%	9.7%	0.0%	0.0%
60～64歳	33	回答数	17	2	8	4	3	1	3	1	1	9	20	3	2	2	2	1	2	7	1	0
		比率	51.5%	6.1%	24.2%	12.1%	9.1%	3.0%	9.1%	3.0%	3.0%	27.3%	60.6%	9.1%	6.1%	6.1%	6.1%	3.0%	6.1%	21.2%	3.0%	0.0%
65～69歳	94	回答数	56	17	26	10	11	5	8	3	12	30	50	3	10	13	15	6	6	12	1	0
		比率	59.6%	18.1%	27.7%	10.6%	11.7%	5.3%	8.5%	3.2%	12.8%	31.9%	53.2%	3.2%	10.6%	13.8%	16.0%	6.4%	6.4%	12.8%	1.1%	0.0%
70～74歳	143	回答数	91	24	46	9	26	2	5	6	21	38	78	11	17	23	12	7	7	30	1	2
		比率	63.6%	16.8%	32.2%	6.3%	18.2%	1.4%	3.5%	4.2%	14.7%	26.6%	54.5%	7.7%	11.9%	16.1%	8.4%	4.9%	4.9%	21.0%	0.7%	1.4%
75～79歳	77	回答数	47	20	29	3	10	0	2	4	6	28	29	3	8	8	3	1	4	17	1	0
		比率	61.0%	26.0%	37.7%	3.9%	13.0%	0.0%	2.6%	5.2%	7.8%	36.4%	37.7%	3.9%	10.4%	10.4%	3.9%	1.3%	5.2%	22.1%	1.3%	0.0%
80～89歳	33	回答数	14	8	14	5	4	1	2	3	2	5	16	4	2	7	4	2	1	9	0	0
		比率	42.4%	24.2%	42.4%	15.2%	12.1%	3.0%	6.1%	9.1%	6.1%	15.2%	48.5%	12.1%	6.1%	21.2%	12.1%	6.1%	3.0%	27.3%	0.0%	0.0%
90～99歳	3	回答数	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		比率	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100歳以上	0	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		比率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	4	回答数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0
		比率	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

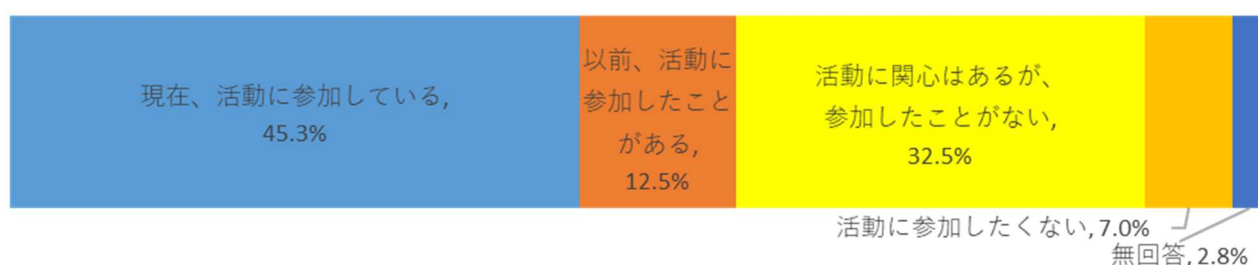
ボランティア活動についておたずねします。

問24 あなたは、ボランティア活動に参加してみたいですか。【1つだけ○】

ボランティア活動への参加は「現在、活動に参加している」が45.3%

回答者のボランティア活動への参加は「現在、活動に参加している」が45.3%で最も高く、次いで「活動に関心はあるが参加したことがない」が32.5%となっています。

年代別に見ると64歳以下では「活動に関心はあるが、参加したことはない」が最も高く、65歳以上では「現在、活動に参加している」が最も高くなっており、年代によってボランティア活動への参加状況が大きく異なることがうかがえます。



〈年代別クロス集計〉1位：白文字 2位：太文字

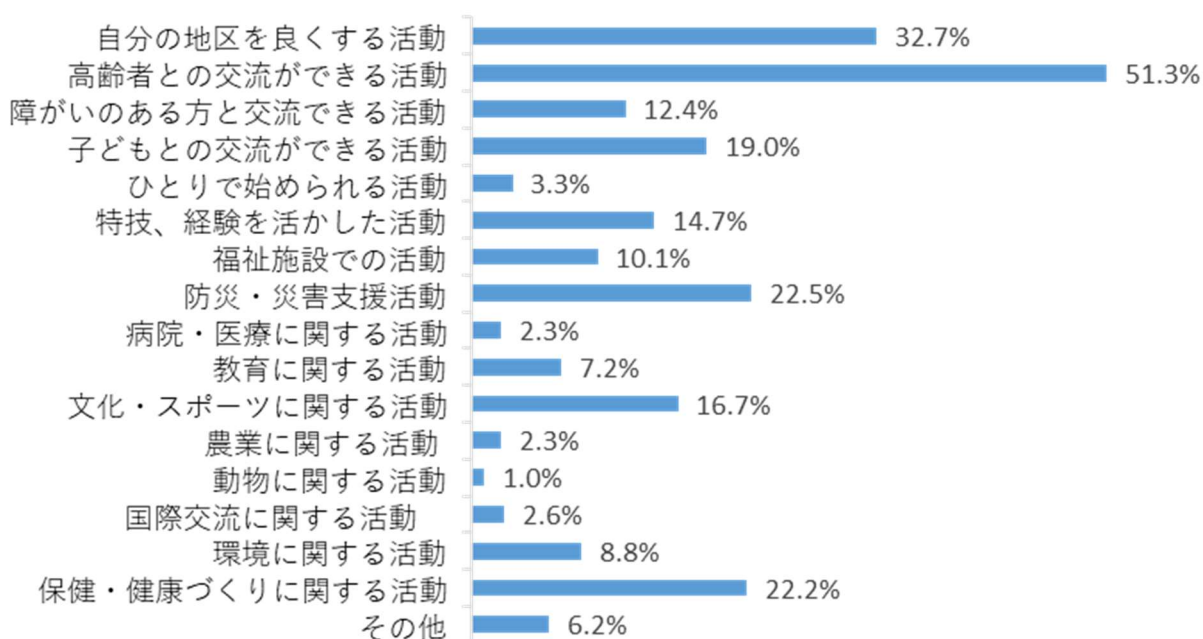
年齢	回答母数	項目	現在、活動に参加している	以前、活動に参加したことがある	活動に関心はあるが、参加したことがない	活動に参加したくない	無回答
全体	530	回答数	240	66	172	37	15
		比率	45.3%	12.5%	32.5%	7.0%	2.8%
20～29歳	3	回答数	0	1	2	0	0
		比率	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
30～39歳	28	回答数	1	3	14	9	1
		比率	3.6%	10.7%	50.0%	32.1%	3.6%
40～49歳	81	回答数	5	14	45	16	1
		比率	6.2%	17.3%	55.6%	19.8%	1.2%
50～59歳	31	回答数	5	8	13	5	0
		比率	16.1%	25.8%	41.9%	16.1%	0.0%
60～64歳	33	回答数	12	3	16	2	0
		比率	36.4%	9.1%	48.5%	6.1%	0.0%
65～69歳	94	回答数	51	12	28	2	1
		比率	54.3%	12.8%	29.8%	2.1%	1.1%
70～74歳	143	回答数	86	16	35	2	4
		比率	60.1%	11.2%	24.5%	1.4%	2.8%
75～79歳	77	回答数	51	6	14	1	5
		比率	66.2%	7.8%	18.2%	1.3%	6.5%
80～89歳	33	回答数	27	2	4	0	0
		比率	81.8%	6.1%	12.1%	0.0%	0.0%
90～99歳	3	回答数	1	0	1	0	1
		比率	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%
不明	4	回答数	1	1	0	0	2
		比率	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%

項目	回答数	構成比
現在、活動に参加している	240	45.3%
以前、活動に参加したことがある	66	12.5%
活動に関心はあるが、参加したことがない	172	32.5%
活動に参加したくない	37	7.0%
無回答	15	2.8%
回答者数	530	100.0%

問25 問24で「1.」「2.」を選択した方に伺います。あなたは、これまでにどのようなボランティア活動に参加しましたか。【該当するものすべてに○】

参加したことがあるボランティア活動は
「高齢者との交流ができる活動」が51.3%

回答者がこれまでに参加したことがあるボランティア活動は「高齢者との交流ができる活動」が51.3%で最も高く、次いで「自分の地区を良くする活動」が32.7%、「防災・災害支援活動」が22.5%となっています。



項目	回答数	比率	項目	回答数	比率
自分の地区を良くする活動	100	32.7%	教育に関する活動	22	7.2%
高齢者との交流ができる活動	157	51.3%	文化・スポーツに関する活動	51	16.7%
障がいのある方と交流できる活動	38	12.4%	農業に関する活動	7	2.3%
子どもとの交流ができる活動	58	19.0%	動物に関する活動	3	1.0%
ひとりで始められる活動	10	3.3%	国際交流に関する活動	8	2.6%
特技、経験を活かした活動	45	14.7%	環境に関する活動	27	8.8%
福祉施設での活動	31	10.1%	保健・健康づくりに関する活動	68	22.2%
防災・災害支援活動	69	22.5%	その他	19	6.2%
病院・医療に関する活動	7	2.3%	回答者数	306	

〈年代別クロス集計〉1位：白文字 2位：太文字

年齢	回答 母数	項目	活動 自分の 地区を 良くする	高 齢者 との 交流 が でき る	障 がい のある 方と 交流 が でき る	子 ども との 交流 が でき る	動 ひ と り で 始 め ら れ る 活 動	活 特 技 、 経 験 を 活 か し た	福 祉 施 設 で の 活 動	防 災 ・ 災 害 支 援 活 動	動 病 院 ・ 医 療 に 関 する 活 動	教 育 に 関 する 活 動	文 化 ・ ス ポ ー ツ に 関 す る 活 動	農 業 に 関 する 活 動	動 物 に 関 する 活 動	国 際 交 流 に 関 する 活 動	環 境 に 関 する 活 動	保 健 ・ 健 康 づ く り に 関 する 活 動	そ の 他
全体	306	回答数	100	157	38	58	10	45	31	69	7	22	51	7	3	8	27	68	19
		比率	32.7%	51.3%	12.4%	19.0%	3.3%	14.7%	10.1%	22.5%	2.3%	7.2%	16.7%	2.3%	1.0%	2.6%	8.8%	22.2%	6.2%
20～29歳	1	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
30～39歳	4	回答数	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
		比率	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
40～49歳	19	回答数	5	1	3	3	0	2	2	4	0	1	4	0	0	1	2	1	2
		比率	26.3%	5.3%	15.8%	15.8%	0.0%	10.5%	10.5%	21.1%	0.0%	5.3%	21.1%	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	5.3%	10.5%
50～59歳	13	回答数	4	3	3	1	2	1	0	6	0	1	3	0	0	0	1	2	0
		比率	30.8%	23.1%	23.1%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	46.2%	0.0%	7.7%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%
60～64歳	15	回答数	4	6	2	4	0	4	4	3	1	1	1	1	0	0	2	1	0
		比率	26.7%	40.0%	13.3%	26.7%	0.0%	26.7%	26.7%	20.0%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%	0.0%
65～69歳	63	回答数	20	26	8	19	3	6	5	12	1	11	6	2	2	1	6	9	2
		比率	31.7%	41.3%	12.7%	30.2%	4.8%	9.5%	7.9%	19.0%	1.6%	17.5%	9.5%	3.2%	3.2%	1.6%	9.5%	14.3%	3.2%
70～74歳	102	回答数	38	64	9	16	2	15	8	21	2	6	18	2	0	1	10	21	6
		比率	37.3%	62.7%	8.8%	15.7%	2.0%	14.7%	7.8%	20.6%	2.0%	5.9%	17.6%	2.0%	0.0%	1.0%	9.8%	20.6%	5.9%
75～79歳	57	回答数	17	35	8	12	0	10	9	17	1	1	13	0	1	4	5	22	5
		比率	29.8%	61.4%	14.0%	21.1%	0.0%	17.5%	15.8%	29.8%	1.8%	1.8%	22.8%	0.0%	1.8%	7.0%	8.8%	38.6%	8.8%
80～89歳	29	回答数	8	21	4	3	2	6	3	6	2	1	6	1	0	1	1	11	1
		比率	27.6%	72.4%	13.8%	10.3%	6.9%	20.7%	10.3%	20.7%	6.9%	3.4%	20.7%	3.4%	0.0%	3.4%	3.4%	37.9%	3.4%
90～99歳	1	回答数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		比率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
不明	2	回答数	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		比率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

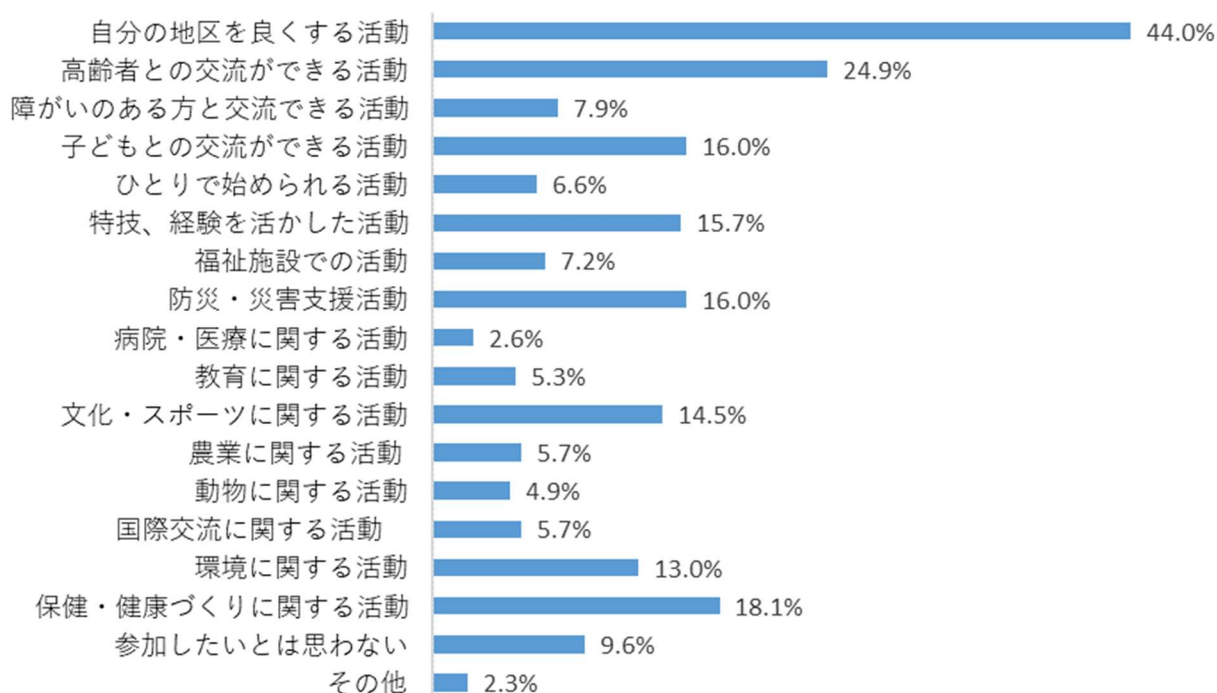
問26 あなたは、今後どのような分野のボランティア活動に参加してみたいと思いますか。

【該当するものすべてに○】

ボランティア活動をしてみたい分野は「自分の地区を良くする活動」が44.0%

回答者が今後、ボランティア活動をしてみたい分野は「自分の地区を良くする活動」が44.0%で最も高く、次いで「高齢者との交流ができる活動」が24.9%、「保健・健康づくりに関する活動」が18.1%となっています。

年代別に見ると49歳以下では「子どもとの交流ができる活動」の割合が高くなっており、子どもと関わることができる活動に関心があることがうかがえます。



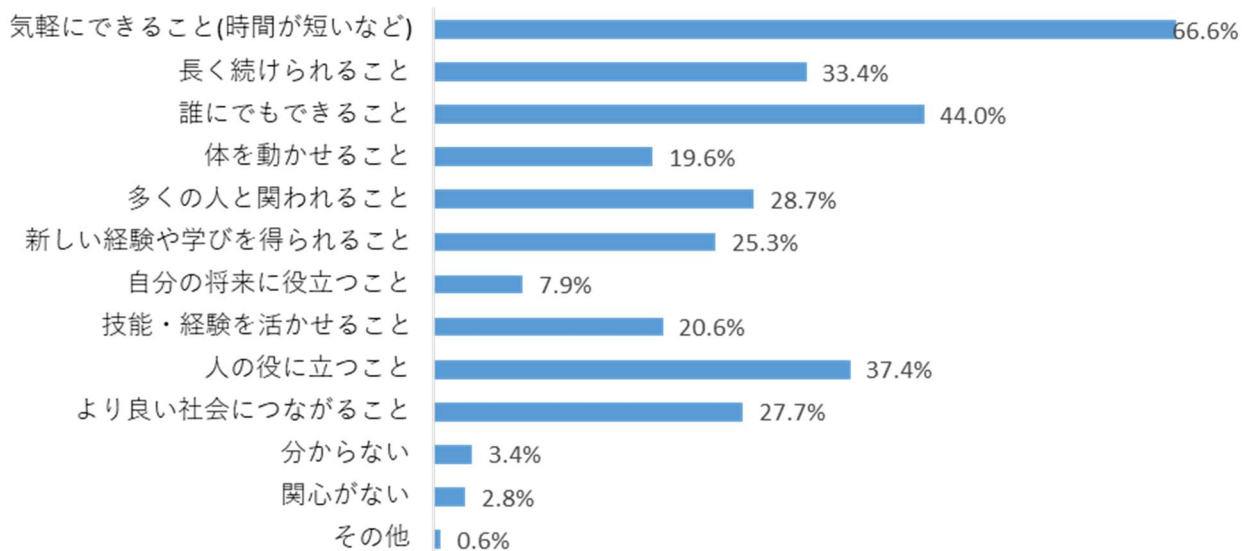
項目	回答数	比率	項目	回答数	比率
自分の地区を良くする活動	233	44.0%	文化・スポーツに関する活動	77	14.5%
高齢者との交流ができる活動	132	24.9%	農業に関する活動	30	5.7%
障がいのある方と交流できる活動	42	7.9%	動物に関する活動	26	4.9%
子どもとの交流ができる活動	85	16.0%	国際交流に関する活動	30	5.7%
ひとりで始められる活動	35	6.6%	環境に関する活動	69	13.0%
特技、経験を活かした活動	83	15.7%	保健・健康づくりに関する活動	96	18.1%
福祉施設での活動	38	7.2%	参加したいとは思わない	51	9.6%
防災・災害支援活動	85	16.0%	その他	12	2.3%
病院・医療に関する活動	14	2.6%			
教育に関する活動	28	5.3%	回答者数	530	

問27 あなたは、ボランティア活動に参加しようとする際、どのような点を重視しますか。

【該当するものすべてに○】

ボランティア活動への参加で重視することは「気軽にできること」が66.6%

ボランティア活動への参加で重視することは「気軽にできること（時間が短いなど）」が66.6%で最も高く、次いで「誰にでもできること」が44.0%、「人の役に立つこと」が37.4%となっています。

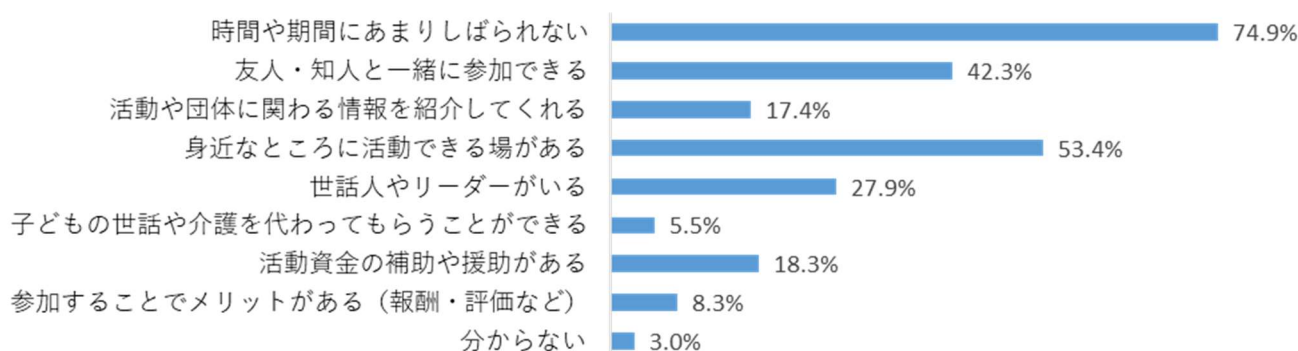


項目	回答数	比率
気軽にできること(時間が短いなど)	353	66.6%
長く続けられること	177	33.4%
誰にでもできること	233	44.0%
体を動かせること	104	19.6%
多くの人と関わること	152	28.7%
新しい経験や学びを得られること	134	25.3%
自分の将来に役立つこと	42	7.9%
技能・経験を活かせること	109	20.6%
人の役に立つこと	198	37.4%
より良い社会につながる	147	27.7%
分からない	18	3.4%
関心がない	15	2.8%
その他	3	0.6%
回答者数	530	

問28 あなたは、どのような条件があるとボランティア活動に参加しやすいと思いますか。
【該当するものすべてに○】

ボランティア活動に参加しやすい条件は
「時間や期間にあまりしばられない」が74.9%

ボランティア活動に参加しやすい条件は「時間や期間にあまりしばられない」が74.9%で最も高く、次いで「身近なところに活動できる場がある」が53.4%、「友人・知人と一緒に参加できる」が42.3%となっています。



項目	回答数	比率
時間や期間にあまりしばられない	397	74.9%
友人・知人と一緒に参加できる	224	42.3%
活動や団体に関わる情報を紹介してくれる	92	17.4%
身近なところに活動できる場がある	283	53.4%
世話人やリーダーがいる	148	27.9%
子どもの世話や介護を代わってもらえることができる	29	5.5%
活動資金の補助や援助がある	97	18.3%
参加することでメリットがある（報酬・評価など）	44	8.3%
分からない	16	3.0%
回答者数	530	

福祉サービスや社会福祉協議会についておたずねします。

問29 あなたは、「福祉サービス」に関心がありますか。【1つだけ○】

「福祉サービス」への関心の程度は「ある程度関心がある」が54.7%

「福祉サービス」への関心の程度は「ある程度関心がある」が54.7%で最も高く、次いで「とても関心がある」が19.6%、「あまり関心がない」が17.9%となっています。



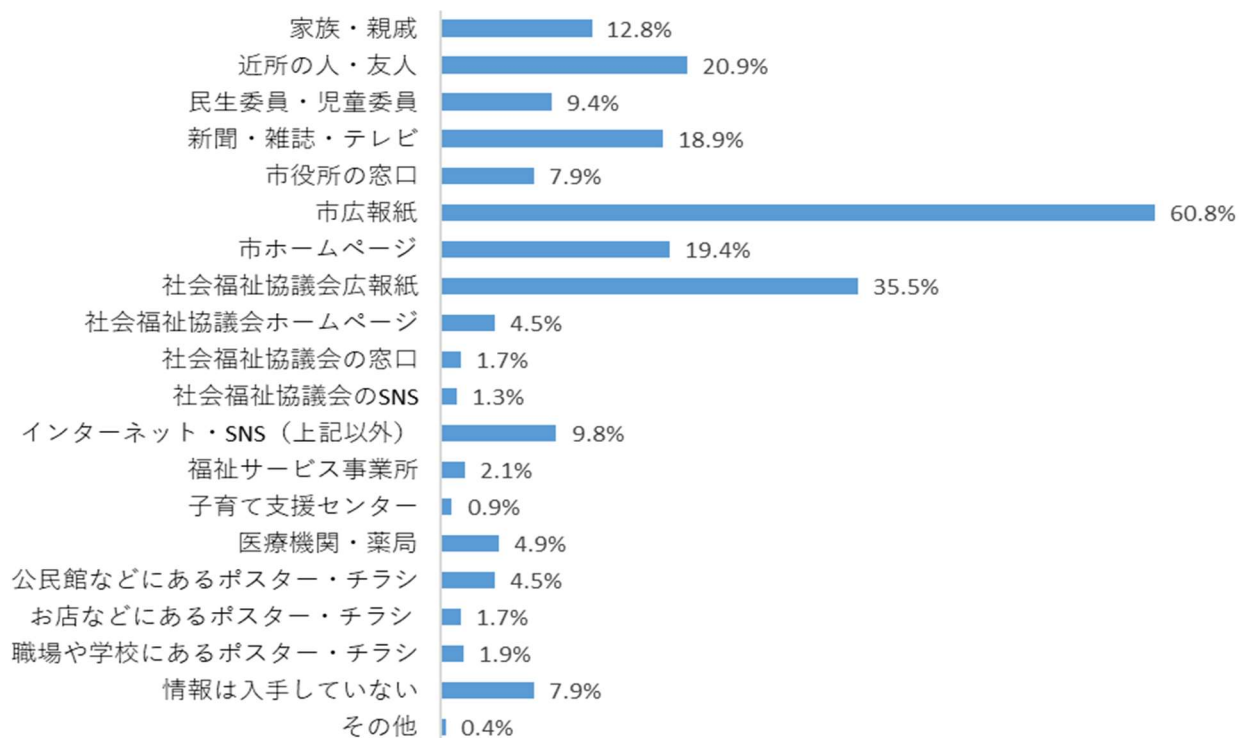
項目	回答数	構成比
とても関心がある	104	19.6%
ある程度関心がある	290	54.7%
あまり関心がない	95	17.9%
まったく関心がない	9	1.7%
無回答	32	6.0%
回答者数	530	100.0%

問30 あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。【3つまで○】

「福祉サービス」に関する情報の入手先は「市広報紙」が60.8%

「福祉サービス」に関する情報の入手先は「市広報紙」が60.8%で最も高く、次いで「社会福祉協議会広報紙」が35.5%、「近所の人・友人」が20.9%となっています。

年代別にみても全世代が「市広報紙」の割合が高くなっています。59歳以下については「インターネット・SNS」の割合が高くなっており、SNSの有効活用を検討していく必要があることがうかがえます。



項目	回答数	比率	項目	回答数	比率
家族・親戚	68	12.8%	インターネット・SNS(上記以外)	52	9.8%
近所の人・友人	111	20.9%	福祉サービス事業所	11	2.1%
民生委員・児童委員	50	9.4%	子育て支援センター	5	0.9%
新聞・雑誌・テレビ	100	18.9%	医療機関・薬局	26	4.9%
市役所の窓口	42	7.9%	公民館などにあるポスター・チラシ	24	4.5%
市広報紙	322	60.8%	お店などにあるポスター・チラシ	9	1.7%
市ホームページ	103	19.4%	職場や学校にあるポスター・チラシ	10	1.9%
社会福祉協議会広報紙	188	35.5%	情報は入手していない	42	7.9%
社会福祉協議会ホームページ	24	4.5%	その他	2	0.4%
社会福祉協議会の窓口	9	1.7%			
社会福祉協議会の SNS	7	1.3%	回答者数	530	

〈年代別クロス集計〉1 位：白文字 2 位：太文字

年齢	回答母数	項目	家族・親戚	近所の人・友人	民生委員・児童委員	新聞・雑誌・テレビ	市役所の窓口	市広報紙	市ホームページ	社会福祉協議会広報紙	社会福祉協議会ホームページ	社会福祉協議会の窓口	社会福祉協議会のSNS	社会福祉協議会のSNS（上記以外）	インターネット・SNS（上記以外）	福祉サービス事業所	子育て支援センター	医療機関・薬局	公民館などにあるボスター・チラシ	お店などにあるボスター・チラシ	職場や学校にあるボスター・チラシ	情報は入手していない	その他
全体	530	回答数	68	111	50	100	42	322	103	188	24	9	7	52	11	5	26	24	9	10	42	2	
		比率	12.8%	20.9%	9.4%	18.9%	7.9%	60.8%	19.4%	35.5%	4.5%	1.7%	1.3%	9.8%	2.1%	0.9%	4.9%	4.5%	1.7%	1.9%	7.9%	0.4%	
20～29歳	3	回答数	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
		比率	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30～39歳	28	回答数	5	5	1	3	0	7	5	1	0	0	1	7	0	1	3	0	1	2	8	1	
		比率	17.9%	17.9%	3.6%	10.7%	0.0%	25.0%	17.9%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	25.0%	0.0%	3.6%	10.7%	0.0%	3.6%	7.1%	28.6%	3.6%	
40～49歳	81	回答数	18	13	0	11	6	29	18	4	1	0	0	18	0	1	1	0	1	3	18	0	
		比率	22.2%	16.0%	0.0%	13.6%	7.4%	35.8%	22.2%	4.9%	1.2%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	1.2%	1.2%	0.0%	1.2%	3.7%	22.2%	0.0%	
50～59歳	31	回答数	5	5	1	6	3	13	7	3	1	0	0	9	1	1	4	0	2	1	3	1	
		比率	16.1%	16.1%	3.2%	19.4%	9.7%	41.9%	22.6%	9.7%	3.2%	0.0%	0.0%	29.0%	3.2%	3.2%	12.9%	0.0%	6.5%	3.2%	9.7%	3.2%	
60～64歳	33	回答数	2	6	4	8	3	21	12	8	3	0	0	5	1	1	5	1	0	0	3	0	
		比率	6.1%	18.2%	12.1%	24.2%	9.1%	63.6%	36.4%	24.2%	9.1%	0.0%	0.0%	15.2%	3.0%	3.0%	15.2%	3.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	
65～69歳	94	回答数	11	18	14	18	8	72	23	38	3	1	1	6	2	0	8	5	0	0	2	0	
		比率	11.7%	19.1%	14.9%	19.1%	8.5%	76.6%	24.5%	40.4%	3.2%	1.1%	1.1%	6.4%	2.1%	0.0%	8.5%	5.3%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	
70～74歳	143	回答数	13	32	22	30	14	102	26	71	11	4	4	6	3	0	3	7	3	2	5	0	
		比率	9.1%	22.4%	15.4%	21.0%	9.8%	71.3%	18.2%	49.7%	7.7%	2.8%	2.8%	4.2%	2.1%	0.0%	2.1%	4.9%	2.1%	1.4%	3.5%	0.0%	
75～79歳	77	回答数	7	17	5	15	4	51	9	43	5	1	1	1	4	0	1	6	1	1	2	0	
		比率	9.1%	22.1%	6.5%	19.5%	5.2%	66.2%	11.7%	55.8%	6.5%	1.3%	1.3%	1.3%	5.2%	0.0%	1.3%	7.8%	1.3%	1.3%	2.6%	0.0%	
80～89歳	33	回答数	5	12	2	9	2	23	2	19	0	3	0	0	0	0	1	5	1	1	1	0	
		比率	15.2%	36.4%	6.1%	27.3%	6.1%	69.7%	6.1%	57.6%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	15.2%	3.0%	3.0%	3.0%	0.0%	
90～99歳	3	回答数	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		比率	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
不明	4	回答数	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		比率	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問31 市内の福祉サービスに関する情報は充分に得られていると感じていますか。【1つだけ○】

福祉サービスの情報は「ある程度は得られている」が47.0%

福祉サービスの情報は「ある程度は得られている」が47.0%で最も高く、次いで「あまり得られていない」が29.4%、「わからない」が13.0%となっています。

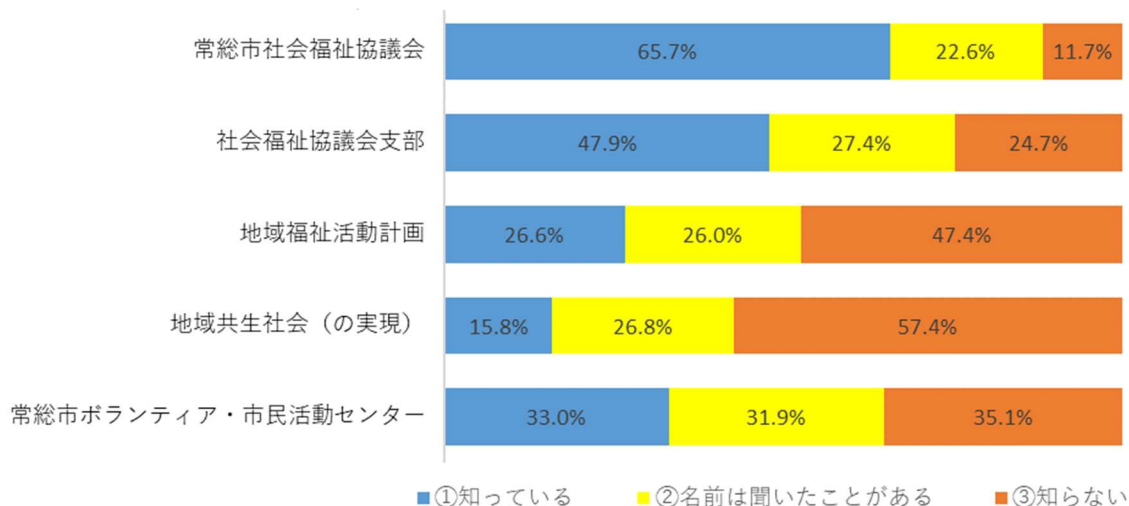


問32 あなたは、地域福祉の推進に関係する次の組織や理念、計画などを知っていますか。【該当するものに○】

社会福祉協議会の認知度は88.3%

社会福祉協議会の認知度は「①知っている」が65.7%、「②名前は聞いたことがある」が22.6%となっており、①と②を合わせると88.3%の方が社会福祉協議会を知っていると回答しています。

また、社会福祉協議会支部の認知度は75.3%※、地域福祉活動計画は52.6%※、地域共生社会については42.6%※、常総市ボランティア・市民活動センターは64.9%※となっています。 ※印は選択肢「①知っている」と「②名前は聞いたことがある」の合計の数値

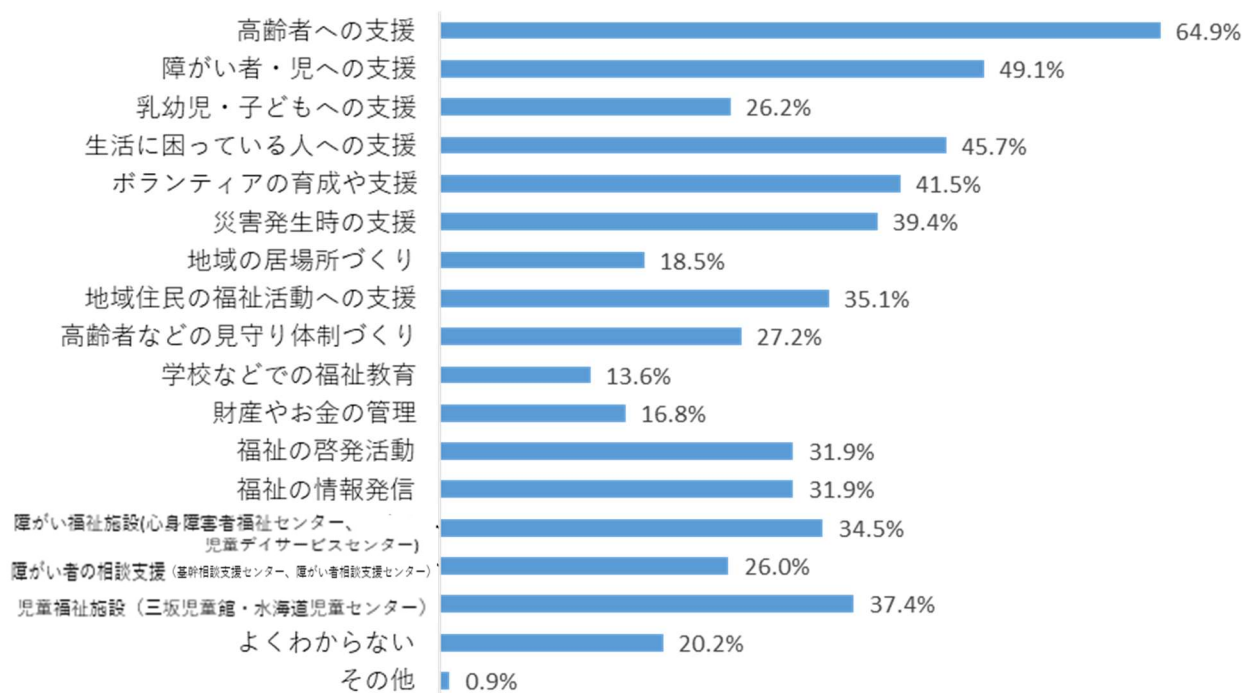


問33 常総市社会福祉協議会では、どのような取り組みをしているか知っていますか。

【知っているものすべてに○】

社会福祉協議会の取り組みで知っているものは「高齢者への支援」が64.9%

社会福祉協議会の取り組みで知っているものは「高齢者への支援」が64.9%で最も高く、次いで「障がい者・児への支援」が49.1%、「生活に困っている人への支援」が45.7%となっています。



項目	回答数	比率
高齢者への支援	344	64.9%
障がい者・児への支援	260	49.1%
乳幼児・子どもへの支援	139	26.2%
生活に困っている人への支援	242	45.7%
ボランティアの育成や支援	220	41.5%
災害発生時の支援	209	39.4%
地域の居場所づくり	98	18.5%
地域住民の福祉活動への支援	186	35.1%
高齢者などの見守り体制づくり	144	27.2%
学校などでの福祉教育	72	13.6%
財産やお金の管理	89	16.8%
福祉の啓発活動	169	31.9%
福祉の情報発信	169	31.9%
障がい福祉施設(心身障害者福祉センター、児童デイサービスセンター)	183	34.5%
障がい者の相談支援(基幹相談支援センター、障がい者相談支援センター)	138	26.0%
児童福祉施設(三坂児童館・水海道児童センター)	198	37.4%
よくわからない	107	20.2%
その他	5	0.9%
回答者数	530	

〈年代別クロス集計〉1 位：白文字 2 位：太文字

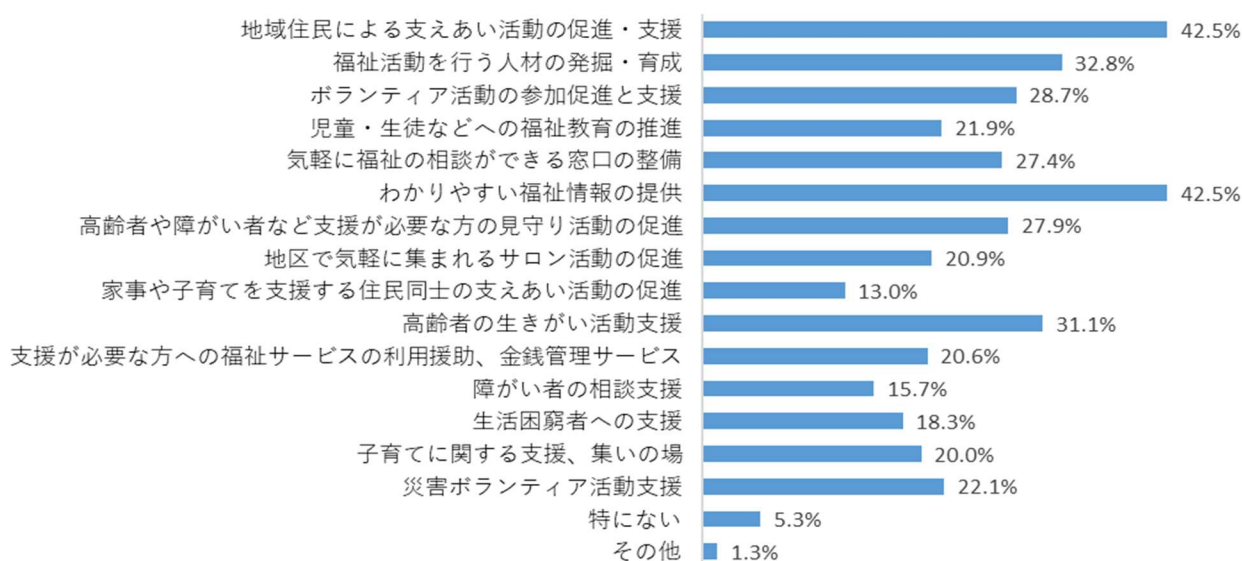
年齢	回答 母数	項目	高齢者への支援	障がい者・児への支援	乳幼児・子どもへの支援	生活に困っている人への支援	ボランティアの育成や支援	災害発生時の支援	地域の居場所づくり	地域住民の福祉活動への支援	高齢者などの見守り体制づくり	学校などでの福祉教育	財産やお金の管理	福祉の啓発活動	福祉の情報発信	障がい福祉施設（心身障害者福祉センター）	障がい者の相談支援（基幹相談支援センター）	障がい者の相談支援（基幹相談支援センター）	児童福祉施設（三坂児童館・海道児童センター）	よくわからない	その他
全体	530	回答数	344	260	139	242	220	209	98	186	144	72	89	169	169	183	138	198	107	5	
		比率	64.9%	49.1%	26.2%	45.7%	41.5%	39.4%	18.5%	35.1%	27.2%	13.6%	16.8%	31.9%	31.9%	34.5%	26.0%	37.4%	20.2%	0.9%	
20～29歳	3	回答数	2	1	2	2	1	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	
		比率	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
30～39歳	28	回答数	5	5	6	2	1	1	0	1	0	2	0	2	3	3	3	8	16	0	
		比率	17.9%	17.9%	21.4%	7.1%	3.6%	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	10.7%	10.7%	10.7%	28.6%	57.1%	0.0%	
40～49歳	81	回答数	29	22	13	11	17	10	2	11	7	3	5	10	11	17	10	22	34	1	
		比率	35.8%	27.2%	16.0%	13.6%	21.0%	12.3%	2.5%	13.6%	8.6%	3.7%	6.2%	12.3%	13.6%	21.0%	12.3%	27.2%	42.0%	1.2%	
50～59歳	31	回答数	11	10	4	6	9	7	3	6	3	6	4	4	8	7	7	7	11	0	
		比率	35.5%	32.3%	12.9%	19.4%	29.0%	22.6%	9.7%	19.4%	9.7%	19.4%	12.9%	12.9%	25.8%	22.6%	22.6%	22.6%	35.5%	0.0%	
60～64歳	33	回答数	22	13	5	13	10	8	2	7	4	1	3	10	11	9	5	7	7	0	
		比率	66.7%	39.4%	15.2%	39.4%	30.3%	24.2%	6.1%	21.2%	12.1%	3.0%	9.1%	30.3%	33.3%	27.3%	15.2%	21.2%	21.2%	0.0%	
65～69歳	94	回答数	70	63	34	55	40	41	23	36	35	9	18	43	39	43	26	46	12	0	
		比率	74.5%	67.0%	36.2%	58.5%	42.6%	43.6%	24.5%	38.3%	37.2%	9.6%	19.1%	45.7%	41.5%	45.7%	27.7%	48.9%	12.8%	0.0%	
70～74歳	143	回答数	105	75	33	78	74	71	30	63	42	23	30	50	51	51	40	52	21	0	
		比率	73.4%	52.4%	23.1%	54.5%	51.7%	49.7%	21.0%	44.1%	29.4%	16.1%	21.0%	35.0%	35.7%	35.7%	28.0%	36.4%	14.7%	0.0%	
75～79歳	77	回答数	68	50	31	55	46	50	25	44	40	17	21	36	32	39	29	38	3	4	
		比率	88.3%	64.9%	40.3%	71.4%	59.7%	64.9%	32.5%	57.1%	51.9%	22.1%	27.3%	46.8%	41.6%	50.6%	37.7%	49.4%	3.9%	5.2%	
80～89歳	33	回答数	28	19	10	19	20	20	12	16	11	9	8	13	13	13	16	16	3	0	
		比率	84.8%	57.6%	30.3%	57.6%	60.6%	60.6%	36.4%	48.5%	33.3%	27.3%	24.2%	39.4%	39.4%	39.4%	48.5%	48.5%	9.1%	0.0%	
90～99歳	3	回答数	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		比率	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
不明	4	回答数	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	
		比率	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	

問34 社会福祉協議会が行う活動や支援のうち、あなたが今後、充実してほしいと思うものはどれですか。【該当するものすべてに○】

充実してほしい活動は「地域住民による支えあい活動の促進・支援」と「わかりやすい福祉情報の提供」が42.5%

社協に充実してほしい活動は「地域住民による支えあい活動の促進・支援」と「わかりやすい福祉情報の提供」が42.5%で最も高く、次いで「福祉活動を行う人材の発掘・育成」が32.8%、「高齢者の生きがい活動支援」が31.1%となっています。

年代別に見ると49歳以下では「子育てに関する支援、集いの場」と「児童・生徒などへの福祉教育の推進」の割合が高くなっており、子育てに関わる支援が求められていることがうかがえます。



項目	回答数	比率
地域住民による支えあい活動の促進・支援	225	42.5%
福祉活動を行う人材の発掘・育成	174	32.8%
ボランティア活動の参加促進と支援	152	28.7%
児童・生徒などへの福祉教育の推進	116	21.9%
気軽に福祉の相談ができる窓口の整備	145	27.4%
わかりやすい福祉情報の提供	225	42.5%
高齢者や障がい者など支援が必要な方の見守り活動の促進	148	27.9%
地区で気軽に集まれるサロン活動の促進	111	20.9%
家事や子育てを支援する住民同士の支えあい活動の促進	69	13.0%
高齢者の生きがい活動支援	165	31.1%
支援が必要な方への福祉サービスの利用援助、金銭管理サービス	109	20.6%
障がい者の相談支援	83	15.7%
生活困窮者への支援	97	18.3%
子育てに関する支援、集いの場	106	20.0%
災害ボランティア活動支援	117	22.1%
特にない	28	5.3%
その他	7	1.3%
回答者数	530	

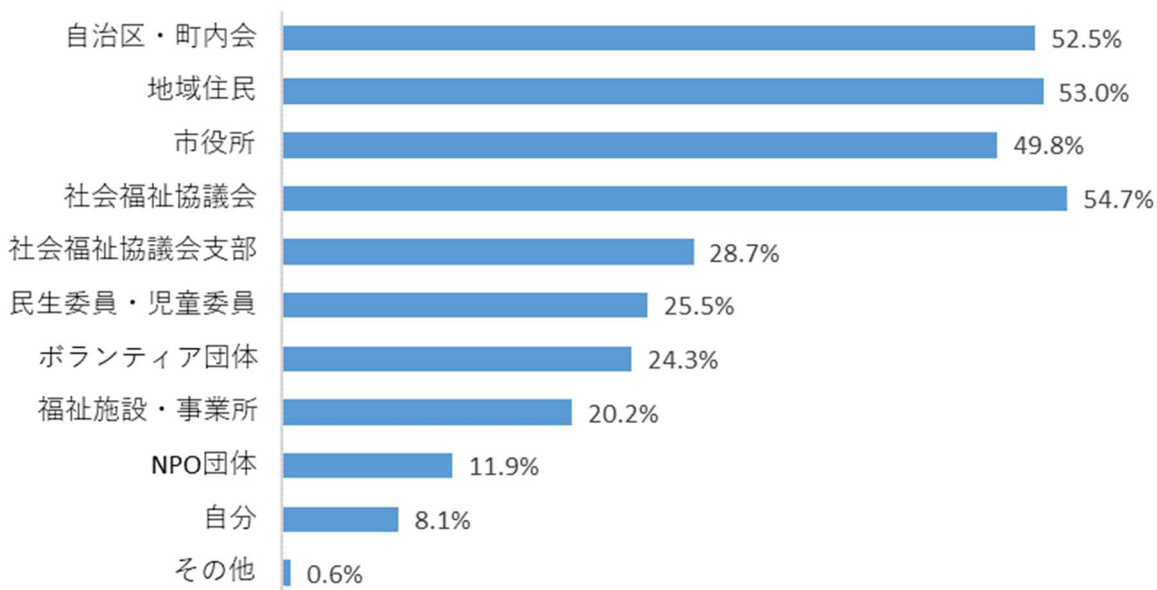
〈年代別クロス集計〉 1位：白文字 2位：太文字

[illegible]

問35 今後、地域の福祉を支えていくために、より重視される団体(・人)はどこ(・誰)だと思いますか。【該当するものすべてに○】

地域の福祉を支えていくためにより重視される
団体・個人は「社会福祉協議会」が54.7%

今後、地域の福祉を支えていくためにより重要と思う団体・人は「社会福祉協議会」が54.7%で最も高く、次いで「地域住民」が53.0%、「自治区・町内会」が52.5%、「市役所」が49.8%となっています。



項目	回答数	比率
自治区・町内会	278	52.5%
地域住民	281	53.0%
市役所	264	49.8%
社会福祉協議会	290	54.7%
社会福祉協議会支部	152	28.7%
民生委員・児童委員	135	25.5%
ボランティア団体	129	24.3%
福祉施設・事業所	107	20.2%
NPO 団体	63	11.9%
自分	43	8.1%
その他	3	0.6%
回答者数	530	

**問36 あなたの地区の困りごとや課題について、どのようにしたら解決できると思いますか。
アイデアやご意見があれば教えてください。【自由記述】**

意見が多数のため、抜粋して掲載。※意見原文は資料 56～64 ページに掲載。

〈主な地区の困りごと、課題〉

- ・地域のつながり、近所付き合いの希薄化に伴う支えあい意識の低下
- ・地域活動への無関心
- ・地域と関りを持たない世帯への対応
- ・地域の行事が少なくなっている。また、参加者が少ない
- ・自治会や子ども会など地域各種団体の役員のなり手不足や体制、役割の見直し
- ・高齢者や一人暮らし高齢者の増加
- ・高齢者や社会的弱者への見守り体制づくり
- ・ゴミの分別やゴミ出しが十分に行われていない
- ・空き家問題、住環境問題
- ・高齢者の移動手段の確保、公共交通の整備
- ・若い世代の減少。子どもが少ない。子どもたちが安心して遊べる場所がない
- ・地域に集まれる場所、居場所がない
- ・地域に買い物する場所がない
- ・外国人との交流
- ・さまざまな近所トラブル など

〈主な解決方法、アイデア〉

- ・当事者、関係者・団体などが連携・協力して課題解決できるような話し合いの場をもつ
- ・地域の各種団体の役割りの見直し、相互協力体制づくり
- ・一人暮らし高齢者や要支援者世帯への定期的な訪問を行う
- ・自治区ごとに、高齢者などが歩いていける場所に集まれる場所をつくる
- ・子育てをしやすい環境づくりの充実、子どもたちが楽しいと思う行事・企画を増やす
- ・地域住民が顔を合わす機会を増やす。地域の課題について話し合いの場をつくる
- ・地域の有志を集めての見回り活動を行う
- ・地域を良くする活動をポイント制にして、活動を促進する
- ・思いやりや支えあいなど共助の精神が高まるような取り組み
- ・市で地域活動が促進されるようサポート（人・金・物）を充実する
- ・常総市に住みたくなるような政策をお願いしたい
- ・子育て世代が働きやすい企業を増やす。安価な土地の提供情報を流す。常総市でしか体験できないようなイベントを作る
- ・高齢者のみ世帯などに空屋になった場合の事前相談を行う
- ・相談窓口の一本化、ワンストップ窓口の周知
- ・インターネット、SNSを利用した情報発信 など

問37 今後、「住民みんなで助け合い・支え合う地域」を作るためのご意見・アイディア、または、地域福祉を進める取り組みについて、ご意見・ご提案がございましたら記入してください。
【自由記述】

意見が多数のため、主な意見を抜粋して掲載。※意見原文は資料 65～70 ページに掲載。

- ・ 地域の話し合いや集まりを通じて、地域のつながりやご近所付き合いの再生
- ・ 地区公民館などでの地域活動の充実
- ・ 地域のリーダーやお世話役などの人材育成
- ・ 助けあい、支えあいなど共助の精神の啓発
- ・ 地域行事や相談窓口などの情報提供、周知
- ・ ボランティア活動の情報交換
- ・ 世代を超えた交流会や企画の実施
- ・ 公共交通の充実などで高齢者の移動手段
- ・ 各種地域活動団体の協力、連携
- ・ 高齢者や要支援者の見守り活動
- ・ 高齢者などが歩いて参加できる居場所づくり
- ・ 小学生などの登下校時の見守り
- ・ 子どもが安心して遊べる居場所づくり
- ・ 子育て世代への各種支援
- ・ 外国人との共生、交流
- ・ 行政、社協に対する課題や改善意見など

Ⅲ 団体用アンケート調査結果

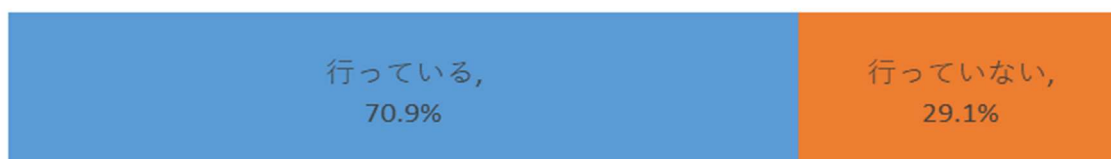
1 調査結果

① 回答件数及び回答団体について

回答件数	86件
（内訳）ボランティア	35件
福祉事業所	18件
学校（小中高）	16件
保育所・幼稚園等	10件
法人会員	5件
不明	2件

② 回答結果について

問1 あなたの団体・事業所では、地域住民との交流活動や地域を良くする活動などの地域福祉に関する取り組みを行っていますか。



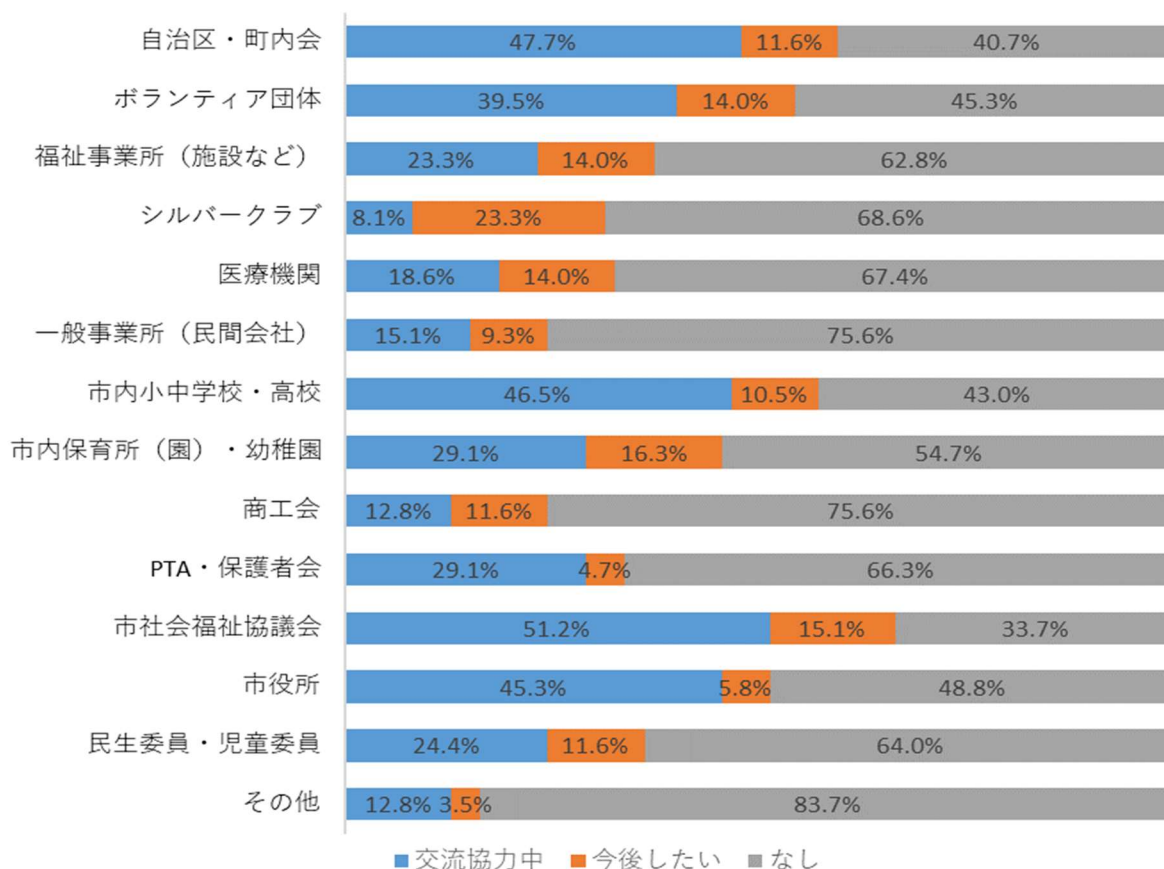
問2 今後、あなたの団体・事業所で取り組んでみたい地域住民との交流活動や地域を良くする活動などの地域福祉に関する取り組みはありますか。



取り組みたい内容（抜粋）

- ・施設イベント等を開放し、地域住民の方々と交流したい
- ・小学校、中学校、工業団地などでの福祉の理解の推進
- ・地域の人たちに発達障害について理解してほしい
- ・高齢者サロン活動、居場所づくり
- ・他団体と連携、交流できる場を作りたい
- ・施設入居者と地域住民との交流
- ・福祉に関わる教育、体験活動など
- ・小学校とお食事会のコラボ
- ・資源回収、職場体験学習
- ・シルバークラブとの交流
- ・シルバーリハビリ体操の啓発
- ・地域福祉のイベントへの参加
- ・介護教室
- ・登下校の見守り
- ・高齢者とのふれあい活動（ボランティア）
- ・近所の障がい者施設や老人施設との交流

問 3 あなたの団体・事業所では、地域の団体等と交流や、連携・協力して取り組みを行うことがありますか。交流や連携をしている団体等について教えてください。また、今後、交流や協力をしたいと思う団体等がありますか。



問 4 地域の問題や課題解決のために、社会福祉協議会と連携・協力できたらよいと思うこと、取り組みなどがございましたら教えてください（抜粋）

- ・福祉事業所間の集まりを考えてほしい
- ・施設や地域活動へのボランティアやレクリエーションなどの紹介
- ・防災・防犯等に関して、さまざまな業種で話し合い、情報交換できる場が欲しい
- ・社協のホームページにシルバーリハビリ体操を掲載してほしい
- ・高齢者のみ世帯での庭の草木の手入れ（除草、剪定等）
- ・金銭的に余裕がない方への情報提供
- ・サロン活動で小学生の歌を聞かせていただきたいので、学校との調整をしてほしい
- ・小学生とシルバークラブやボランティアなどが交流できる機会を作ってほしい
- ・小学生の登下校時の見守りを中学生にもしてもらいたい
- ・ボランティア団体の活動内容や団体名のわかる一覧表があると良いと思う
- ・重機など建設機械が必要な作業などご協力できることがあったらお申し付けください
- ・親子、地域住民との防災体験
- ・お散歩中の地域の方にあいさつやお声がけ（高齢者の方を含む）をする
- ・障がい者、障がい児とのコミュニケーションをとる場があるとよい

IV 資料

1 問36、問37の回答

問36 あなたの地区の困りごとや課題について、どのようにしたら解決できると思いますか。アイデアやご意見があれば教えてください。【自由記述】

年代	地区の困りごと、課題	解決方法、アイデア
60～64 歳	当地区には空き家があり、小動物がいるようで、隣近所宅にも侵入し家が荒らされたり、糞公害に悩まされるなど住環境に悪影響を及ぼしている。	当事者、関係者・団体などが捕獲・駆除作業がスムーズに行えるような体制を整えていく。
75～79 歳	新興住宅地では、他の地域からの移住者で構成され住民間の連帯意識が薄い傾向にあります。近年自治会加入率が低下、地域社会が分断され、共同課題の解決や役割分担が難しくなっています。当然、担い手不足も生じています。	地域の各種団体・マンパワーを活用、根気強く活動を継続していくより方策はないと思います。
75～79 歳	何事を行うにしても参加者が少ない。例えば防災・防犯の講演会を開催しても参加人数が少なく。	地域住民だけではなく、PTAや地域団体とかの異なるグループに声をかけること。
30～39 歳	子どもがいない。	子育てのしやすい環境づくりをする！孤育てにならないような楽しい企画を増やしていく。
65～69 歳	独居老人が増加している。現在は大きな問題なく生活しているが、今後、急病、認知症によるトラブルは加速していくと思われる。	
50～59 歳	ここ数年はコロナもあり、自治区の総会が中止になっていた。転入者の顔、名前がわからない。ゴミの分別がされていないなど。	感染症が流行する時期を外し、秋頃に集会・総会を予定。堅苦しくない集いの場を設ける。
70～74 歳	高齢者の増加により地区活動への参加が困難になって来ている（体力のおとろえ等）。若い世代の減少。	
65～69 歳	空き家の課題。	県と市が管理開設してほしい。
65～69 歳	コロナが流行してその後、地域の活動がどんどん減っていき近所の人との交流が途絶えてきている（高齢化もあり）公民館活用がほとんどなくなっている。	同世代の人に声掛け。まずは「お茶のみ」から再スタートさせていきたい。
70～74 歳	高齢化が進み、空き家や一人暮らしの高齢者世帯が毎年増えている現状に危機感が強まっています。解決策なんて考えられない程、深刻です。	
70～74 歳	田畑の休耕が多い。跡継ぎがいない。	農業法人の設立（会社員として作業を行う）
65～69 歳	空き家問題。	
70～74 歳		自治区長あたりに相談する。市の窓口相談する。
70～74 歳	近所同士の付き合いが（情報）少ない。	身近なご近所さんとのイベント
75～79 歳	自治会活動へ無関心。子育て世代の大人が無関心な為、子供達の人数すら把握できない。	自治会活動や事業の案内等を学校を通じて配布する事が出来ないか。回覧を廻しても親が子供に見せない、話さないで次に廻してしまうようだ。

70～74 歳	空き家対策。野良猫が集合している。他、不審者が侵入している。	市の方で持ち主を探して、場合によっては取り壊し等の要請をする。→実行してもらう。
70～74 歳	公民館を有効に活用していない	お茶飲み会など気軽に集まれるようにする
65～69 歳	地域とのかかわりがあまりない家庭の対応	民生委員・自治区長・市担当との連携
65～69 歳	何をやるにしても、中心になってくれる人。役員さん等をやるのが好まない人が多い時代。地域の世話役見つけるのが大変。	昔みたいに自治区長にしても子ども会にしてもしかたなしに役割が当番制で回わす。
70～74 歳	空き家問題。不衛生（ゴミ屋敷）で近隣住民が困っている。	市で考えてほしい。
75～79 歳	下水排水管に住宅の配管が繋いでいないお宅があり、雨が降ると古い排水管に流しているため、悪臭がして迷惑である。	1. 市に相談したが変わらない。 2. 近隣の息子に相談しているが変わらない 3. 話をする機会がない。どうしていいかわからない。 4. 自治区長等と情報の共有に務めている。
65～69 歳	高齢者世帯が多くなり、空き家も増えてきた。	
70～74 歳	地域愛が薄れ、自分さえ良ければ他人はどうでもいいといった思いやりに欠けた社会となりこの先どうなるのかと心配。特に声を発せない弱者への見守り体制を地域が一体となって考える必要があるのでは？支え合うことが幸福感を得ることができるのかな？	時代の変化により昔はこうではなかったとは言いたくないが、世代間による雑談会などの企画も考慮しつつ、人間性豊かな思いやりのある社会づくりを考えていくことが急務（もう遅いかな？）に思う。
65～69 歳	年3回の一斉清掃日実施に於いて道路肩ポイ捨てごみ、空き缶、ペットボトルが増大し、活動量も増え、参加者からの苦言も増大。	以前より市からの支給品はゴミ袋だけだったが、常総工事事務所（県）への道の里親奉仕申請し、ゴミ袋・軍手・チップソー替え刃各戸支給により参加者の苦情も少なくなり一斉清掃の他、見通しの悪い十字路の草刈りも年2回実施できるようになった。
70～74 歳	人口減少、消滅集落、結婚しない若者（できない若者）	
70～74 歳	集まりたくとも近くに場所がない。個人宅には行けない。	廃車バスなどを改良して地区に設置してお茶のみ場を作ってほしい。
65～69 歳	一人暮らしの高齢者が意外に多い。声掛けなどのシステムがない。民生委員のみでは活動に限界がある。	地区ごとに当番制で巡回するなどのしくみが必要だと思う。
70～74 歳	市道と県道の交差する角の雑草が見通しを悪くしていて危険。市道側は草刈りをまめにしているが、県道側は一斉のときでないと行われない。	交差する角の土地が一部分だけ市の土地になっているがもう2～3m広く買い上げて除草すれば、かなり見通しが良くなるはず。
75～79 歳	住民どうしの付き合い方が希薄であるため、支え合いが困難	
30～39 歳		市内の様々な（ゴミ拾いなど）問題に対して「市」独自のポイントを付与する。付与したポイントは市内のお店で使用できるようにするなど。子どもはスマホなどを持っていないので、ポイントカード（スタンプカード）を作成する。参加した分の成果（感謝の気持ち）がなければ、達成感が持てないと思う。
40～49 歳	近所にゴミ屋敷のような家がある。なんとかしてあげたいと思うが、私自身、もともと住んでいる住民ではなく、他人の目が気になる。市の方が見回りに来てほしい	生活に困っている人は所得が低い人もいる。その家を見回りに来て聴取してほしい。

65～69 歳	地域福祉の目的である、安心して暮らせる地域づくりの基礎である、自治区の班長及び班員の方が少なくなり、危惧しています。班の仕組みは、地域社会にとって良い方法と思っています。班の回覧版や配布物によって、班内のあいさつ・情報交換となり結果、安否確認の声掛けや困りごと相談なども期待できると思っています。 しかし、下記のような問題が顕在化してきており、心配しているところです。 １．高齢者・若年層のみの世帯及びその他の理由で班長になる方がいなくなり困っている。結果として、順番がすぐに来て一部の方に負担が増えてしまう。 ２．自治区から抜ける方もおり、同様の方が増えると残っている方への負担が増え、どうしようとの声が上がっている。 要因として、班長及び班員の煩わしさがあるかと思っています。年金受給者の会費・募金及び寄付金などの負担やそれを集金に歩く班員への負担、取りまとめを行う自治区長にとっても大きな負担となっています。市からの班長役割案内には集金業務はないため、お願い時苦々しく思っています。	行政に関する（学校後援会・募金及び寄付金など）集金については、自治区長・班長を介さず完全個別にして、不足金は行政から支出してほしいと思います。
40～49 歳	高齢者世帯が多く、地区活動の参加が難しくなっている。若い方は仕事や自分のことで忙しい。（地区の清掃や資源回収など）	
75～79 歳	身の回りもだんだんと高齢が多くなり始めましたので、人ごとではないので、元気で活動できるように地域で支えられるようにしたいですね	
40～49 歳	菅生・大塚戸地区にスーパーマーケットがなくなってしまった。車がない家庭は大変。また、コミバスも全く不十分で、バス停までも歩けない。	企業誘致してください
40～49 歳		インターネットで匿名の悩み事掲示板を作る
75～79 歳	ゴミ問題 ゴミステーションに違法投棄していく。隣地の畑などへも捨てていく。	他地区の住民がポイ捨ての感覚で投棄していると思われる。地域住民の課題としてしてはいけない。モラル向上施策が必要
70～74 歳	空屋が増えていく。	老人だけで住んでいる家庭に生活相談をし、空屋になった場合の事前相談を市が積極的に動いてほしい。
75～79 歳	私たちの地区にはみんなが集まれる広場があります。そこにあるテーブル等、物置小屋のいたずらが多く警察を何度も呼び注意をしてもらっても良くなる事はなくパトロールをしてもらっています。	
40～49 歳	自宅でゴミを燃やすこと。 通学路でスピードを出していくこと。	何度通報しても野焼きをやめてもらえてないので罰金しかないのではと思います。道路を凸凹にする
70～74 歳	高齢者の一人世帯が増えている。	月に一回は一人暮らしの高齢者宅を訪問しているが近所との交流が少ないため民生委員として近所の方々にも声掛けをするよう依頼している。

65～69 歳	交通手段 ジョイバスの運行について、曜日で地域を丁寧に戻ってほしい。せめて、目的地に行ったら戻れるような流れを作ってもらわないと高齢者はとても困ります。500M 歩くのでさえできない方もたくさんいらっしゃる。膝、背骨、股関節の高齢者の病気、症状を学んでほしいです。 クーリングシェルター 散歩される方がたくさんいるので、クーリングシェルターポイントを早く出してほしいです。多分、市では準備を始めているのですが、川沿いに公共施設もなく 110 番の家のように民間の協力も進めてほしいです。	
30～39 歳	誰が住んでいるかよくわからない。	
40～49 歳	公共交通がない。高齢者が車の運転をせざるを得ない	
40～49 歳	子供がいないため、子ども会が機能していない。	常総市に住みたいという取り組みをお願いしたい。
70～74 歳	高齢者の一人世帯が増えている。	月に一回は一人暮らしの高齢者宅を訪問しているが近所との交流が少ないため民生委員として近所の方々にも声掛けをするよう依頼している。
40～49 歳	車の盗難が多い。	見回りをする団体をつくる。
75～79 歳	困り事はいっぱいあります。でもどこへ相談したらいいのか？と言うことはあります。	
75～79 歳	地区の広場で遊ぶ子供達、中学高校生位の子達が物をなんとも思わずこわしている。あずまのテーブルは何度作ってもすべてこわす。床下にはたばこのすいがらがいっぱい。	防犯カメラをつけると警察からは言われているけど、地区の持ち物なので皆で考え中です。何かありますか。地区の子ども達だけではないのです。
75～79 歳	地区の広場では、いたずら物壊し（休けい所のテーブル等、物置等もなんもこわされ警察との話し合では、学校に通学していない子が数人いる。警察も今の所どうにもならないからパトロールをしてくれるとの事なんです。	
40～49 歳	消防団員の拘束時間が長すぎる。全国大会はもちろん町大会もやらないでほしい。朝 4 時起きが何ヶ月も続きかわいそう。消防団に入って婚期逃した人もいるのでは？これにより子ども減少に繋がっていると思う。	消防団の活動は大切だけど、大会はやめるべき。浮いた予算でバスの本数を増やしたり、違う事に使って地域の為に役立ててほしい。
70～74 歳	独居老人、高齢者のみの世帯になり、若者達は外に出て行き、集落の人数が減少している。	地区の合併は？
75～79 歳	可燃ごみ袋の中に不燃ごみが混じって出す方がおり集積所の外に出されて 2、3 日置いてある場合がある。	集積所はゴミ収集日以外は鍵を閉める。皆んなきちんと並べて出す習慣をつくる。
80～89 歳	生活必需品の販売店が身近な箇所にない。	中・小規模な店で良いので地区内に出店されることを望む。市、協会がある程度の支援金を拠出して援助されることが出来る体制を期待する。

50～59 歳	住民同士の交流の場が少ない。	私の地区ではお祭りがあるが、住民はお金を寄付するだけで子ども会に丸投げ状態である。住民もお祭りに参加すべきで子ども会からのアプローチをもっとすべきである。少しづつでも良いのでアプローチを続けていくべきである。それと市からもプッシュしてほしい。
40～49 歳	地区の集まりで若者の参加が少ないとの話を聞く。確かに実感として自分も思うが、今や共働きが当たり前、土日も子供の習い事送迎等、自分たちのことでいっぱいなのところが正直な気持ち。あれもこれもできない。なんでも若いからやれやれといわないでほしい。時間がない。	
70～74 歳	近所に集まりお茶のみ、話し合う場所がない。	
70～74 歳	ゴミ集積所が遠いため、足の不自由な人は大変だと思う。祝日にあたると収集車が来ないため不便。	ゴミの収集日を増やしてほしい。
50～59 歳	高齢者に優しいまちづくり	高齢者目線の公共交通、道路、・市街地の環境。
75～79 歳	声をかけても出席しない人がある。無理にとは言わないがいつも決まっている人が出席しているのが気になる。	
75～79 歳	(人間関係) 私の自宅の後ろに住んでいる(1人住まい) 近所と仲悪くその内容をすぐに、自宅へ話に来ます。その度に私は、ストレスでストレスで我慢ができない。聞く人だけで何の答えも出せない。前に話した事があります。役所に TEL かけて(悩み)相談してみてはと話しています。毎日のように家にきます。私は少し勤めているので、本当に困っています。	
80～89 歳	高齢化が急速に進んでおり、地域を支える人材が不足。若者(比較的)の人材を集め、活動を充実する方法を教えてほしい。すべて自己中心の世界になりつつあるが、戦後の教育、IT 企業の発展すべて人間の心を置いてきぼりの開発が原因とも思われる。世の中が忙しすぎる。利益のみを追求してきた結果今がある。	
30～39 歳	夫婦共働きのため地区の集まり等参加できないことが多い。	共働きが多くなっていることへの理解。
50～59 歳	近所の飼い猫が庭に入り糞をしたり畑に入り込む。	飼い犬の場合はしっかりしつけされているが、猫の場合はどうしたらよいのか。
65～69 歳	コロナ流行以降、人との関わりが薄くなり交流がない。	思案中だが、まずは多くの人を意識や関心をもち、今のままではよくないと考えて、よりよい未来に希望をもつことから。
80～89 歳		人前で意見を言うのは難しいため無記名等で行政に提出してはどうか。
70～74 歳	農業後継者の問題。	
70～74 歳	空き家があり、ハクビシンやアライグマが住みついていて近所の方が非常に困っている。近所にコンビニ、スーパーがない。	

65～69 歳	買い物する場所がない。移動スーパーがあってもその場所が遠い。車がないと移動手段がないため今後高齢になったらどうしたらよいのか。	ジョイバスは果たして利用価値があるのか疑問。停留所を見直して病院やスーパーに行けるようにするべきでは。何のために運航しているのか理解しがたい。市民のためになっているのか。よく考えてほしい。
40～49 歳	子育て世代が少なく、全ての活動が特定の子育て家庭に集中している。現在抱えている業務の多さを考えるとこれ以上できない。	子供会や自治区の範囲を見直し、適正な配置が必要だと感じる。数年に一度の持ち回りであれば役員を担う側も協力できる。
30～39 歳	子どもが少ない。	子育て世代が働きやすい企業を増やす。人口が多い市に向けて、安価な土地の提供情報を流す。常総市でしか体験できないようなイベントを作る。
40～49 歳	高齢者の一人暮らしが多いため、今後空き家が増えてくると思います。畑もできなくなり耕作放棄地になるところが多くなると思うのでどうしたら良いか。	
65～69 歳	不燃ゴミの分別がわかっていない。	区長が持ち帰って分別して再処分。分かりやすい分別指示板があればよい。
75～79 歳	福祉でもいろいろと検討してくださっていますが、県民性でしょうか？転居して来た人を受け入れるまで時間がかかる。よそ者扱い？	一声でいいから声かけが必要。市政での窓口での説明が細かい。一度で済まず窓口から他の窓口へ移動が多い。
65～69 歳	最近ゴミ出し方に問題が出てきている、仕分けができていないので、収集者が残していきます。自分の家のゴミだと分かれば、次の日に残っていれば、持ち帰るのに、そのままでの家の物か分からず。お掃除当番の人が後片付けをしています。	
75～79 歳	農村地区なので広い宅地等、老親を施設に入れることはできても管理が出来ない。わかっても手助けすることはできない。自分自身の体と自分の家のことだけでも精一杯なので無理。	共助の精神は、充分必要なことはわかっている。数十年前のような、村ぐるみ（町内、班内、組合内の意味）でのお互いの助け合いは、団結すればできるかもしれないですね。
75～79 歳	道路を狭くしている伸びた木の伐採。	
60～64 歳	若い世代、子ども達が減った事。一人暮らし高齢者の方の日常の買物、通院は大変だと思います。最近「JOYBUS」が運行されるようになりましたが、「道の駅」に行くだけです、意味がないです。ルートの的に難しいと思われそうですが、病院ですとかスーパーなどに停車して頂けた方が有難いです。	
60～64 歳	多国籍が地区全体の 40%以上居る。	自治会加入への立場上話しかけをしているが、日本人にも声掛けをしたい。
65～69 歳	ゴミの集積所への不法投棄。	
75～79 歳	困っている人の話を聞いて社会福祉協議会に相談する。	真剣に損得抜きで一生懸命取り組む。そうすれば相手に伝わると思う。
70～74 歳	カスタマーハラスメントの問題がある住民がいる。	本人の自覚を待つしかないので即効性なし。
70～74 歳	社会福祉協議会の事業内容について、民生委員にもよく周知されていない感じがする。	民協において事業内容の説明を行うことが必要
70～74 歳	市内一斉清掃において各事業者にもお願いする。	

70～74 歳	① 子どもたち、学生（中高生）などが集まれる場所がない。 ② 神社の空き地など地区の人が高齢になり清掃する人が少なくなった。 ③ 防犯意識が少ない	①② 安く整備し、せめて草が生えないようにし、いろいろな世代が集まれるようなものを設置する。（バスケットゴールや健康器具、足つぽ歩道など） ③ 地区に1台くらいは防犯カメラを設置する
30～39 歳	・子どもが少ないのでひとりで登下校している子が増えた。そのため登下校時の不安が大きく、安全を確保することが課題。 ・さまざまな家庭環境から保護者による見守りができる家庭が少ない。 ・「こども110番の家」が少ない。 ・JOYバスを通学に利用しているが負担が大きい（月約5000円）	・総合的な防犯の見直しが必要 ・通学費の軽減。子どもたちの安全確保のためスクールバスの導入はできないのか。または交通費の助成。 ・JOYバスの本数を増やす。バス停を増やす。（沖三坂を通るルートがあるとうれしい）
50～59 歳	スムーズな情報伝達	SNSの活用
70～74 歳	地域での交流の場がなくなり、地域にどんな人が住んでいるのかわからない。災害などがあつたとき、どう助け合えばよいのかわからない。	地域ごとに防災訓練を行う必要があると思う。
70～74 歳	ゴミ集積場。分別して出してほしい。	緑の袋をプラ・缶・ペットボトルでそれぞれ別の色にしてほしい。
65～69 歳	廃屋の解体及び木や竹の伐採など。高齢者宅の伐採ができない。	市で補助金を出す。ボランティアで行う。
80～89 歳	困っている人と会うこと。	話し合い。
40～49 歳	アンケート調査。	福祉（介護）を必要とする前から情報提供（下準備が必要なことを知る）。意見の吸い上げ。
70～74 歳	空き家の増加。	古民家の活用。移住希望者へのあっせん。
75～79 歳	各団体とも高齢者ばかりで若い方が少ない。	
40～49 歳	世帯数減少に伴い、自治会の存続の危機。	
70～74 歳	・地域のつながりの希薄化。 ・少子化による行事等の衰退。 ・独居老人・老人世帯の増加。 ・各関係機関や組織の交流や話し合いを定期的に増やす。	
40～49 歳	子ども会が少なくなってきたおり、子ども会活動が2年後にはできなくなりそうなので、お祭りや行事をどうしようかと考えている。	今、相談しながら検討中で、どうすればいいのか悩んでいる状態。
70～74 歳	保育所のあと地。建物の活用。	
75～79 歳	空き家が多くなり、住民周辺が草だらけになり、片づけていいのか、そのままがいいのか困っている。	
70～74 歳	ボランティア活動をしていても参加者が少ない。途中から、参加する事をためらう人が多い事。	活動内容を回覧などで周知することが大事だと思う。そのために興味を引く内容で出来たらいいと思います。
50～59 歳	日中歩いて行ける居場所がない。日中やることがなく、寝ている人が多い。	歩いて行ける居場所作り（空き家を利用する、軒下の利用、駐車場の利用）
80～89 歳	・耕作放棄地の増加、山林の荒廃。 ・跡取り息子の結婚困難・若い娘の転出。 ・空き家の増加	

65～69 歳	地域の交流の機会が減ってしまい人間関係が希薄化しているので近所との関わりが難しくなっていること。	お互いの信頼関係を築くためには、会って話すことが第一歩なので、地域行事を活性化していくことだと思う。 活性化のための工夫が思案のしどころではありますが。
70～74 歳	家に引きこもり易い人の気分転換・リフレッシュ活動の推進。	市役所バスを活用し、近隣への日帰り研修実施。 バス運用条件の見直し。
65～69 歳	地区単位での集団での活動を好まない人が増えたため、役員等なり手がなくほぼ同じメンバーで様々な活動をしている。	
75～79 歳	各地区で話し合いを実施する。	
80～89 歳		市役所や社協の職員ももう少し親身になって困っている人の相談に乗れないものか？と思う。それが本来の仕事かと思います。頑張ってください！！
65～69 歳	どの程度困っているのか等、個人情報があり分からなく、分かった時にはかなり悪くなっていることがある。	ある程度の情報は共有できる機会があればいいのかと思う。
40～49 歳	・南石下から三妻小に行く、ジョイバスが小さいため、低学年が座れず危ない。中妻方面や大生郷工業団地内のジョイバスには、一人も乗っていないので見直しを検討してほしい。 ・鬼怒中学校が廃校になるため、上三坂や中三坂地区も水海道中学校に通う。通わなければならない。土手の道路は整っているが、街灯が全くない状態で、特に冬の帰り道は危険しかない。 ・子どもが減少しているので、小・中学校の廃校は仕方なく思っていますが、水海道中学校までの距離は土手道で9km。乗りなれない自転車で、重いリュックを背負っていく子どもの気持ちをよく考えてくれませんか。また、人の子だからと思わず、自分の子が通うとしたらと思い真剣に考えてください。子どもは毎日通わなくてはなりません。ジョイバスの運行をお願いします。「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現のために！！	・三妻小学校同様に南石下から水海道中学校にジョイバスを運行して、子どもたちが安心して安全に学校に通える環境を整えてほしいです。 ・南石下から三妻小学校に行くジョイバスを2台出してもらいたいです。（小・中学校用） ・ジョイバスをただ走らせるのではなく、現状をよく確認し、地域のみなさんの声を聞いてください。 ・ジョイバスのルートや時間変更を検討してもらいたいです。 ・土手にも街灯を設置してほしいです。
40～49 歳		何事も「自分事として」とらえることができるきっかけがあればいいのかなと思います。
40～49 歳	子どもの遊び場がない。外で自由に遊べない。→家の中へひきこもり	保護者付きでの学校校庭の開放。
70～74 歳	集まれるサロンが近くにない。歩いていけない。遠すぎる。	自治区や組員さんに協力いただき、話し相手、週1回の茶会をお願いします
75～79 歳	地区の行事にまったく参加しない人は今後どうしたら参加するようになるのか。	人間性の問題なので、なかなか解決できない。
80～89 歳	防犯灯が少ないので困る。	
50～59 歳	休日の自宅内でのゴミ燃やしに困っている。	古い習慣が残っていることがあると思います。行政の巡回で解決して頂きたい。
75～79 歳	コロナ前とは違って、ご近所全体の集まりごとがほとんどない。家の近くの友達とは常にあってはいるが、いつも同じ人たち。困りごとの解決にはならない。	

80～89 歳	① 公園や関鉄線路沿いの手入れ！ ② 避難訓練等の参加！	① 通学や高齢者にとって踏切や公園の雑草は大変危険。市の公園管理と関鉄で早期の対策をして！！ ② 町内会の積極的な取り組みが必要！
60～64 歳	地域内の方々とのかかわりが少なく世代が違 うと全くどこの方か分からない人もいる。	子ども会祭りや公民館の催し物を増し活動す ることで交流が持てるのではないでしょ うか。（子ども会祭りは地域ぐるみで行って みる。）
90～99 歳	何の集いもないのです。以前は新年会とか忘 年会花見会などが有りましたが今は何の集ま りもありません。	
65～69 歳	以前住んでいた家の所、空き地になり毎年草 木が伸び放題になっています。冬は木が枯れ て火災も心配です。所有者が分からず近くの 住人は不安があります。	市、自治区長さんに視察に来ていただき対処 をお願いします。
65～69 歳	現在も実施されている、地域別懇談会などの 話し合い。	話し合いで出された問題などを市役所に提供 し、解決していく。
80～89 歳	地区内の関係が希薄になっていると思う。コ ロナ渦後は同じ班内の方と（特に奥さん等） 1 年間顔を合わせないこともあります。後期 高齢者のみの家が増え、緊急事態が発生した らどうなるかととても心配です。	班内での（特に奥さん達）顔を合わせる機会 を設けるようにしたいと考えています。最初 は食事会や手芸等を通していろいろな事を話 し合う場にしたいと思います。
70～74 歳	子どもが少なく、空き家が目立つ。若者が市 外に出てしまう。	企業誘致し雇用を増やして若者を市内からの 流出を減らす。
60～64 歳	少子高齢化による、家族や地域共同体のつな がりが減少、孤立する人が増える。	子ども食堂のように、多様な人たちが気軽に 集える場所を作り、みんなが見守り支援が出 来るようにする。
60～64 歳	班長が高齢で同居家族もいない。集金や広報 紙を班内に配ることが難しい。 班長は輪番で数年に 1 回まわってくる。	体が健康であっても足腰が丈夫であってもあ る程度の年齢で定年制度を設けてみる。
60～64 歳	近所に 90 代の高齢夫婦が生活しており、長 男が同居しているがあまり両親に関与してい ない。 特にお婆さんは認知症が重度であり、転倒や 玄関の前で寝ている等の問題があった。 同居家族がいることで介入することがむずか しいが、民生委員は訪問しているのでしょ うか。	
65～69 歳	各団体で世代交代がされていない。 未だに 70 代以上の家長が組合等の会合に参 加している。 次の世代（40 代）は集まりに参加してこ ない。	
70～74 歳	隣近所どおしが協力しあって地域のために活 動するという仲間意識がとても薄くなってい ると思います。	今、小学校単位の自主防災組織の立ち上げ を！と市でも呼びかけています。 一人一人が自助・共助を心がけ、災害時のみ ならず独居高齢者を見守る。 声掛け、支え合う気持ちが大切だと思う。
75～79 歳	ゴミの出し方。	地域全体での話し合い。
70～74 歳	・行政と福祉との連携の不足。 ・区長の資質（意識）の低下。	・連携強化に向けたプロジェクトの立上げ。 ・区長への定期的指導や教育と相互啓発。
70～74 歳	近所に中国人・スリランカ人が住み始めたが どんな人かわからず信用してよいかわ不安で ある。	日本人の転入者は自治会に加入しているが、 外国人は加入しない人が多いので、地区長・ 近所の人は会ったらあいさつをすべき。地区 の決まり事をきちんと伝えるべき。

問37 今後、「住民みんなで助け合い・支え合う地域」を作るためのご意見・アイディア、または、地域福祉を進める取り組みについて、ご意見・ご提案がございましたら記入してください。
【自由記述】

年代	意見・提案
60～64 歳	住み慣れた地域で「誰もが安心して暮らせる地域を作る」ためにはその昔にはおおよそいづれの地域にもいた「おせっかいジイさん、おせっかいバアさん」の復活を望みたい。人材育成を図っていく。
75～79 歳	地域社会を支えるのは、一義的には住民自身です。要は住民側の意識、関心度の水準によります。その水準を高める役割を担うのは、社協の仕事の一つだと思います。所謂、啓発活動です。社協会員募集のチラシを区長・班長に配布、活動資金である会費集金を委ねる形は不自然です。もっと、社協自身が全面に立ち、会員、会費募集・募金活動すべきだと思います。やはり、社協が支え合う地域社会創りの中核となるべきだと考えています。社協の存在意義もその点にあると思います。
75～79 歳	地域の交流イベント。サロンの開催。
50～59 歳	コミュニティの場を設ける。ファミリー層～高齢者まで楽しめるイベントを計画。簡単な縁日（ヨーヨー釣り・ゲーム）屋内ではカラオケ・おしゃべりなど。興味で行っているものを披露。自由参加。マジックショーを呼ぶなど。
65～69 歳	常総市の地域呼びかけ放送の内容が聞き取れない時がある。（音量？）
65～69 歳	公民館の使用が少ないので、自治会長としての意識向上を図れるような取り組みが示されるとよい。（高齢化の中で自治会長も周り番で難しい状態だが）
70～74 歳	地区の田園都市センターが歩いて行ける地域の唯一のコミュニケーションの場ですが、老朽化で使用不可の一步手前です。トイレも古く高齢者や幼児には危険。集いの場にしたいのに難しい。民生委員として、一人暮らしの高齢者宅に月一訪問し健康状態など確認していますが、よくお話してくださり、少しでも地域の人々で支え合えたらと願っている日々です。
70～74 歳	まず横のつながりが希薄になっているのはどうしようもない。市の窓口で声掛けをしてもらい、リーダー育成に力をいれてほしい。リーダーがいないと何をしようとしても進まない。
70～74 歳	職員の質の向上。窓口対応がいまいちです。
70～74 歳	地区ごとにボランティア活動が出来る体制づくり。
65～69 歳	小学校などの登下校時の見守りなどもう少し地域住民が関心を持って、見守って頂けたら有難いです。
65～69 歳	自治区長と民生委員・児童委員の連携。見守り等が必要な家庭、個人に対し、民生委員だけではなく、自治区長と連携できるとよいか。個人情報等の管理等もあり難しいと思います。
65～69 歳	自治会組織とかなくなってしまっは大変。仕事を持っている人はなかなか難しい。昔はPTA会の役員なども自営業の人が多かったかな？世話役がいらないことには、難しい。社協に全てに任されても大変だと思う。
75～79 歳	もう少し福祉協議会が頑張ってもらって気軽に福祉活動を支援してもらいたい。
70～74 歳	住民の意識が低いと思うので、地域福祉の意識向上につながる働きかけが必要ではないでしょうか。
75～79 歳	住民のコミュニケーションの場を多く作って、気軽にお茶のみ等の場を作るために、空き家になった住宅を借り上げてもらい、遠い公民館まで行かなくとも近所の人々が集まる場がほしいと言う声を多く聞きます。近所の人々が気心を知り合って、助け合いや協力につながると思います。
65～69 歳	仕事、子育てをしている人にはボランティア活動は時間がなく難しい。定年後も働いている方が多い。

65～69 歳	住民が助け合うためには、皆が情報を共有できてのことである。昨今、個人情報保護法とやらで行政、自治体、団体等が地域に必要な情報を提供・共有できない状況では助け合い支え合いに支障があると思うが？
65～69 歳	お互いを知る機会をつくる必要がある。気軽に集まれる場所、気さくに会話できる場の設定等。
65～69 歳	まだまだ地域の温かさは残っているので、これを使って地域がからむ行事を充実させたい。年 4 回の地域の清掃活動のような「地域の日」「見守りの日」的な全市をあげて、一人暮らしの人の安否を確認する日の設定などはどうでしょう。
20～29 歳	支えたい人と助けを求める人がマッチングしてこそその活動であるので、双方が情報共有できるツール（Web, 紙面等）を活用できたらより良くなると思います。
30～39 歳	地域で誰が何で困っているかが分からないので、まずは、そこから解決すべき。恥ずかしいなどの思いがあって、地域の人に言えないのであれば、住民同士の助けあいは難しいと思う。助け合える地域を目指すなら、困っている人を説得して地域の人に知ってもらうことが大切かと…。
40～49 歳	市役所が主催で「地域のまちづくりを考えよう」のような企画をやっているが、市民の要望が採用されるとはとても思えない。そうではなく、市から「菅生・大塚戸地区は〇〇のようなまちづくりを目指している」という方針を示していただき、それについて現実的に議論していきたい。
40～49 歳	一度始めたことを強制で次もやらせるということをやめた方がいいと思います。何かをやることは誰かのためになることも多いですが、何かをさせないことも誰かのためになると思います。例えば、自治会の役員や子ども会、PTA などです。多くの人が皆がやっているから、自分もやるしかないと考えています。だから、やらない人をうらんだり、攻撃します。事情によって何かをやるのが難しい人もいます。そういう人が攻撃されないように、いろいろな家庭の人、性格の人がいるということをもっと周知し、今あげたことすべてが強制ではないんだよ。辛かったらやめていいんだよ。ということを広めてほしいです。こういった少数派の人を助けることができ「みんなで助けあい、支えあう」と言えると思います。
65～69 歳	外国の方との共生はこれからの課題だと思います。お互いに文化を理解できていないところですれ違いが大きくなっているように思います。本音をいうと文化やマナーは日本に住むのであれば理解してほしいと感じてしまいます。歩みよれば若い方が多い外国の方は力になってくださるのではないかと期待もあります。 とても難しいアンケートでした。選択するにも内容が長くて大変でした。調査期間 5 月～7 月とありました。集計・報告も含めてなのでしょうか。ホームページで公表とありますが、紙データで発表配布していただきたいです。
40～49 歳	困りごとを解決しない限り、他の方を助けたいと思えない。まずは解決することをみんなで考えるべきだと思います。
30～39 歳	地域交流といっても、わざわざ行こうと思わないので、何事にもついでに立ち寄れる場所が必要であると考えます。買い物のついでや手続きのついでなど
40～49 歳	つくばみらい市のきらくやまさくらまつりのような行事をやってほしいです。
70～74 歳	一人暮らしの高齢者が増え、毎年のように一人は亡くなっている現状。遠方にいる家族の方々と連絡がとりにくく難しい。
75～79 歳	必要性はあるが、具体的な行動ができないことやリーダーがいないことが課題である。地域の集まりの際に説明する機会をつくったほうが良いと思う。繰り返しの話し合いが必要だと思う。
40～49 歳	地域の交流の機会を増やす。
75～79 歳	高齢者集落なのに民生委員さんからの一声が 1 度もない、だれが民生委員だかも知らない人が多いです。民生委員さん頼りではなく、地区の隣り同士で声かけ運動はしています。
75～79 歳	民生委員さんはいるけど、高齢独居は知っていると思うけど 1 度も声をかけてくれないという話はたくさんの人から聞きます。コロナがあった時から声かけはしないと言うのなら、電話の 1 回でもしてやれば安心するのだろうという事は常に高齢者から聞きます。

75～79 歳	私の住んでいる地区には外にはないきれいで広く安全な場所があります。そこで年 1 回位の地区の交流会があつてほしいと思います。10 年前 1 度行いました。とても良かったと思います。
75～79 歳	私の住んでる地では、民生委員さんの動きがないみたいです。高齢者集落なのでも少し民生委員が居るんだと言うことをアピールしてほしいです。
75～79 歳	個人情報等があるのであまり立ち入らない風潮があり、近所のお付き合いも淡泊になり、精神的には楽ですが困った時は助け合い・支え合う地域にしたいです。
50～59 歳	災害が起こった時のために防災倉庫を設置し住民同士の助け合いができるようにしたい。市からの補助金で建てたら良いと思う。
40～49 歳	無償で地域参加等をお願いするのではなく、活動内容に十分見合った金額を提示すれば多少参加率は高くなるかもしれない。ボランティアをするほど自分自身も余裕なく、でも地域に参加せざるを得ない場合、ある程度仕事ととらえて活動できるかもしれない。
70～74 歳	色々な催しを各地区ごとに行い、集まれるきっかけを作してほしい。
80～89 歳	少子・高齢化の時代に鑑み、若年世代の移住などを考慮して、児童公園など遊具のある公園を整備し、住みやすい環境をつくることを提案したい。豊岡地区にない。
70～74 歳	社会福祉協議会とはどのような理念や目的計画を持ってどのように運営しどのように実行してきたかを明確にしていきたいと思います。何%くらい実行できたとか。具体的に教えていただきたいです。
50～59 歳	誰もが安心して参加できる地域コミュニティづくりが大切だと思う
80～89 歳	高齢者には住みづらい世の中を作ってくれました。すべて先立つものがないと生活しづらい世の中です。若者が少ないと言うことは地域を支える人材がいなくなります。これをどうしたら良いか。
80～89 歳	相談や提案をしてもあしられ終わってしまい返答が何か月も返ってきていない。今回のようなアンケートが何に役に立つのか、本当に助け合い・支え合う地域をつくるのに社協や市が動くのか疑問。
75～79 歳	自分の住んでいる町内会では若い方が増え、住民の協力のもと活発に行事などに取り組み住民全体をまとめてくれている。とても参加しやすい雰囲気参加者を増やしていると思う。
65～69 歳	個人レベルでの活動では制限があり、知人の口コミをうまく活かしてとにかく家から外に出てもらうように仕向けることが必要である。行動範囲を広げることで視野も広げ引きこもらないようにする。会話を進めていけば助け合う・支え合う「お互い様精神」は元来心の内に誰もが持っている。
70～74 歳	市役所と社協の仕事内容の違いがわからない。今までの経験から困ったときに自分で判断して相談窓口まで行くことはハードルが高いと感じている。
65～69 歳	住民みんなで助け合うという意識が現在あるのかわからない。人は人、自分は自分のほうが強いのでは。市に気軽に相談できる体制が必要なのは。相談しても感じ悪かったという言葉をよく耳にする。独居の人も増えてきているが、どうしたらよいか、相談に行きたくてもいけない。どうしたらよいのか逆にこちらから伺いたい。
70～74 歳	近所付き合い復活（少なくなってきた）。
40～49 歳	現在は支援を行う側が少なく、同時に支援者の高齢化も進んでいる。住民の年齢構成を下げるのが最重要だとおもうので、若者が戻ってくる街づくりの取組が必要。
75～79 歳	豊田地域コミュニティ協議会を立ち上げ中コロナの影響により、社会経済が大きな変化をしている。高齢者が進む一方で人口の減少等、特に子供たちが少なくなっている。その他では環境問題もあり、災害、事故、空き家、AI による詐欺など、毎日のようにニュースで流れている。地域でもその波が押し寄せ、問題化されてきている状態にある。これからの課題解決には地域内の協力や横つながりが欠かせない。

75～79 歳	個人情報がきびしく、一歩前に前進できないことが多い。高齢者の活動、生きがい、すばらしい職を持っているのに眠っている人をどのようにボランティアなどにお手伝いを願えるか。退職後の問題。本人の気持ち次第ですが…。水害以降人間関係がぎくしゃくしてしまったかなと感じることが多い。ほとんど大きな行事が石下に行ってしまう、道の駅の開発の為、市内が静かで魅力がなくなってきた。町内（水海道の30年前どこに行ってしまったのか悲しい）人が人を呼ぶのだと思います。 予算を福祉の方に向け町内に大きな会館を建て一か所で集合できたら良いかな。学習センターだけでは利用できないと言っている人が多い。高齢になると車で出かけられない。市バス利用も町中では、コースが大変。一部の人しか利用できていないのでは…。
65～69 歳	人との関わりが苦手ですが、これから先、もっと老いて一人になった時、何もできなくなってしまうのではいつも頭の中にあります。なので、勇気を出して少しずつ声を出して、人との関わりをしていけたらと思います。
75～79 歳	① コミュニティバスの改善要望（住人の意見） ・バス乗車まで行くことが困難（足腰の痛みで歩くことが困難） ・利用者が見たことない。（いつもバスは空っぽ） ② 改善策として ・身体の悪い人（足腰痛を含む）、後期高齢者へタクシー半額券等（市内のみ）を支給する。 ・日々の安否確認の声掛け、見守り活動について…現在は民生委員の活動だけで日中の1人、2人の老人が年々多くなっている。従って、緊急に地区内、班内での活動が必要に感じている。これを健康な高齢者に支援することも考慮して下さい。
60～64 歳	自治区長連絡協議会の支部活動がない。支部活動を強力にすれば（交流）地域活性になると思います。
65～69 歳	個人情報がすべて係るため、市・社協はどのように考えているか？
80～89 歳	地域ごとのボランティア活動の取り組み状況の実態について全く不明なため意見交換会を開催してはどうか
75～79 歳	まずは若い人たちに興味を持ってもらうことから始めないといけないと思いますが、生活に追われている若い人たちの心をつかむのが難しいですね。
70～74 歳	課題として、地域の民生委員の活動状況がわからない。提案として、介護予防推進員が定期的に介護予防教室を開いて地域住民の健康づくりに寄与しているため、地域の福祉増進のために民生委員の定期的な福祉活動を行い、その活動を周知していく。
70～74 歳	子どもへの支援について、こども食堂や学習支援等の実態・調査のうえ実施できればすばらしいと思う。
70～74 歳	この福祉活動は小学校からも発信したほうが良い。
60～64 歳	アンケートをとる。
50～59 歳	現状の活動内容の見える化。
70～74 歳	助けあい・支えあう地域を作るためにも、それを支える人材が必要だと思います。元気のある方々の力が大きな役割を果たすと思うので、人材の確保に力を入れていただきたいと思っています。
80～89 歳	1年に1度でも集まって地域で話し合いをしたい。
40～49 歳	子どもがいれば横のつながりが広がるが、子どもを持たない時ひとりになってしまいがち。
70～74 歳	縦・横のつながりの強化。
40～49 歳	ご家庭で不用になったものを出し合い、リサイクルマーケットを開催し、みんながそれぞれ物大切にし、必要な人に与え合い、お互いのためになって、みんなで助け合う地域。
80～89 歳	田舎は人のうわさ話が多い、人の良い所をほめられる人間が多くなれば、関係性はほんのり、優しい仲間となり得る知恵のある人間になりたい。
75～79 歳	高齢家族と若年世代の家族のつながりをみつける取り組みがあれば良いと思う。

70～74 歳	災害防災活動などは地域で年 1.2 回は実施できると思います。 困りごとなどは、評議員会などを開いた時にアンテナを高くして、吸い上げ問題を提供し、話し合うことが、第一歩になると思います。
50～59 歳	・住民（人）が地域や自分の 5 年後・10 年後を考えたり興味を持つことが大切だと思う。 ・無関心が 1 番の問題。 ・福祉は自分が必要な立場になって、はじめて大切な事だと気付く人が多い。 ・地域により困りことが違う。 ・大きな組織での活動よりも、各地域の特色や地域の住民性を考え、小さな活動（地域毎に）を続けることが必要だと思う。 ・顔が見える（住んでいる住民に）ボランティア活動・サロン活動が必要。
80～89 歳	自治区や町内会を中心に地域にある消防団、子ども会、農家組合等の団体が相互連携して活動できる組織づくり。
70～74 歳	東京のある区で始めた様に困りごと解決予算を作り、市民から困り事を提案してもらい、毎年 1 つずつ解決して行く。市民に目に見える成果を出すことが大事。
80～89 歳	これも必要でしょうけれど、それ以上に自治体の仕事として、地域福祉の充実を考えてほしい。正規の市職員を増やして対処すべきかと思います。
65～69 歳	以前に比べ気軽に集まり話をする場が減ったと思うので、何か「意見を聞く会」とかでなく参加できる場が欲しいです。
50～59 歳	無関心からの脱却。
40～49 歳	三妻地区は子どもたちが激減しているため、班によっては一世帯や二世帯の所もあります。もちろん地区の活動が出来ない状態です。しかし、子ども会や地区理事や婦人会と役員を決めなくてはならず、かなりの負担になっています。一世帯はもちろん、少ない地区に関しては休止せざるを得なくなります。誰に相談をしたらいいのか？今までの書類やノート類はどうすればよいのか？今までどおりに活動していくのはすごく厳しく負担になり、何度も役員をやることは決して楽ではありません。各会を縮小するという考えはないのでしょうか？子供がいる世帯は子育てを優先。仕事を続けなければ収入がありません。いろいろな役員の活動見直しを検討してほしいと思います。
70～74 歳	時々、一人高齢者の家に声かける。
75～79 歳	若い人（成人）で働かず家にいる方が多く見受けられる。これからを背負っていく世代の人がこんな状態では良い地域にならない。家族や身内の方はどのような考え方をしているのか不思議です。車も乗れるのに働かない人、家から外に出るためには何から解決していけばよいのか心配です。
75～79 歳	地域の中のお隣さん同士の付き合いが希薄化し、ご近所に住んでいながら、何か月もお亡くなりになられたことすら気づかず、本当に悲しく寂しいことです。私どもの地域で最近二度続いて起きたことです。気づいてあげられず悲しいです。
80～89 歳	全ては地区の町内会とシルバークラブの活動と思う。より小さな単位で取組む事が解決と継続に必要。健康な高齢者は積極的に活動しているが、家等に閉じこもる高齢者の対策を！
60～64 歳	・地域の住民を知り、話し合えるきっかけを作るには、地域公民館単位で映画会や楽しめる催し物を行う。 ・地域のお年寄りの自慢料理や得意なものを提供、地域の若い親子をご招待する。 ・何をやるにも活動の先立ちをする方へのご足労が必要で、また、賛同する方々への協力で成立するものです。
65～69 歳	地域資源で行う事業内容を広く地域の人たちに知らせ、多くの人に参加してもらう。
60～64 歳	高齢者、子ども、シングルマザー、外国人など多様な人たちが交流触れ合える場を提供する。
75～79 歳	現在進行中の市役所（市民と共に考える課）が地区ごとに進めているコミュニティづくりを支援協力し又は指導していただきたいと思います。
70～74 歳	どのような団体がどのような困りごとの窓口になっているのかを地域の人に知らせてほしい。地域の人が各種窓口気軽に相談できるとよい。
90～99 歳	アンケートの内容を見るに、もはや私には役に立つだけの力はないですが、調査内容が役に立つのであればと思い回答しました。

70～74 歳	「住民みんなで助け合い、支え合う地域」を目指し、地域の自主防災組織に取り組んでおります。 常総市には根新田の様な立派な見本があります。「人数が少ないからできた」と謙遜なさいますが、一人一人の協力する心があればどんなに大きな組織でも可能だと思います。
75～79 歳	住民が気軽に相談できる自治区長や意見を聞いてくれるリーダーが必要だと思う。
70～74 歳	先ずは課題の顕在化と共有化が図れる事。図れる機会を作って欲しい。その中から自らに出来る事が見えてくると考えています。よろしくお願いします。
60～64 歳	ボランティアに参加してもらう人の育成と支援は、人材の発掘も含め急務と思います。定年年齢の引き上げで、ボランティアに参加できる人が少なくなって、高齢化が進むとボランティアをしている人の負担感が増し、辞めてしまうことになってしまいます。
65～69 歳	全国各地での福祉文化に関っていましたが、各地ではそれぞれにその地方にあった福祉活動が行われていました。ただ、常総市には将来にわたっての福祉計画があるのかと疑問に思うところもあります。「10年計画」「20年計画」といった視点が現在はないように思われてしまいます。もっと高度な知恵と人材が必要ではないでしょうか。いまのままでダメなような気もしています。福祉の専門人材がありません。もっと視点をかえて福祉をするべきと思っています。頑張ってください！
70～74 歳	住環境が特別悪くないと、自分のことのみしか考えない。助けあったり、支えあう気持ちにはならない。 高齢者でなくても夫婦二人の生活になり、片方がケガなどした時の買い物などお願いできれば助かる。介護の認定を受けなくてもお願いできる制度があれば助かります。 幼い子供を持っている親のために上の子をお世話してくれるそのようなお手伝いのボランティアもあると助かるかと！！

2 個人用アンケートの調査票

地域福祉に関するアンケート ～調査ご協力のお願い～

皆さまには、日頃から社会福祉協議会の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

本会では、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざして、現在「第5次常総市地域福祉活動計画」の策定に向けて取り組んでいます。

この計画の策定にあたり、皆さまの地域福祉に対するご意見や今後の福祉のまちづくりに対するお考えを聞かせていただくためのアンケート調査を行うこととしました。

今回の調査では、民生委員・児童委員、自治区長、介護予防推進員、ボランティア活動者など様々な方を対象としています。調査は無記名であり、ご記入いただいた内容については、計画策定の目的以外で使用することは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和6年5月

社会福祉法人常総市社会福祉協議会
会 長 神 達 岳 志

地域福祉とは…

住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせる地域をつくるために、地域住民と行政、社会福祉関係機関などがお互いに協力し合って、様々な地域の生活課題の解決に取り組むことです。



地域福祉活動計画とは…

地域福祉を推進するにあたり、住民一人ひとりが地域の生活課題を自分たちの問題として捉え、その課題の解決を図るために、つながりづくり、支え合いの輪の構築、生活支援の仕組みづくり、社会参加の促進など、地域で取り組むことを具体的にまとめた行動計画です。

**「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現ために、
みなさんのご意見・アイデアをお願いいたします。**

【お問い合わせ先】

社会福祉法人常総市社会福祉協議会(略:社協)
電話 0297-30-8789 FAX 0297-30-8790

※社協の活動は、
右記 QR コードから
ホームページをご覧
ください。



地域福祉に関するアンケート調査票

1. 回答方法

(1) 各質問について、当てはまるものの番号に○印をつけてください。

質問によっては、複数の回答が可能なものがあります。

また、その他を選んだ場合や回答が【自由記述】となっている場合は、質問について()内に記入をお願いします。

(2) アンケート調査が複数届いた場合は、申し訳ございませんがいずれか1つにご回答くださるようお願いいたします。

2. 回答期日

同封の封筒で令和6年6月25日(火)までにご返送くださるようお願いいたします。

3. 調査結果の公表

調査の結果は、集計終了後、社会福祉協議会のホームページで公表いたします。

4. お問い合わせ先

社会福祉法人常総市社会福祉協議会 総務管理係

電話 0297-30-8789(代表) FAX 0297-30-8790

1. あなたご自身やご家族のことについて

問1 あなたの年齢を教えてください。(令和6年4月1日現在)【1つだけ○】

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|------------|
| 1. ~19歳 | 4. 40~49歳 | 7. 65~69歳 | 10. 80~89歳 |
| 2. 20~29歳 | 5. 50~59歳 | 8. 70~74歳 | 11. 90~99歳 |
| 3. 30~39歳 | 6. 60~64歳 | 9. 75~79歳 | 12. 100歳以上 |

問2 あなたの性別を教えてください。【1つだけ○】

- | | | | |
|------|------|--------|------------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 | 4. 回答したくない |
|------|------|--------|------------|

問3 あなたの世帯構成を教えてください。【1つだけ○】

- | | | |
|-----------|------------------|-----------|
| 1. ひとり暮らし | 3. 親と子の世帯(二世帯) | 5. その他() |
| 2. 夫婦のみ世帯 | 4. 親と子と孫の世帯(三世帯) | |

問4 あなたのご家族で以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。

【該当するものすべてに○】

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 65歳以上の方 | 7. 幼児(1歳~5歳)がいる |
| 2. 介護が必要な方 | 8. 小学生がいる |
| 3. 障がいのある方 | 9. 中学生・高校生がいる |
| 4. 難病の方 | 10. ひとり親(子どもが未成年) |
| 5. ひきこもりの方 | 11. いずれもない |
| 6. 乳児(1歳未満)がいる | 12. その他() |

問5 あなたがお住まいの地区を教えてください。【1つだけ○】

- | | | |
|----------|--------------|----------|
| 1. 水海道地区 | 6. 五箇地区 | 11. 石下地区 |
| 2. 豊岡地区 | 7. 大生地区 | 12. 豊田地区 |
| 3. 菅原地区 | 8. 坂手地区 | 13. 玉地区 |
| 4. 大花羽地区 | 9. 内守谷地区 | 14. 岡田地区 |
| 5. 三妻地区 | 10. 菅生・大塚戸地区 | 15. 飯沼地区 |

問6 あなたご自身は地区で何らかの役割(役職)を務めていますか。

【該当するものすべてに○】

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 自治区(町内会)役員 | 11. 認知症サポーター |
| 2. 民生委員・児童委員 | 12. シルバーリハビリ体操指導士 |
| 3. 社協支部役員 | 13. スポーツ少年団指導員 |
| 4. 自主防災会役員 | 14. シルバークラブ役員 |
| 5. 消防団員 | 15. 農業関係団体役員 |
| 6. 青少年相談員、青少年育成 | 16. 食生活改善推進員 |
| 7. 子ども会育成会・子ども会役員 | 17. 保護司 |
| 8. 子育て支援関係団体 | 18. 更生保護女性会 |
| 9. 防犯・交通安全関係団体 | 19. 日本赤十字奉仕団員 |
| 10. 介護予防推進員 | 20. 特にない |
| | 21. その他 () |

問7 あなたは、普段の暮らしの中で、困ったり不安に感じたりしていることはありますか。

【該当するものすべてに○】

- | | |
|-------------------|------------------------------------|
| 1. 自分や家族の健康に関すること | 9. 自分や家族の生活上の問題
(進学、就学、就職、結婚など) |
| 2. 介護に関すること | 10. 話し相手や相談相手がいない |
| 3. 仕事に関すること | 11. 災害時の避難のこと |
| 4. 生活費など経済的なこと | 12. 地域の治安・防犯 |
| 5. 近所の人との関係 | 13. 特にない |
| 6. 育児・子育てに関すること | 14. その他 () |
| 7. 家族間の問題 | |
| 8. 日常の外出・通院など | |

問8 あなたは、生活上の困りごとや不安を解決したい時、どこに相談しますか。

【該当するものすべてに○】

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 家族・親族 | 11. 地域包括支援センター |
| 2. 近所の人 | 12. 病院・福祉施設 |
| 3. 友人・知人 | 13. 子育て支援センター |
| 4. 自治区(町内会)役員 | 14. 保育所(園)・幼稚園 |
| 5. 民生委員・児童委員 | 15. 小・中学校 |
| 6. 社会福祉協議会 | 16. ケアマネージャー・ヘルパー |
| 7. 障がい者相談支援センター | 17. インターネット・SNSなど |
| 8. 基幹相談支援センター | 18. 相談する相手がいない |
| 9. 市役所 | 19. 今は相談する必要がある |
| 10. 高齢者総合相談窓口 | 20. その他 () |

2. ご近所付き合いやお住いの地区(行政区)のことについて

問9 あなたご自身やご家族は、どのようなご近所付き合いをしていますか。

【1つだけ○】

- 1. 普段からお茶のみや手助けなど頻繁に行き来している
- 2. 世間話や情報交換などの立ち話をする程度
- 3. あいさつする程度であまり近所付き合いはない
- 4. 近所の人とは全く付き合いがない
- 5. その他 ()

→ 問10 問9「3.」「4.」のいずれかを選択した方に伺います。

ご近所付き合いがあまりない理由は何ですか。【該当するものすべてに○】

- 1. 仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会や時間がないため
- 2. 近所付き合いはわずらわしいので避けている
- 3. 人付き合いが苦手であるため
- 4. ふだん留守の家が多く、近所の人をあまり知らないため
- 5. 近所付き合いの仕方が分からないため
- 6. その他 ()

問11 あなたは地域での人との付き合いや関わりが必要だと考えますか。【1つだけ○】

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 必要だと思う | 4. 必要でないと思う |
| 2. まあまあ必要だと思う | 5. わからない |
| 3. ほとんど必要ないと思う | |

▶ 問12 問11で「1.」「2.」とお答えした方に伺います。

どのような時に、地域との関わりの必要性を感じますか。【該当するものすべてに○】

1. 地区の行事に参加したとき
2. 社会福祉協議会支部の活動や防災活動など地域ぐるみで取り組んでいる活動があることを聞いたとき
3. 近所で不審者や犯罪の被害を聞いたとき
4. 近所に手助けが必要な人を見かけたとき
5. 近所の人に気軽に相談したいと思ったとき
6. 災害の発生や災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき
7. 高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃遅れなどを聞いたとき
8. 子どもの虐待やいじめ、誘拐などを聞いたとき
9. 言葉や文化の違いで、地域に溶け込めない外国人などを見かけたとき
10. その他（ ）

問13 あなたがお住いの地区に、次のような見守りなど支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯はありますか。

【該当するものすべてに○】

1. 高齢者のひとり暮らし世帯
2. 寝たきりと思われる人
3. 認知症と思われる人
4. 病気療養中と思われる人
5. 生活に困窮していると思われる人
6. 大量のゴミが自宅や周辺に放置されている世帯（ゴミ屋敷）
7. 高齢者のみの世帯で、世帯員同士が介護している世帯（老老介護）
8. 近隣や地域と関わりを持たない人や世帯
9. 高齢の親が同居する中高年の子どもの生活を支え、経済的に困窮している世帯（8050 問題）
10. 子育てと親の介護をひとりで同時に抱えている世帯
11. 子どもが家族の介護などによって自分の時間を持たない世帯（ヤングケアラー）
12. 家族の間で虐待が疑われる世帯
13. ひきこもり状態と思われる人
14. 複数の困りごとや深刻な課題を抱えていると思われる世帯
15. いない
16. その他（ ）

問14 あなたは、お住まいの地区で気になっていることや困っていることはありますか。

【該当するものすべてに○】

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. あいさつをしない人が多い | 8. 気軽に集まれる場所がない |
| 2. 近所との交流が少ない | 9. 移動手段が整ってない |
| 3. 高齢世帯が多い | 10. 子どもが遊べる場所がない |
| 4. 若者が減少している | 11. 買い物に行くのに不便を感じている |
| 5. 世代間の交流が少ない | 12. 治安が悪くなっている |
| 6. 地区の活動・行事が少ない | 13. 災害時の避難の仕方が分からない |
| 7. 地区行事の参加者が少ない | 14. 地区から孤立している人がいる |
| 15. その他（下記の欄にご記入ください） | |

問15 あなたは、お住いの地区で困っている世帯がある場合、あなた自身が行っていることはありますか。次の選択肢の中から「①いつもしている」、「②まあしている」、「③あまりしていない」、「④まったくしていない」を選んでください。

【該当するものに○】

内容	① いつも している	② まあ している	③ あまり していない	④ まったく していない
1. 安否確認の声かけ、見守り				
2. 話し相手				
3. 悩みごと、心配ごと相談				
4. 日用品などちょっとした買い物				
5. 電球交換などのちょっとした作業				
6. ゴミ出し				
7. 家の中の掃除や洗濯				
8. 庭の手入れ、草取り				
9. 短時間の子どもの預かり				
10. 保育園・幼稚園の送迎				
11. 通院・外出の付き添い（送迎）				
12. 急病時の対応				
13. 食事の支度や片付け				
14. ペットの世話				
15. その他 ()				

問16 現在、お住いの地域でどのようなお手伝いが必要とされていると思いますか。

【該当するものすべてに○】

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 安否確認の声かけ、見守り | 9. 短時間の子どもの預かり |
| 2. 話し相手 | 10. 保育園・幼稚園の送迎 |
| 3. 悩みごと、心配ごと相談 | 11. 通院・外出の付き添い（送迎） |
| 4. 日用品などちょっとした買い物 | 12. 急病時の対応 |
| 5. 電球交換などのちょっとした作業 | 13. 食事の支度や片付け |
| 6. ゴミ出し | 14. ペットの世話 |
| 7. 家の中の掃除や洗濯 | 15. 特にない |
| 8. 庭の手入れ、草取り | 16. その他（ ） |

問17 あなたは地域の困りごとを解決するために、地域住民同士が支え合うことが必要であると思いますか。【1つだけ○】

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 必要なことだと思う | 3. あまり必要なことと思わない |
| 2. どちらかといえば必要なことだと思う | 4. まったく必要とは思わない |

3. お住いの地区（行政区）での活動について

問18 あなたは地区の活動や行事に参加していますか。【1つだけ○】

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない |
|-----------|------------|

→問19 参加している活動や行事を教えてください。【該当するものすべてに○】

- | | |
|-------------------|------------------------------------|
| 1. 地区のお祭り・文化祭 | 10. ふれあい・いきいきサロン |
| 2. 自治区（町内会）活動 | 11. 健康づくり活動 |
| 3. 清掃活動、資源回収、側溝掃除 | 12. シルバークラブ活動 |
| 4. 防犯・交通安全活動 | 13. 婦人会（女性団体）の活動 |
| 5. 防災活動 | 14. 趣味・教養などの活動 |
| 6. 登下校の見守り活動 | 15. 社会福祉協議会（支部）の活動
（研修会・お食事会など） |
| 7. 子ども会・子ども会育成会行事 | 16. その他
（ ） |
| 8. 小中学校行事 | |
| 9. 支援が必要な方の見守り活動 | |

→問20 問18で「2. 」と回答した方に伺います。

地区の活動や行事に参加していない主な理由を教えてください。

【該当するものすべてに○】

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 仕事や家事で忙しい | 7. 行事・活動の情報がない |
| 2. 介護や育児で忙しい | 8. 地域の人と関わりたくない |
| 3. 家族の理解がない | 9. 興味がない |
| 4. 健康や体力に不安がある | 10. 地域活動は必要ないと思う |
| 5. 経済的負担が大きい | 11. その他
（ ） |
| 6. 知り合いが少ない | |

問21 あなたのお住いの地区では、どのような集いの場がありますか。また、聞いたことがありますか。【該当するものすべてに○】

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. ふれあい・いきいきサロン | 6. 地域・近所の集まり（会議等含） |
| 2. 趣味活動 | 7. ボランティア活動 |
| 3. シルバークラブ活動 | 8. わからない |
| 4. 公民館活動 | 9. その他 |
| 5. 友人との集まり | （ ） |

問22 あなたの地区でどのような集いの場があったら良い（参加したい）と思いますか。
【該当するものすべてに○】

1. 簡単な体操やレクリエーションなど健康づくりの場
2. 気軽におしゃべりが楽しめる場
3. 趣味や教養を学ぶ場
4. みんなでお茶を飲んだり、会食をする場
5. 地域のことをみんなで考える場
6. 子どもや若者など多世代と交流できる場
7. 子育て中の親同士が集まる場
8. 特にない
9. その他（ ）

問23 今後、安心して暮らせるまちを作っていくために、あなたの地区ではどのような取り組みを行っていく必要があると思いますか。【3つまで○】

1. 高齢者などに対する地域での声かけ、見守り活動
2. ふれあい・いきいきサロン（集いの場づくり）
3. 高齢者・親・子どもなどの幅広い世代で交流できる活動
4. 簡単な家事の手伝い（ゴミ出し・掃除・買い物など）
5. 世間話や生活の相談ごとなどの話し相手
6. 子育てのためのサロン（子育ての情報交換・交流の場）
7. 子どもたちの居場所づくり（学習支援・子ども食堂など）
8. 子どもたちの福祉の心を育てる活動
9. 子どもたちの登下校の見守り活動
10. 防犯活動
11. 災害時に助け合う（安否確認や避難誘導など）ための協力関係づくり
12. 福祉の制度や知識を知るための研修会
13. 生活の困りごとを何でも相談できる窓口の整備
14. 地区内で活動している各種団体が連携・協力できる体制づくり
15. 地区内の活動を分かりやすく情報発信する活動
16. 簡単な雑用の手伝い（草取りや電球交換など）
17. 言葉や文化の違いについて理解を深める活動
18. 住民が参加しやすい場所、拠点づくり
19. 活動は必要ない
20. その他（ ）

4. ボランティア活動について

問24 あなたは、ボランティア活動に参加してみたいですか。【1 つだけ○】

- 1. 現在、活動に参加している
- 2. 以前、活動に参加したことがある
- 3. 活動に関心はあるが、参加したことがない
- 4. 活動に参加したくない

→ 問25 問24で「1.」「2.」を選択した方に伺います。あなたは、これまでにどのようなボランティア活動に参加しましたか。【該当するものすべてに○】

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 自分の地区を良くする活動 | 1 0. 教育に関する活動 |
| 2. 高齢者との交流ができる活動 | 1 1. 文化・スポーツに関する活動 |
| 3. 障がいのある方と交流できる活動 | 1 2. 農業に関する活動 |
| 4. 子どもとの交流ができる活動 | 1 3. 動物に関する活動 |
| 5. ひとりで始められる活動 | 1 4. 国際交流に関する活動 |
| 6. 特技、経験を活かした活動 | 1 5. 環境に関する活動 |
| 7. 福祉施設での活動 | 1 6. 保健・健康づくりに関する活動 |
| 8. 防災・災害支援活動 | 1 7. その他 |
| 9. 病院・医療に関する活動 | () |

問26 あなたは、今後どのような分野のボランティア活動に参加してみたいと思いますか。【該当するものすべてに○】

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 自分の地域を良くする活動 | 1 1. 文化・スポーツに関する活動 |
| 2. 高齢者との交流ができる活動 | 1 2. 農業に関する活動 |
| 3. 障がいのある方と交流できる活動 | 1 3. 動物に関する活動 |
| 4. 子どもとの交流ができる活動 | 1 4. 国際交流に関する活動 |
| 5. ひとりで始められる活動 | 1 5. 環境に関する活動 |
| 6. 特技、経験を活かした活動 | 1 6. 保健・健康づくりに関する活動 |
| 7. 福祉施設での活動 | 1 7. 参加したいと思わない |
| 8. 防災・災害支援活動 | 1 8. その他 |
| 9. 病院・医療に関する活動 | () |
| 1 0. 教育に関する活動 | |

問27 あなたは、ボランティア活動に参加しようとする際、どのような点を重視しますか。【該当するものすべてに○】

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 気軽にできること(時間が短いなど) | 8. 技能・経験を活かせること |
| 2. 長く続けられること | 9. 人の役に立つこと |
| 3. 誰にでもできること | 1 0. より良い社会につながる事 |
| 4. 体を動かせること | 1 1. 分からない |
| 5. 多くの人と関われること | 1 2. 関心がない |
| 6. 新しい経験や学びを得られること | 1 3. その他 |
| 7. 自分の将来に役立つこと | () |

問28 あなたは、どのような条件があるとボランティア活動に参加しやすいと思いますか。

【該当するものすべてに○】

1. 時間や期間にあまりしばられない
2. 友人・知人と一緒に参加できる
3. 活動や団体に関わる情報を紹介してくれる
4. 身近なところに活動できる場がある
5. 世話人やリーダーがいる
6. 子どもの世話や介護を代わってもらえることができる
7. 活動資金の補助や援助がある
8. 参加することでメリットがある（報酬・評価など）
9. 分からない

5. 福祉サービスについて

問29 あなたは、「福祉サービス」に関心がありますか。【1つだけ○】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. とても関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 4. まったく関心がない |

問30 あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。

【3つまで○】

- | | |
|------------------|----------------------------------|
| 1. 家族・親戚 | 1 1. 社会福祉協議会のSNS |
| 2. 近所の人・友人 | 1 2. インターネット・SNS（上記以外） |
| 3. 民生委員・児童委員 | 1 3. 福祉サービス事業所 |
| 4. 新聞・雑誌・テレビ | 1 4. 子育て支援センター |
| 5. 市役所の窓口 | 1 5. 医療機関・薬局 |
| 6. 市広報紙 | 1 6. 公民館などにあるポスター・チラシ |
| 7. 市ホームページ | 1 7. お店などにあるポスター・チラシ |
| 8. 社会福祉協議会広報紙 | 1 8. 職場や学校にあるポスター・チラシ |
| 9. 社会福祉協議会ホームページ | 1 9. 情報は入手していない |
| 1 0. 社会福祉協議会の窓口 | 2 0. その他（ ） |

問31 市内の福祉サービスに関する情報は十分に得られていると感じていますか。

【1つだけ○】

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 充分得られている | 4. まったく得られていない |
| 2. ある程度は得られている | 5. わからない |
| 3. あまり得られていない | 6. 自分には必要がない |

問32 あなたは、地域福祉の推進に関係する次の組織や理念、計画などを知っていますか。【該当するものに○】

組織・理念・計画等	説明	知っている	名前は聞いたことがある	知らない
1. 常総市社会福祉協議会	地域住民、福祉関係団体、行政などの関係機関と協力し、地域課題の解決や支えあいの仕組みづくりなど、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり(地域福祉の推進)を行っている団体です。			
2. 社会福祉協議会支部(社協支部)	支部(地区)ごとに異なる地域の課題を住民が共有・解決していくために、解決福祉啓発活動や住民同士の支え合い・助けあい活動などを行っています。 常総市内では、27支部が設置されています。(おおむね小学校単位(一部除く))。			
3. 地域福祉活動計画	住民、福祉関係者、民間団体などが協力して、地域の課題を共有し、解決するための行動計画です。 誰もが安心して暮らせる福祉のまちを目指して、支援が必要な高齢者の生活支援やいざという時の地域のつながりづくりなど、支えあい・助けあい活動に取り組んでいきます。			
4. 地域共生社会(の実現)	国が掲げる理念で、地域住民や関係団体等が参加・協力し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、私たち一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。			
5. 常総市ボランティア・市民活動センター	ボランティア活動に関する相談、活動先の紹介や情報提供、ボランティア活動の担い手の育成などを行っています。 常総市では社会福祉協議会に設置されています。			

問33 常総市社会福祉協議会では、どのような取り組みをしているか知っていますか。

【知っているものすべてに○】

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 高齢者への支援 | 1 2. 福祉の啓発活動 |
| 2. 障がい者・児への支援 | 1 3. 福祉の情報発信 |
| 3. 乳幼児・子どもへの支援 | 1 4. 障がい者福祉施設 |
| 4. 生活に困っている人への支援 | (心身障害者福祉センター、児童デイサービスセンター) |
| 5. ボランティアの育成や支援 | 1 5. 障がい者の相談支援 |
| 6. 災害発生時の支援 | (基幹相談支援センター、障がい者相談支援センター) |
| 7. 地域の居場所づくり | 1 6. 児童福祉施設 |
| 8. 地域住民の福祉活動への支援 | (三坂児童館・水海道児童センター) |
| 9. 高齢者などの見守り体制づくり | 1 7. よくわからない |
| 1 0. 学校などでの福祉教育 | 1 8. その他 |
| 1 1. 財産やお金の管理 | () |

問34 社会福祉協議会が行う活動や支援のうち、あなたが今後、充実してほしいと思うものはどれですか。【該当するものすべてに○】

- 1. 地域住民による支えあい活動の促進・支援
- 2. 福祉活動を行う人材の発掘・育成
- 3. ボランティア活動の参加促進と支援
- 4. 児童・生徒などへの福祉教育の推進
- 5. 気軽に福祉の相談ができる窓口の整備
- 6. わかりやすい福祉情報の提供
- 7. 高齢者や障がい者など支援が必要な方の見守り活動の促進
- 8. 地区で気軽に集まれるサロン活動の促進
- 9. 家事や子育てを支援する住民同士の支えあい活動の促進
- 10. 高齢者の生きがい活動支援
- 11. 支援が必要な方への福祉サービスの利用援助、金銭管理サービス
- 12. 障がい者の相談支援
- 13. 生活困窮者への支援
- 14. 子育てに関する支援、集いの場
- 15. 災害ボランティア活動支援
- 16. 特にない
- 17. その他 ()

問35 今後、地域の福祉を支えていくために、より重視される団体(・人)はどこ(・誰)だと思いますか。【該当するものすべてに○】

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 自治区・町内会 | 7. ボランティア団体 |
| 2. 地域住民 | 8. 福祉施設・事業所 |
| 3. 市役所 | 9. NPO団体 |
| 4. 社会福祉協議会 | 10. 自分 |
| 5. 社会福祉協議会支部 | 11. その他 () |
| 6. 民生委員・児童委員 | |

問36 あなたの地区の困りごとや課題について、どのようにしたら解決できると思いますか。アイデアやご意見があれば教えてください。【自由記述】

・地区の困りごと、課題

・解決方法・アイデア

問37 今後、「住民みんなで助け合い・支え合う地域」を作るためのご意見・アイデア、または、地域福祉を進める取り組みについて、ご意見・ご提案がございましたら記入してください。【自由記述】



以上でアンケートは終了です。

ご協力ありがとうございました。

3 団体用アンケート調査票

地域福祉活動に関するアンケート ～調査ご協力のお願い～

皆さまには、日頃から社会福祉協議会の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
うございます。

本会では、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざして、現在「第5次常総市地域福祉活動計画」の策定に向けて取り組んでいます。

この計画の策定にあたり、地域福祉活動に関する現状を把握するため、地域に根ざした活動を展開されている団体・学校・保育施設・事業所の皆さまから地域福祉に対するご意見や今後の福祉のまちづくりに対するお考えを聞かせていただき、計画づくりの基礎資料とするためにアンケート調査を行うこととしました。

調査でご記入いただいた内容については、計画策定の目的以外で使用する一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和6年6月

社会福祉法人常総市社会福祉協議会
会 長 神 達 岳 志

地域福祉活動とは…

住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせる地域をつくるために、住民一人ひとりが地域の生活課題を自分たちの問題として捉え、その課題の解決を図るために、「つながりづくり」、「支え合いの輪の構築」、

「生活支援の仕組みづくり」、「社会参加の促進」など、地域住民、社会福祉協議会、福祉関係者、学校、保育施設、民間団体、行政などが協力し合って取り組む活動です。



※ご記入後は、令和6年6月25日（火）までに、同封の返信用封筒で、社会福祉協議会までご返送くださるようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

社会福祉法人常総市社会福祉協議会（略：社協）
電話：30－8789 FAX：30－8790
Eメール：info@joso-shakyo.jp

※社協の活動は、
右記 QR コードから
ホームページをご覧
ください。



地域福祉活動に関するアンケート(団体用)

このアンケート調査は、今後の地域福祉活動推進の参考とさせていただくために、市内の各種団体・事業所・学校・保育施設等が地域とどのように関りを持っているのか。また、今後、地域との関わりをどのように考えているかなどを伺うことを目的としています。

質問内容に応じ、当てはまる回答の番号に○をつけるか、記述欄にご意見等をご記入ください。なお、このアンケートは、様々な種類の団体・事業所・学校等を対象としているため、質問内容によっては答えにくい質問もあると思いますが、答えられる範囲で回答をお願いいたします。

回答後は、同封の封筒で**6月25日(火)まで**にご返送をお願いします。

貴団体のご名称をご記入ください。

団体・事業所・学校・保育施設等名	ご記入者役職・氏名

※このアンケートで収集した内容は、地域福祉活動計画策定業務以外には使用しません。

【質問1】

あなたの団体・事業所では、地域住民との交流活動や地域を良くする活動などの地域福祉に関する取り組みを行っていますか。(どちらか1つに○)

1. 行っている

2. 行っていない

【質問2】

質問1で「1. 行っている」を選択した団体・事業所にお聞きします。
具体的な取り組み内容を教えてください。

記述欄

【質問3】

今後、あなたの団体・事業所で取り組んでみたい地域住民との交流活動や地域を良くする活動などの地域福祉に関する取り組みはありますか。（どちらか1つに○）

1. ある

2. ない

【質問4】

質問3で「1. ある」を選択した団体・事業所にお聞きします。

具体的にどんな取り組みをしたいか教えてください。

記述欄

【質問5】

あなたの団体・事業所では、地域の団体等と交流や、連携・協力して取り組みを行うことがありますか。交流や連携をしている団体等について教えてください。また、今後、交流や協力をしたいと思う団体等がありますか。

（当てはまるものすべてに○）

団体・事業所等の種類	現在交流・協力している	今後交流・協力したい
(ア) 自治区・町内会	1	2
(イ) ボランティア団体	1	2
(ウ) 福祉事業所（施設など）	1	2
(エ) シルバークラブ	1	2
(オ) 医療機関	1	2
(カ) 一般事業所（民間会社）	1	2
(キ) 市内小中学校・高校	1	2
(ク) 市内保育所（園）・幼稚園	1	2
(ケ) 商工会	1	2
(コ) P T A・保護者会	1	2
(サ) 市社会福祉協議会	1	2
(シ) 市役所	1	2
(ス) 民生委員・児童委員	1	2
(セ) その他（ ）	1	2

【質問6】

質問5で「1. 現在交流・協力している」を選択した団体・事業所にお聞きします。
交流・協力している団体・事業所ごとに、具体的な連携・協力の内容を教えてください。

記述欄

【質問7】

日頃の活動（業務）を通じて、「地域の中で気になることや困っていることなど」が
ございましたら教えてください。

記述欄

【質問8】

質問7でご記入いただいた「地域の中で気になることや困っていることなど」の解
決のために、あなたの団体・事業所が必要だと考えていることがございましたら教え
てください。

記述欄

【質問 9】

地域の問題や課題の解決のために、社会福祉協議会と連携・協力できたらよいと思うこと、取り組みなどがございましたら教えてください。

記述欄

【質問 10】

地域福祉や社会福祉協議会に関するご意見やご提案がございましたら教えてください。

記述欄

ご協力いただきありがとうございました。